DENON

パーソナル オーディオ システム

D-MG55DV

取扱説明書

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

はじめに

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

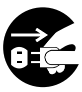
【絵表示の例】



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

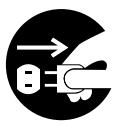


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警 告

■安全上お守りいただきたいこと

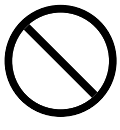
万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く



電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない



ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

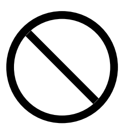
水が入ったり、濡らしたりしないように



雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に





電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない



内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での
使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。
発熱し、火災の原因とあります。

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意 つづき

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

DVD/CD挿入口やMD挿入口に手を入れない

手を挟まれないように注意

指のケガに注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- ●調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ
- ●湿気やほこりの多いところ
- ●直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど、高温になるところ

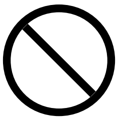
壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意 つづき

■取り扱いについて

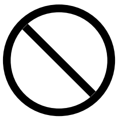
通風孔をふさがない



内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

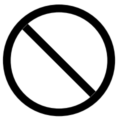
- ●仰向けや横倒しし、逆さまにする
- ●押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ●テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



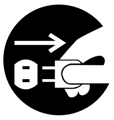
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

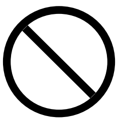


機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は



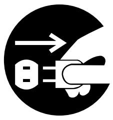
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■使わないときは

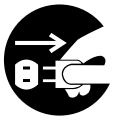
長時間の外出・旅行の場合は



安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は



安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

ステレオ音のエチケット



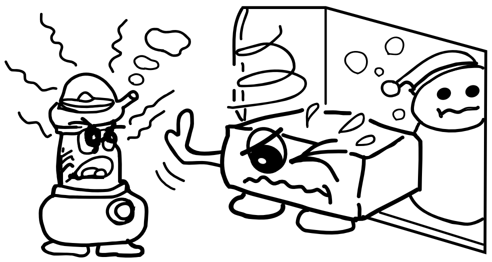
◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは
冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は
冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



■ 結露後の処置は
◎結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1〜2時間で使用できるようになります。

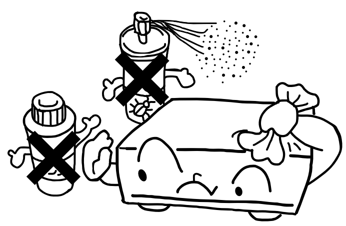
◎ディスクに露が付いている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。



メモ
- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

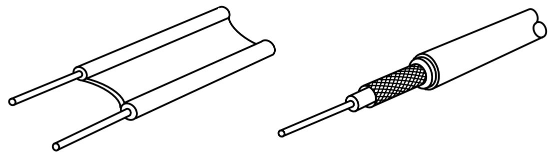
設置の際のご注意

■ 本機やマイコンを搭載した電子機器をチューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナーやテレビの音声や映像に、雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合には次の点に注意してください。

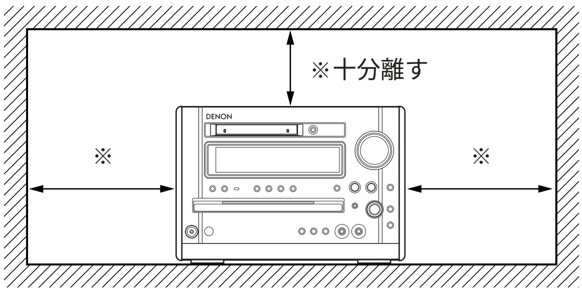
◎本機をチューナーやテレビからできるだけ離してください。

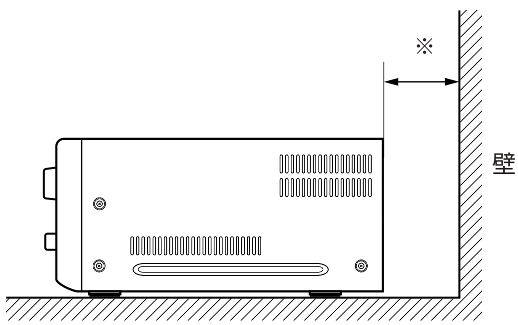
◎チューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。

◎特に室内アンテナや300Ωフィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75Ω同軸ケーブルのご使用をおすすめします。



■ 放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他のAV機器などとは十分離して設置してください。（下図参照）





携帯電話使用時のご注意

■ 本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■ 本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、テレビ放送の電波状態によりしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってご覧ください。

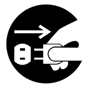
その他のご注意

■ 説明のためのイラストは、原型と異なる場合があります。

■ 取扱説明書を保存してください。
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくと便利です。

使わないときは

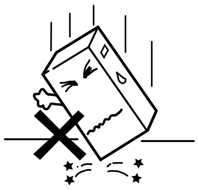
■ ふだん使わないとき



◎電源を切ってください。

◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 移動させるとき

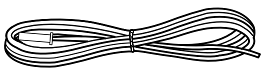
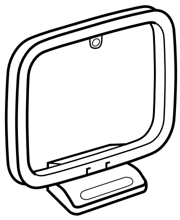
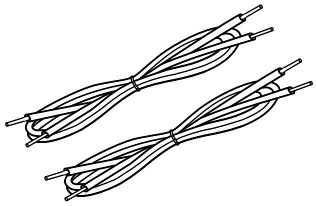
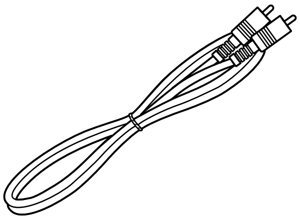
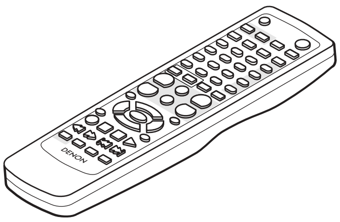
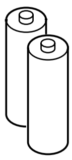


◎衝撃を与えないでください。

◎MDやDVD/CDを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、他のオーディオ機器との接続コードなどを外したことを確認してから移動させてください。
ディスクをセットしたまま移動させると、ディスクが本機の内部に脱落して故障の原因になることがあります。

付属品について

本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

FM用アンテナ　1本 	AM用ループアンテナ　1個 	スピーカーコード（3m）　2本 （スピーカー部に付属） 
ビデオコード（3m）　1本 	リモコン（RC-1011）　1個 	単4形乾電池　2本 
取扱説明書（本書）　1冊	製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表　1枚	保証書（本体部の梱包箱に貼り付けられています。）

※本体とスピーカー部は別梱包になっています。

DVD/ビデオCD/CDについて

再生できるディスク

●本機で再生できるディスクは下記の種類です。
●ディスクのマークはディスクのレーベル、またはジャケットについています。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	記録されているもの	ディスクの大きさ
DVDビデオ DVDオーディオ ＜注1＞	DVD VIDEO	デジタル音声＋デジタル映像（MPEG2方式）	12cm
DVD-R ＜注2＞	DVD R		8cm
DVD-RW ＜注2＞	DVD RW		
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	デジタル音声＋デジタル映像（MPEG1方式）	12cm 8cm
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	デジタル音声	12cm 8cm
CD-R ＜注3＞	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	デジタル音声 MP3/WMA デジタル画像（JPEG方式）	12cm
CD-RW ＜注3＞	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable		8cm
ピクチャーCD	Kodak Picture CD COMPATIBLE	デジタル画像（JPEG方式）	12cm

■ 下記のディスクは再生できません。

- リージョン番号が“2”または“ALL”以外のDVD
- DVDオーディオ　＜注1＞
- DVD-ROM/RAM
- Super Audio CD
- CD-ROM（MP3/WMA/JPEGファイルは再生可能）
- VSD/CVD/SVCD
- CDV（**オーディオパートのみ再生できます。**）
- CD-G（**音声は出力されますが、画像は出力されません。**）
- フォトCD（**絶対に再生しないでください。**）

など

＜注1＞ DVDオーディオディスクは、DVDビデオ規格のビデオパートのみ再生できます。

＜注2＞ 本機はDVDレコーダーでビデオフォーマット記録されたDVD-R/RWディスクを再生することができます。なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声が途切れるなど正常に再生できないことがあります。また、ファイナライズ*をおこなっていないディスクやVRモード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたディスクは再生できません。

＜注3＞ CD-R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。
セッションクローズ*またはファイナライズ*をおこなってください。

*：信号を記録したDVD-R/RWやCD-R/RWを通常のDVDプレーヤーやCDプレーヤーで再生できるように処理することです。

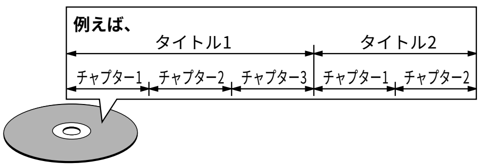
■ 記録されている音声の種類

本機はドルビーデジタル/DTSデコーダーを内蔵しているので、右記のロゴの付いたディスクの再生が可能です。

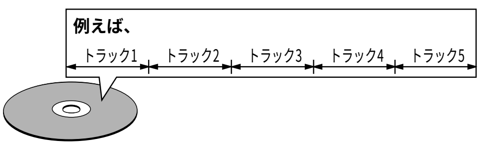
DOLBY DIGITAL
DIGITAL dts SURROUND

■ ディスクに関する用語について

●タイトル、チャプター（DVDビデオ）
DVDビデオは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。
それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。



●トラック（ビデオCD/音楽CD）
ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。
この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号と呼びます。



●プレイバックコントロール（ビデオCD）
“プレイバックコントロール付き”などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。
本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオCDの“**メニュー再生**”と呼びます。
本機はプレイバックコントロール付きビデオCDに対応しています。

ご注意

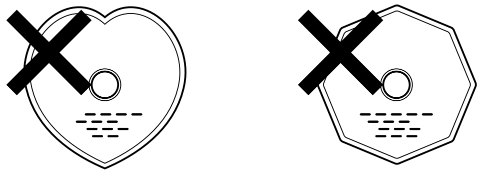
●本機は国ごとに割り当てられた番号（リージョン番号）がDVDに表示されている場合には、DVDと本機のリージョン番号が一致しないと再生できません。

本機のリージョン番号は2です。

ディスクの取り扱いとご注意

ディスクについて

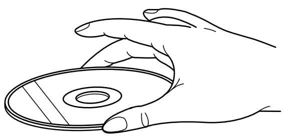
本機で再生できるディスクは、8ページにあるマークが付いているものです。
但し、ハート型や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクの持ちかた

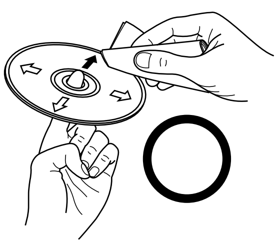
ディスクをセットしたり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などを付けないようにしてください。

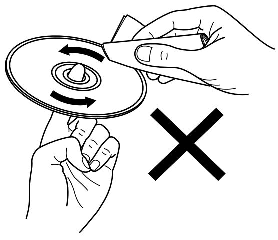


ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いた場合、音質や画質が低下したり、途切れることがありますので、拭き取ってからご使用ください。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



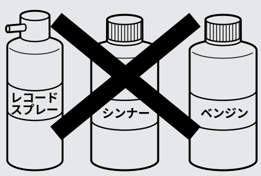
内周から外周方向へ軽く拭く。



円周に沿っては拭かない。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。



取り扱いについてのご注意

- 指紋、油、ゴミなどを付けないでください。
- 表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと表面に水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気、ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

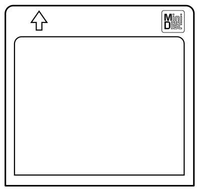
ディスクをセットする際のご注意

- ディスクは1枚だけセットしてください。2枚以上重ねてセットしますと故障の原因になり、ディスクを傷付けることにもなります。
- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせてセットしてください。正しくセットしないとディスクが脱落し、ディスクトレイが開かなくなる場合があります。
- ディスクトレイが引き込まれるときに、指を挟まないようにご注意ください。
- ディスク以外のものをディスクトレイに載せないでください。
- ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

MDの取り扱いとご注意

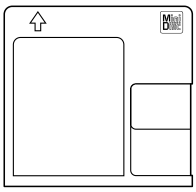
- MDには、再生専用MDと再生/録音用MDがあります。
- 本機で再生/録音できるMDは右のマークがついているものです。

再生専用MD



- 再生のみが可能なMDで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプです。
- 再生専用MDは、CDと同じ光ディスクです。
- 曲の編集などはおこなえません。

再生/録音用MD

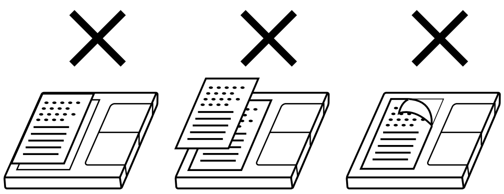


- 再生/録音が可能なMDで光磁気ディスクを使用しており、磁界変調方式で録音をおこないます。
- 書き替えも可能です。

取り扱いについてのご注意

MDはカートリッジの中にディスクが収納されているため、汚れや傷を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。しかしカートリッジの汚れやソリなどが誤動作の原因になることもあります。
次のことに注意してください。

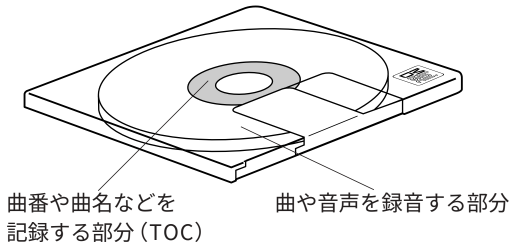
◎ディスク面に直接触れないでください。
◎シャッターを手で開けないでください。
◎ほこりやチリ、湿気の多いところには置かないでください。
◎直射日光が当たるところなど温度の高いところには置かないでください。
◎カートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。



- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り替えて使用してください。

MDの書き込みについて

MDには曲や音声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。

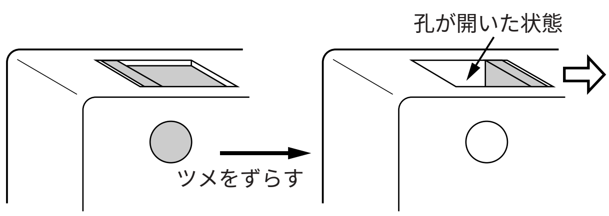


■ TOCとは

MDには曲や音声とともに曲番、曲名や録音場所など曲を認識するための目次情報（TOC：Table of Contents）が記録されます。再生するときはこのTOCを手がかりにします。また、曲の編集はTOCを書き替えることによっておこなわれます。
このTOCは、編集の後にMD取り出しボタン（⏏）を押してMDを排出する操作と、電源操作ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする操作をしたときにMDに書き込まれます。またTOCは録音が終わったときや録音を途中で止めるために停止ボタン（■）を押したときにもMDに書き込まれます。
書き込みをはじめると、“ TOC ” 表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

誤録音/誤消去防止ツメについて

再生/録音用MDには誤録音や誤消去を防止するためのツメが付いています。
録音した内容を誤って消さないために、このツメをずらして孔を開けた状態にしてください。（下図参照）この状態にすることで録音や消去などの編集ができなくなり、録音内容を保護することができます。
再び録音や消去などの編集をおこなう場合は、ツメを元に戻して孔を閉じてください。



お手入れについて

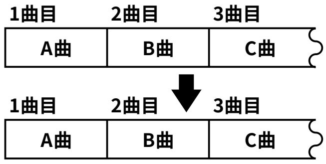
カートリッジの汚れやほこりなどは無理な力を加えないで、乾いた布で拭き取ってください。

曲番について

MDに曲や音声を録音すると、自動的に曲番が付けられます。追加録音したときは順に曲番が上がります。

■ デジタルでMDに録音したとき
（ファンクションがDVD/CD、OPTのとき）

CDについている曲番と同じところに、1曲ごとの曲番が自動的に付きます。



- CDからMDに録音したときにCDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。
- ファンクションがDVD/CDのとき、CDのみデジタルで録音できます。

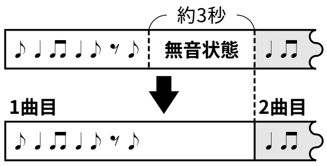
■ アナログでMDに録音したとき
（ファンクションがDVD/CDのときにDVDやCDを録音したとき）

CDやDVDについている曲番と同じところに、1曲ごとの曲番が自動的に付きます。

- ディスクによってはCDやDVDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

（ファンクションが、FM/AM、TAPE、AUX-1、AUX-2、PORTABLEのとき、またはファンクションがDVD/CDのときにビデオCDやMP3/WMAディスクを録音したとき）

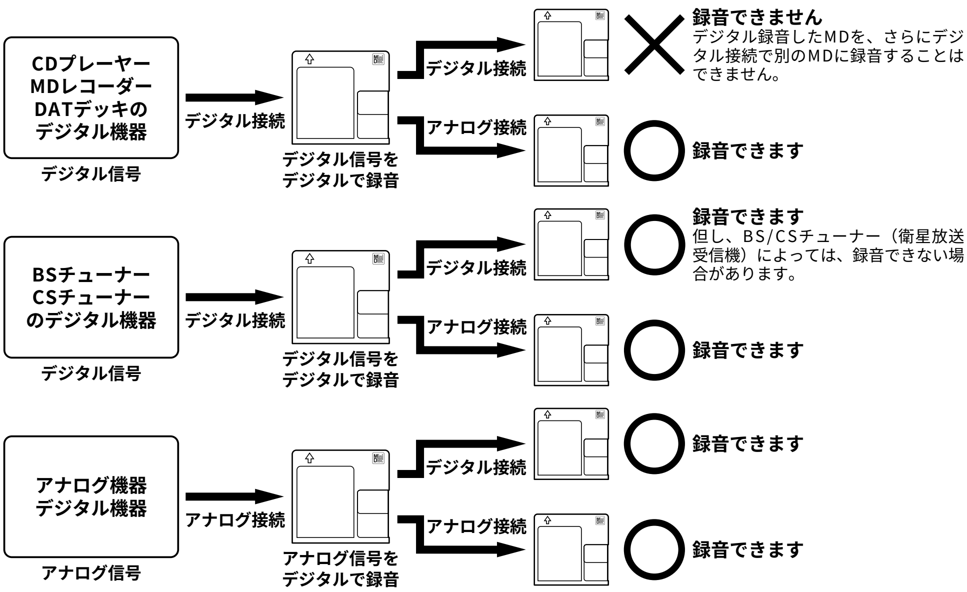
オートトラックマーク機能がオンのとき、約3秒以上の無音部分を曲間として、曲番が自動的に付きます。



- 信号に雑音があるときなど録音する内容によっては、正しい位置に曲番が付かないこともあります。
- オートトラックマーク機能をオフにすることもできます。（☞ 81ページ）
- ファンクションがDVD/CDのとき、DVD、ビデオCD、MP3/WMAディスクはアナログ録音になります。
- 手動で曲番を付加することができます。（☞ 81ページ）

デジタルコピーについて

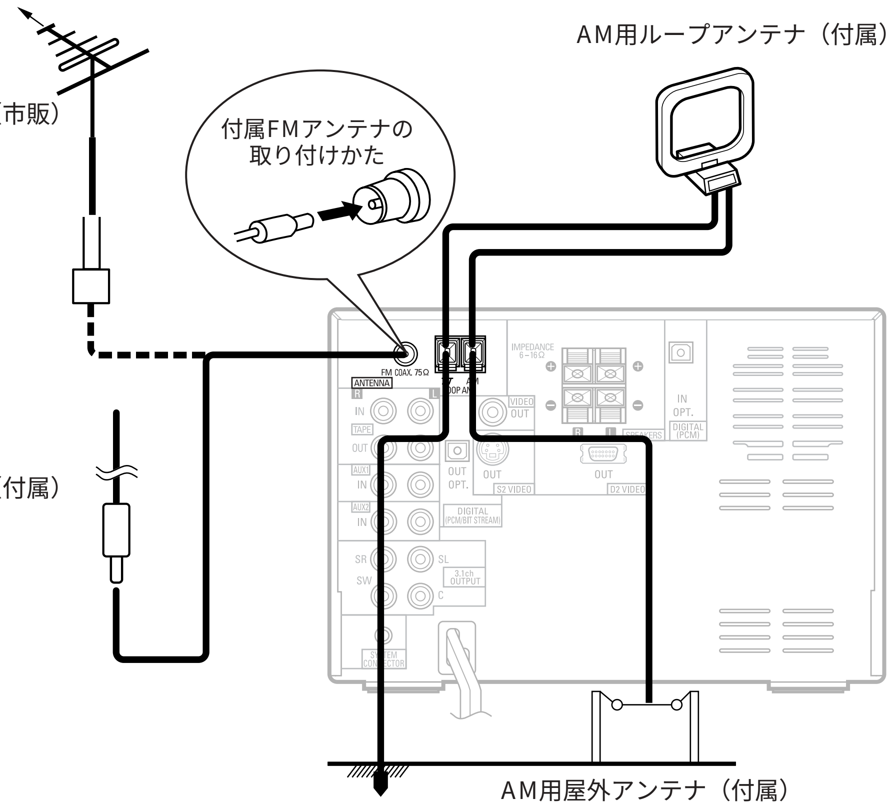
デジタル入力でCDなどを録音したMDをさらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。



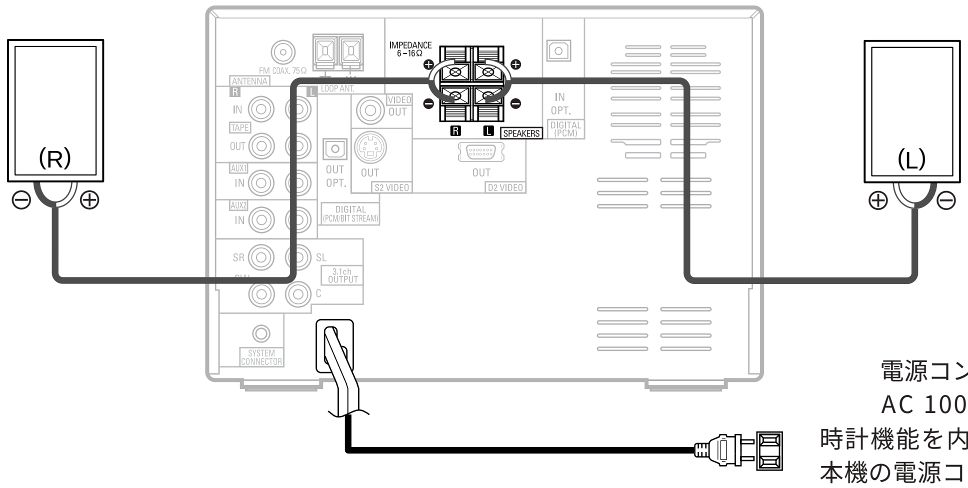
- 他の機器でデジタル信号をデジタル録音されたCD-R/RWは、本機ではアナログで録音することができます。（☞ 83～85ページ）

接続のしかた

アンテナ端子



スピーカー端子、電源コンセント



電源コンセント
AC 100V 50/60Hz
時計機能を内蔵しているため、本機の電源コードは常時通電されている壁の電源コンセントに接続してください。

スピーカーシステムの接続

左チャンネル（L側）のスピーカーシステムをL端子に、右チャンネル（R側）のスピーカーシステムをR端子に接続します。スピーカーは必ずインピーダンスが6Ω以上のものを使用してください。
(☞ 14ページ)

メモ

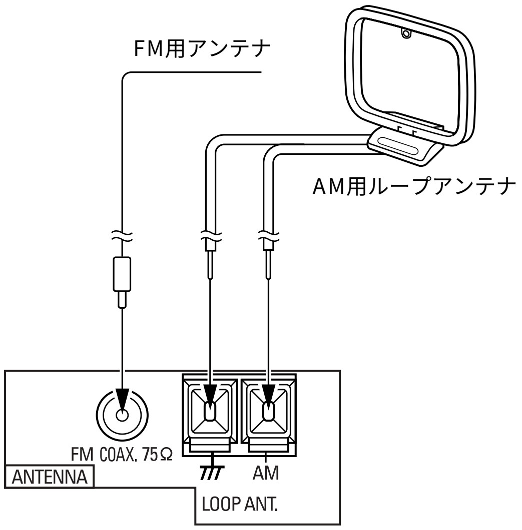
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- 接続コードは確実に差し込んでください。
  不完全な接続は雑音発生の原因になります。

ご注意

- ガス管に接続して大地アースをとるのは、大変危険ですのでおやめください。

FM用屋内アンテナの設置方法

FM放送を受信（☞ 61ページ）し、音を聞きながら歪みや雑音の最も少ない位置にアンテナの先端をテープや押しピンなどで固定してください。
付属のFM用アンテナは電波が十分強い場所などでの一時的な受信のためのものです。良好な受信のためには、FM用屋外アンテナを使用した75Ω同軸ケーブルの接続をおすすめします。



FM用屋外アンテナのつなぎかた

付属のFM用アンテナで放送がきれいに受信できないときはFM用屋外アンテナを使用し、同軸ケーブルに市販の変換アダプターをつないで、本機のFMアンテナ端子（FM COAX. 75Ω）に接続してください。

屋外アンテナを立てる場所について

- 放送局の受信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかげなどでは、最も良く受信できるところに立てて方向を変えてください。
- 送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れたところへ立ててください。
- 落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。

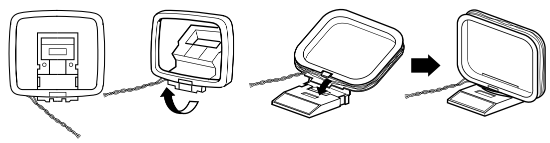
AM用ループアンテナの設置方法

AM放送を受信（☞ 61ページ）し、音を聞きながら本機からできるだけ離して歪みや雑音の最も少ない位置に設置してください。接続の極性を逆にした方が良い場合もあります。
AM用ループアンテナを接続しなかったり、また接続しても金属部分に接近していますと、AM放送を良好に受信することができません。

AM用ループアンテナの組み立てかた

付属のAM用ループアンテナを図のように組み立てます。

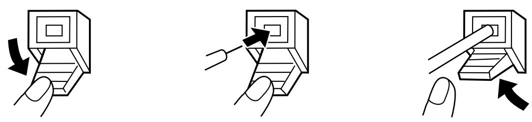
① 取り出す。 ② 曲げる。 ③ 穴に差し込む。



AM用ループアンテナのつなぎかた

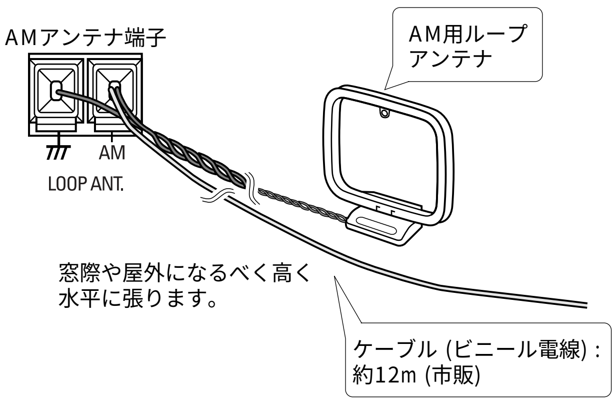
付属のAM用ループアンテナを図のようにアンテナターミナルに接続してください。

① レバーを倒します。 ② アンテナ線を差し込みます。 ③ レバーを戻します。



AM用屋外アンテナのつなぎかた

付属のAM用ループアンテナは取り外さないで、一緒に接続しておいてください。



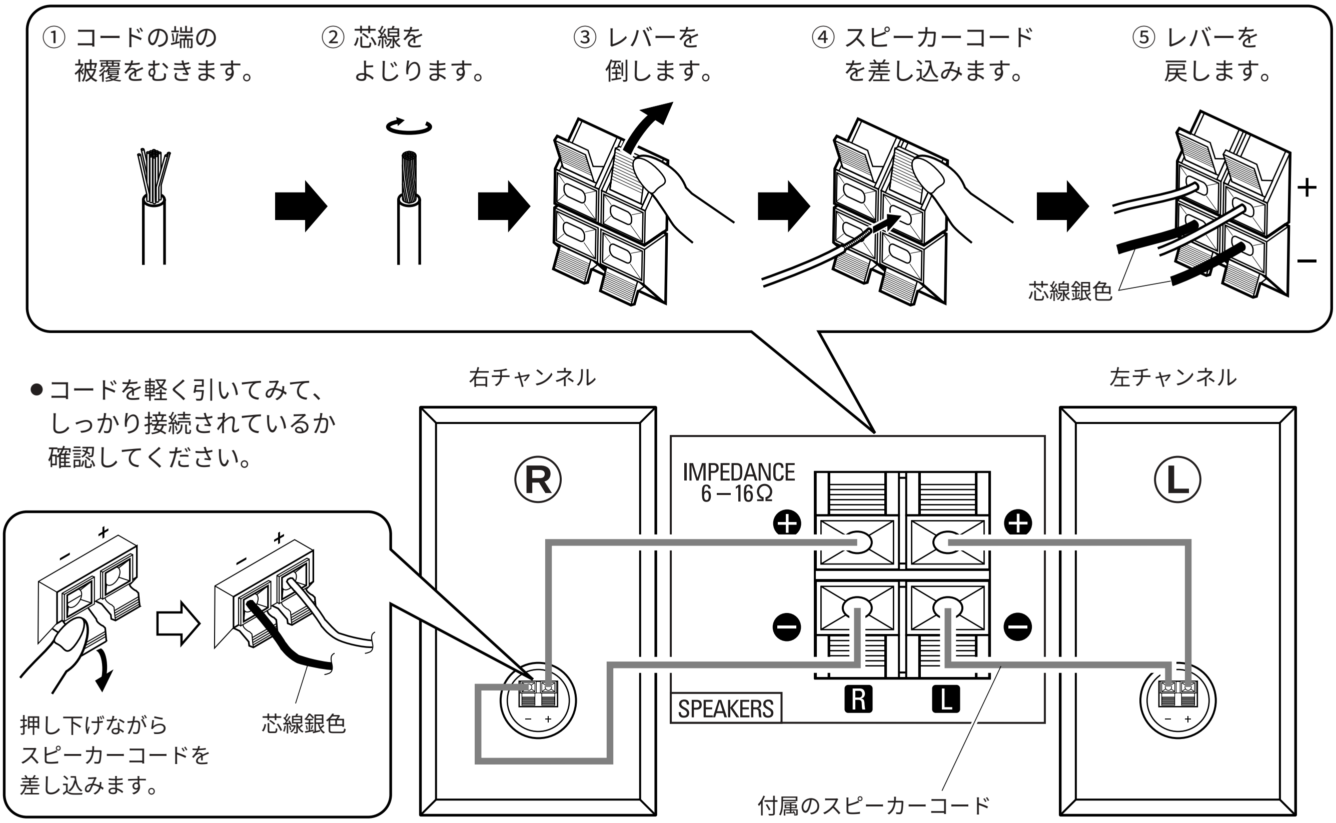
保護回路について

本機には高速プロテクター回路が内蔵されています。これはパワーアンプの出力が誤って短絡された際に大電流が流れたり、本機の周囲の温度が異常に高くなったり、または長時間にわたり、本機を大出力で使用した際の極端な温度上昇などが発生した場合に、スピーカーを保護するためのものです。
保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源表示が点滅します。このような場合は、必ず本機の電源を一度切り、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの配線に異常がないかを確認の上、本機の温度が極端に上がっている場合は本機が冷えるのを待って、周囲の通風状態を良くしてから、もう一度電源コードを挿入して、本機の電源を入れ直してください。
配線や本機の周囲の通風に問題がないのにも関わらず、保護回路が動作してしまう場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、弊社お客様相談窓口または修理相談窓口にご連絡ください。

スピーカーのつなぎかた

付属のスピーカーコードを使用して、本体とスピーカーを接続します。
- スピーカーを本体に接続する場合は、必ず電源コードを抜いてからおこなってください。
- スピーカーは左右非対象です。左チャンネル（L側）のスピーカーをL端子に、右チャンネル（R側）のスピーカーをR端子に接続します。

■スピーカーとコードのつなぎかた【赤端子が（＋）、黒端子が（−）です。】



使用上のご注意

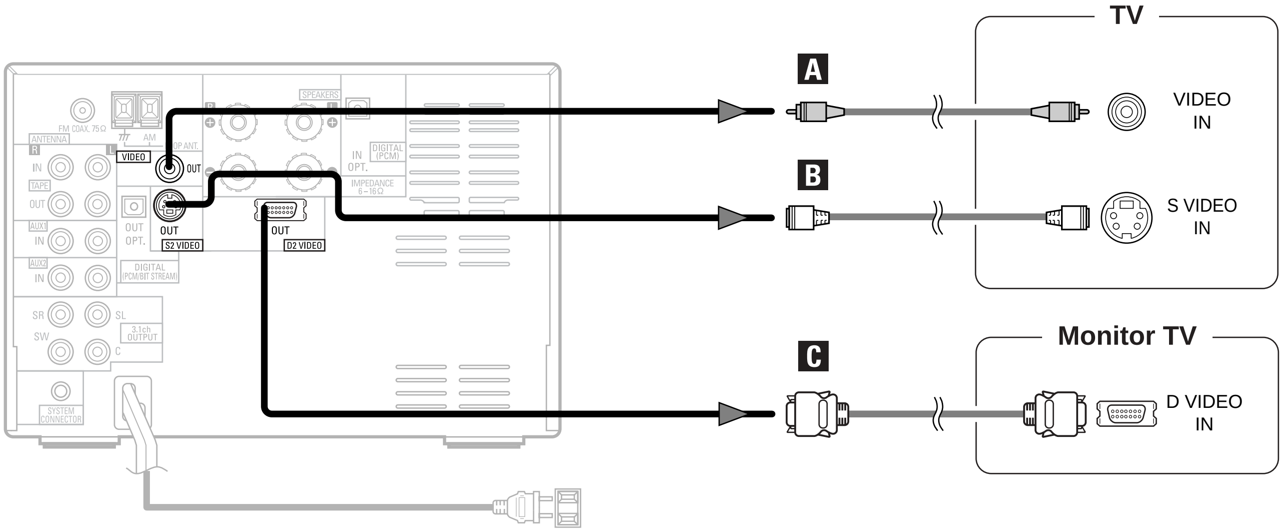
- スピーカー端子とスピーカーは必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。極性を間違えて接続しますと、中央の音が抜けたようになり、楽器の定位がはっきりせず、ステレオの方向感が損なわれます。
- テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定な信号を連続して再生することは、絶対に避けてください。

設置上のご注意

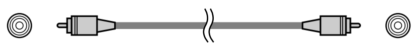
- 低音域が不自然に強調されたりする場合には、コンクリートブロックなどの固い台の上にのせるようにしてください。
- スピーカーの背面や前面に壁やガラス戸などがある場合には、共振や反射を防止するために、厚手のカーテンなどを掛けるようにしてください。
- スピーカーには強力なマグネットがついていますので、テレビ・時計・磁気テープなどの近くには置かないでください。
- スピーカーをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置しますと、ハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。
- スピーカーを移動させる場合、サランネットに強く触れますと、スピーカーを破損させることがありますのでご注意ください。

本機とワイドテレビ/AVテレビを接続する（映像端子、S映像端子、D端子）

- 接続するテレビに応じて次のいずれかの方法で接続をおこないます。
- 付属のビデオコードで、テレビの映像入力端子と本機のVIDEO OUT端子を接続するか、または市販のS端子用コードでS2 VIDEO OUT端子を接続します。
- テレビのD入力端子に接続する場合は、市販のD端子接続用ケーブルを使用して、本機のD2 VIDEO OUT端子を接続します。

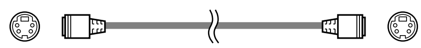


A ビデオ接続



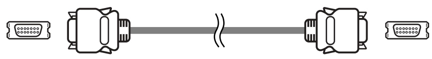
映像用75Ωピンプラグケーブル

B Sビデオ接続



S端子用接続ケーブル

C コンポーネントビデオ接続



D端子用接続ケーブル

信号方向

ビデオ信号

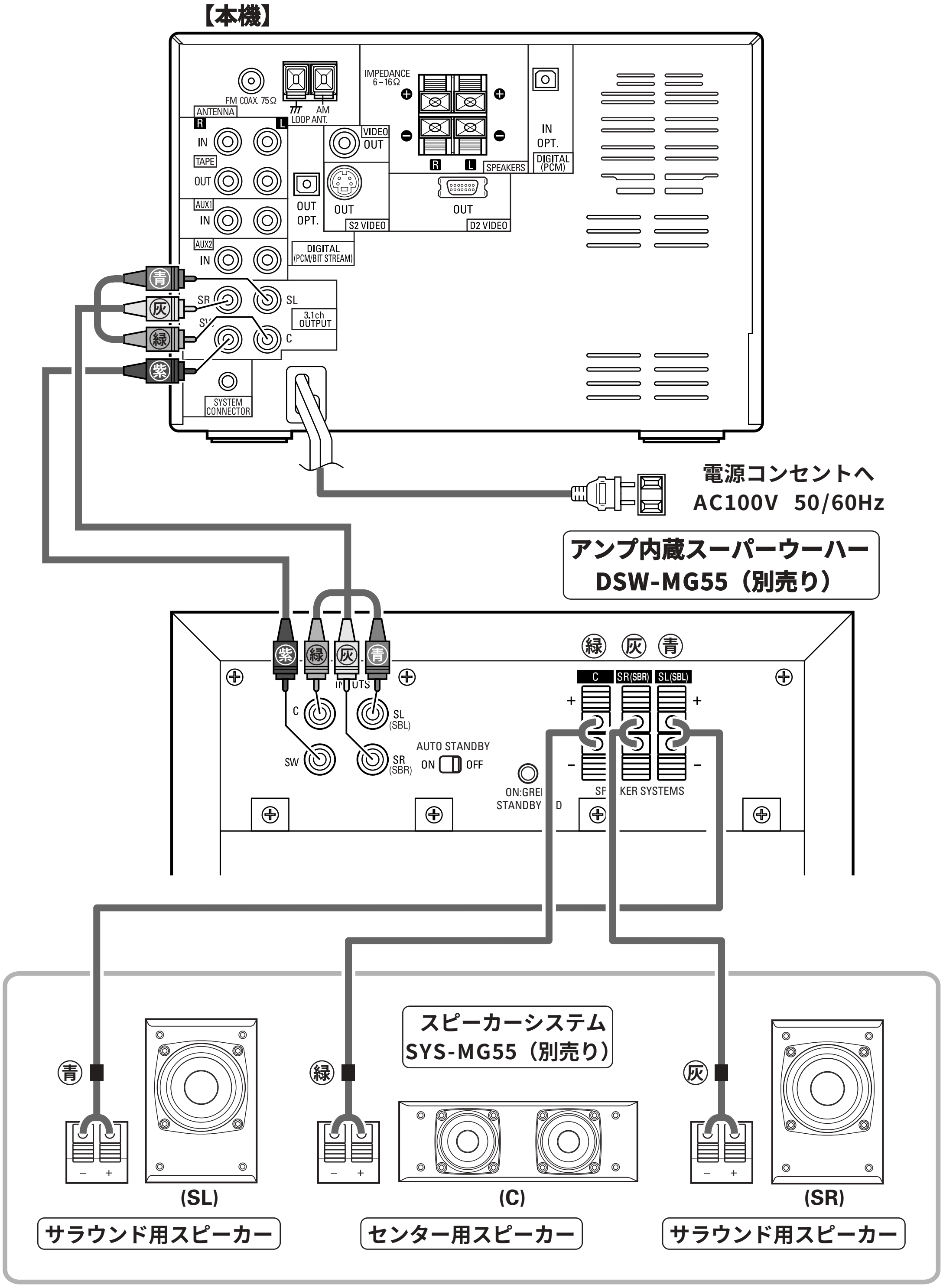


メモ

- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。VTR（ビデオテープレコーダー）経由で接続しないでください。（ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。）
- ワイドテレビと接続する場合は、“ 初期設定 ” の “ TVアスペクト ” を “ ワイド ” に設定してください。また、通常のテレビと接続する場合は、“ 4：3 PS ” または “ 4：3 LB ” に設定してください。（☞ 41ページ）なお、工場出荷時は “ 4：3 PS ” に設定されています。）
- 国内で使われているテレビはNTSC方式です。
- 接続の際は、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- S端子やD端子の入力端子に接続された映像信号は、S端子入力はS端子出力から、D端子入力はD端子出力からしか出力されませんのでご注意ください。
- S映像出力端子について
  映像信号をカラー（C）信号と輝度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。
  S映像入力端子付きテレビには、S端子用接続コード（市販）で接続することをおすすめします。
  なお、本機は自動的にワイドテレビの画像モードを切り替えるS2規格に対応しています。
- 工場出荷時、本機でDVDディスクを再生した場合のD端子出力はD1（インターレース、525i）信号に設定されています。D2（プログレッシブ、525p）信号に設定変更することもできます。D2信号出力時は、VIDEO OUT端子、S2 VIDEO OUT端子より映像信号は出力されません。（☞ 30、31ページ）
- プログレッシブテレビによっては、本機のプログレッシブ出力（525P）に対応しておらず、映像に悪影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、本機のD端子出力をD1（インターレース、525i）信号に切り替えてご使用ください。（☞ 30、31ページ）

DSW-MG55（アンプ内蔵スーパーウーハー）/SYS-MG55（スピーカーシステム）の接続のしかた

- 本機は、別売りのアンプ内蔵スーパーウーハー（DSW-MG55）と組み合わせて2.1CHサラウンドシステムに、さらに別売りのセンター/サラウンド用スピーカーシステム（SYS-MG55）と組み合わせて5.1chサラウンドシステムに発展することができます。
- 各機器の取り扱いについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

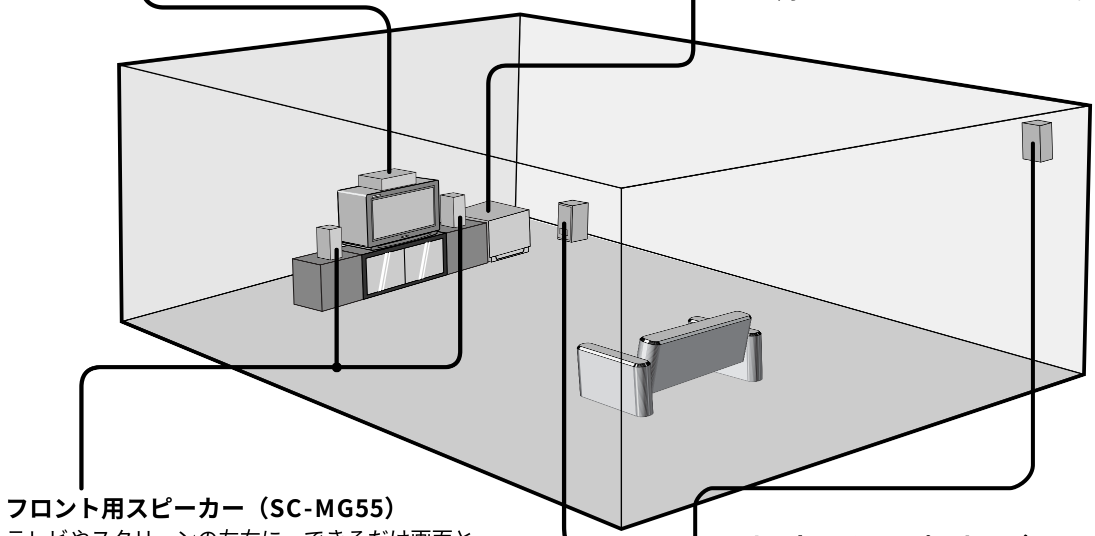


メモ

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセント差し込まないでください。
- 各チャンネルを確かめてから、正しくSW（紫）、C（緑）、SL（青）、SR（灰）を接続してください。

5.1チャンネルスピーカーシステムの設置のしかた

■ **スピーカーシステムのレイアウト**（基本的なシステムレイアウト）
スピーカーシステム（6台）とテレビを組み合わせた基本的なシステムレイアウトの例です。



◎フロント、センター用スピーカーはできるだけテレビやスクリーンと同一面で、センター用スピーカーは左右のフロント用スピーカー間で、視聴ポジションからフロント用スピーカーまでの距離より遠くならないところに置いてください。

◎スーパーウーハーの置き場所の制限は特にありませんが、スクリーンと同一面にあった方が理想的です。

◎センター用スピーカーをテレビの上に置いたり、サラウンド用スピーカーを壁に吊るす場合、地震で落下したりしないよう、しっかりと固定してください。

◎お部屋の空間の制限などにより、基本的なレイアウトができない場合で、スピーカーと視聴ポジションの距離が大きく異なる場合は、“ディレイタイム（距離の設定）”（☞ 48ページ）を参照し、実際のスピーカーまでの距離をセットアップで調節することにより、最適なサラウンド効果を得ることができます。

メモ

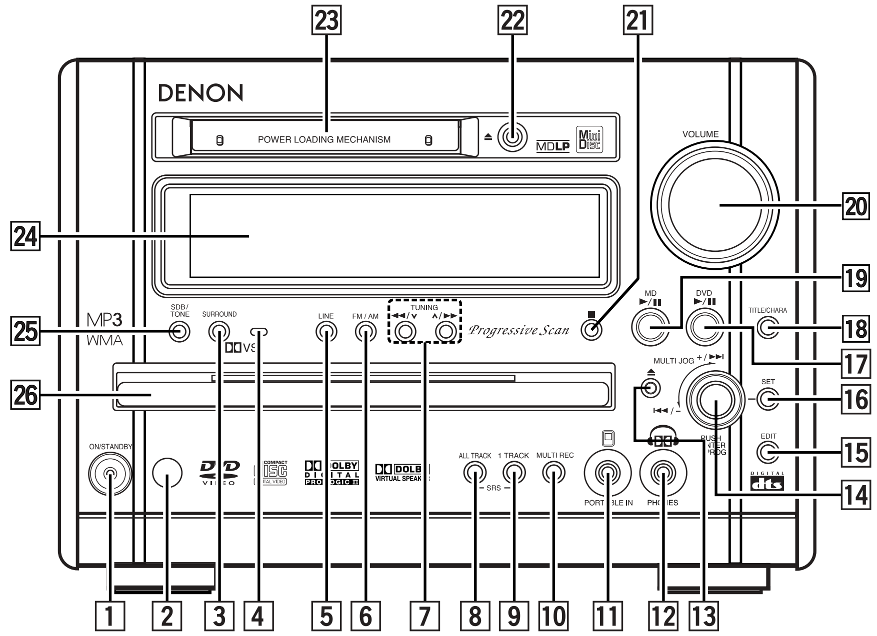
● ブラケット類をご使用される場合は、SYS-MG55の“取り扱いのご注意”を必ず参照してください。

準備

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については（　）内のページを参照してください。

フロントパネル



1 **電源ボタン（ON/STANDBY）**（☞ 25ページ）

2 **リモコン受光部**（☞ 24ページ）

3 **サラウンドボタン（SURROUND）**（☞ 50ページ）

4 **ドルビーバーチャルスピーカー表示LED**（☞ 50ページ）

5 **ライン切り替えボタン（LINE）**（☞ 82、116ページ）

6 **FM/AMボタン（FM/AM）**（☞ 61、82、87ページ）

7 **【チューナーファンクション】**
チューニングボタン（∨、∧）（☞ 61ページ）
【DVD/CD/MDファンクション】
マニュアルサーチボタン（◀◀、▶▶）（☞ 57、60ページ）

8 **シンクロ録音（オールトラック）ボタン（ALL TRACK）**（☞ 86ページ）

9 **シンクロ録音（任意の1トラック）ボタン（1 TRACK）**（☞ 88ページ）

10 **マルチMD録音ボタン（MULTI REC）**（☞ 81〜85、89ページ）

11 **ポータブル入力端子（PORTABLE IN）**（☞ 111ページ）

12 **ヘッドホン端子（PHONES）**（☞ 53ページ）

13 **DVD/CD開閉ボタン（⏏）**（☞ 31ページ）

14 **マルチジョグダイヤル（MULTI JOG）エンター/プログラムボタン**
(PUSH ENTER/PROG)（☞ 26、64、66、77ページ）
【チューナーファンクション】
プリセットボタン（−、+）（☞ 62ページ）
【DVD/CD/MDファンクション】
オートマチックサーチボタン（I◀◀、▶▶I）（☞ 57、60ページ）
【各モード設定】
マルチジョグダイヤル（☞ 27、101ページ）

15 **編集ボタン（EDIT）**（☞ 100ページ）

16 **セットボタン（SET）**（☞ 27〜30ページ）

17 **DVD/CD再生/一時停止ボタン（DVD ►/II）**（☞ 56、57ページ）

18 **タイトル/キャラクタボタン（TITLE/CHARA）**（☞ 59、99、101ページ）

19 **MD再生/一時停止ボタン（MD ►/II）**（☞ 59ページ）

20 **音量調節つまみ（VOLUME）**（☞ 26ページ）

21 **停止ボタン（■）**（☞ 56、59ページ）

22 **MD取り出しボタン（⏏）**（☞ 59ページ）

23 **MD挿入口**（☞ 59ページ）

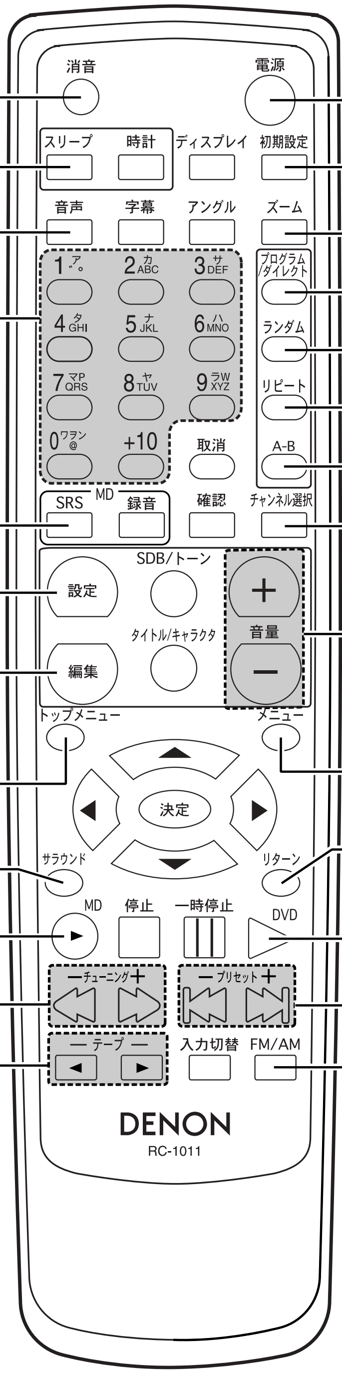
24 **ディスプレイ**（☞ 22、23ページ）

25 **重低音/音質ボタン（SDB/TONE）**（☞ 26ページ）

26 **ディスクトレイ**（☞ 31ページ）

リモコン

※は、リモコンだけの操作ボタンです。



※消音ボタン　（☞ 26ページ）

※スリープボタン
（☞ 121ページ）

※音声ボタン　（☞ 68ページ）

※文字入力/ダイレクトナンバーボタン
（☞ 43、64～67、102ページ）

シンクロ録音ボタン（SRS）
（☞ 86、88ページ）

設定ボタン
（☞ 27～30ページ）

編集ボタン　（☞ 100ページ）

※トップメニューボタン
（☞ 69ページ）

サラウンドボタン
（☞ 50ページ）

MD再生ボタン（MD ▶）
（☞ 59ページ）

チューニング −/+ ◀◀、▶▶ ボタン
（☞ 57、60、61ページ）

※テープ プレイ ボタン（◀ ▶）
（☞ 123、125ページ）

電源ボタン　（☞ 25ページ）

※初期設定ボタン
（☞ 32ページ）

※ズームボタン　（☞ 57ページ）

※プログラム/ダイレクトボタン
（☞ 64、77、98ページ）

※ランダムボタン
（☞ 64、71、76ページ）

※リピートボタン
（☞ 63、71、76ページ）

※A-Bリピートボタン
（☞ 63ページ）

※チャンネル選択ボタン
（☞ 53ページ）

音量ボタン　（☞ 26ページ）

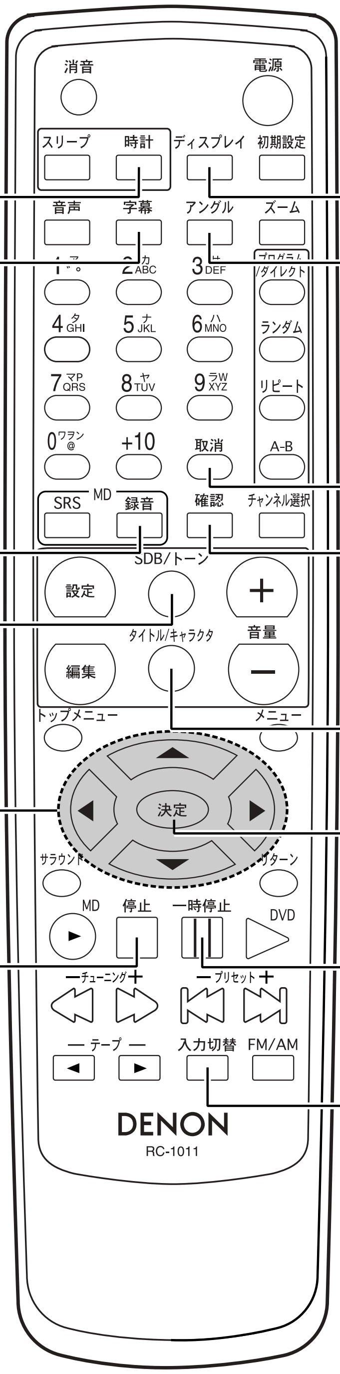
※メニューボタン
（☞ 69、73、75ページ）

※リターンボタン
（☞ 56ページ）

DVD再生ボタン（DVD ▶）
（☞ 56ページ）

プリセット −/+ I◀◀、▶▶I ボタン
（☞ 57、60、62ページ）

FM/AMボタン
（☞ 61、82、87ページ）



※時計ボタン　（ ☞ 28ページ）

※ディスプレイボタン
（ ☞ 59、67、70、92ページ）

※字幕ボタン　（ ☞ 68ページ）

※アングルボタン
（ ☞ 69ページ）

※取消ボタン
（ ☞ 65、77、98、102ページ）

録音ボタン
（ ☞ 81〜85、89ページ）

※確認ボタン
（ ☞ 77、92、99ページ）

重低音/音質ボタン
（SDB/トーン）（ ☞ 26ページ）

タイトル/キャラクタボタン
（ ☞ 59、99、101ページ）

※カーソルボタン（◀、▶、▲、▼）
（ ☞ 27、32〜49、56、66〜71ページ）

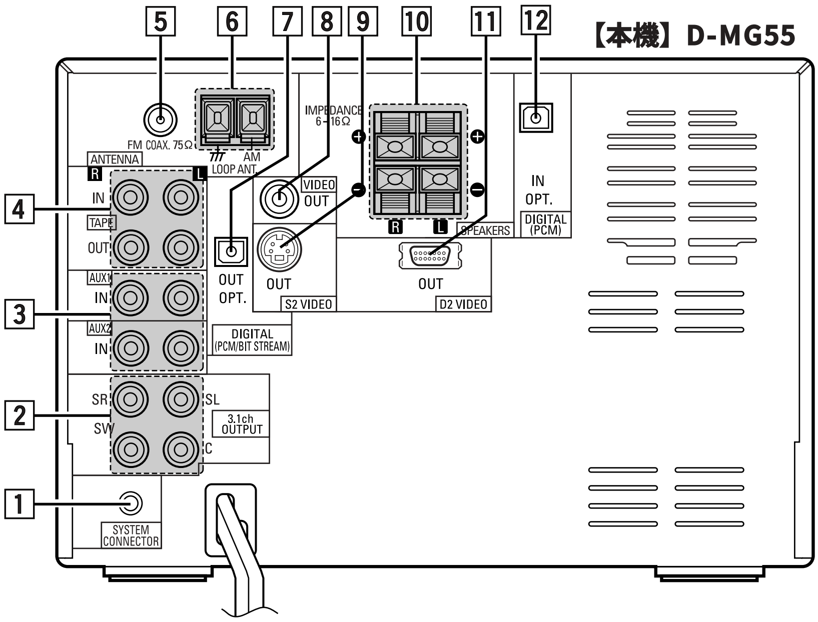
決定ボタン
（ ☞ 56、62ページ）

停止ボタン
（ ☞ 56、59ページ）

一時停止ボタン
（ ☞ 57、59、74ページ）

入力切替ボタン
（ ☞ 82、116ページ）

リアパネル



1 **システム端子（SYSTEM CONNECTOR）**
（☞ 112、113ページ）

2 **3.1ch出力端子（3.1ch OUTPUT）**
（☞ 16ページ）

3 **外部接続機器入力端子（AUX1、AUX2 IN）**
（☞ 112、113ページ）

4 **カセットデッキ入出力端子（TAPE）**
（☞ 112、113ページ）

5 **FMアンテナ端子（FM）**
（☞ 12、13ページ）

6 **AMアンテナ端子（AM）**
（☞ 12、13ページ）

7 **デジタル音声出力端子（DIGITAL OPT. OUT）**
（☞ 112～114ページ）

8 **映像出力端子（VIDEO OUT）**
（☞ 15ページ）

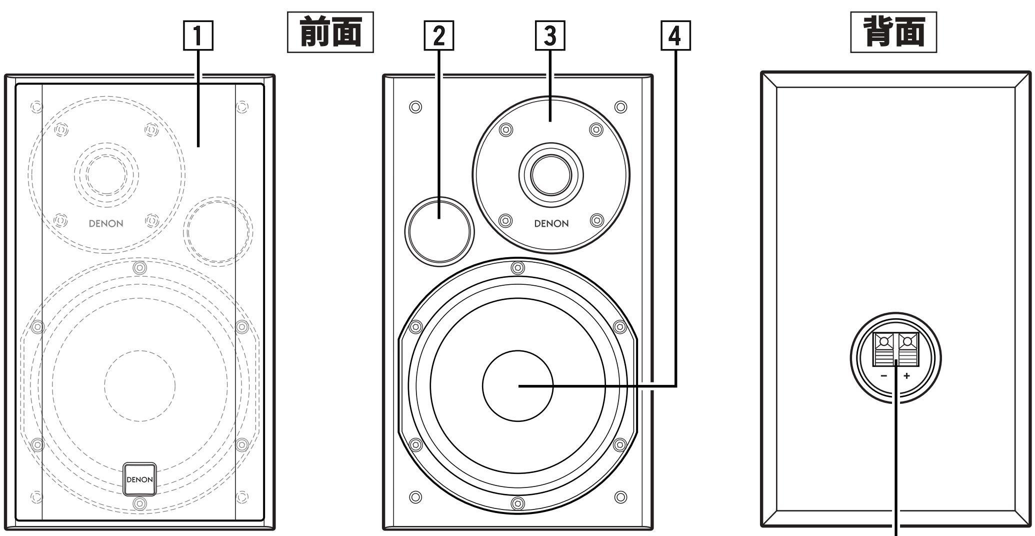
9 **S映像出力端子（S2 VIDEO OUT）**
（☞ 15ページ）

10 **スピーカー端子（SPEAKERS）**
（☞ 12、14ページ）

11 **D2出力端子（D2 VIDEO OUT）**
（☞ 15ページ）

12 **デジタル音声入力端子（DIGITAL OPT. IN）**
（☞ 112、113ページ）

スピーカー



（左チャンネル）　（右チャンネル）

1 **スピーカーネット（着脱式）**

2 **バスレフダクト**

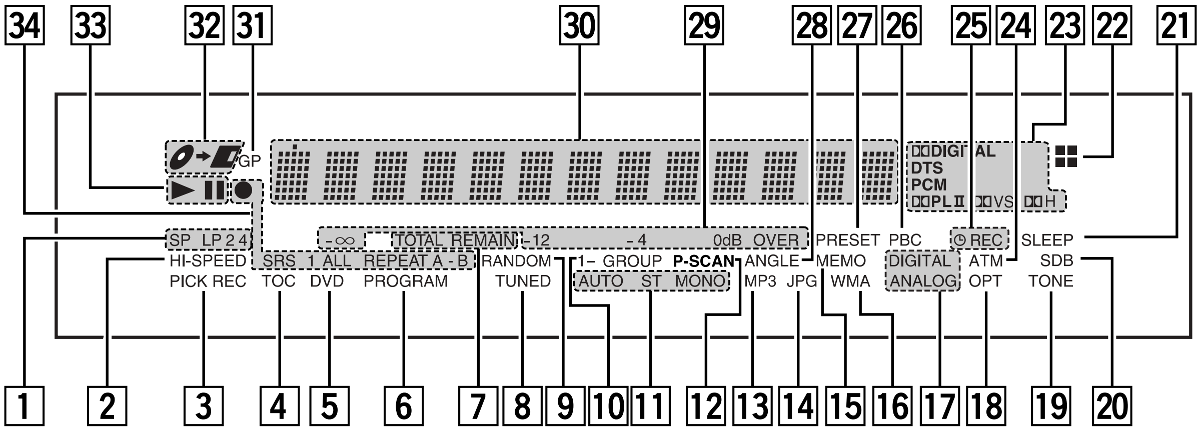
3 **ツィーター**

4 **ウーハー**

5 **スピーカー接続端子**

ディスプレイ

ディスプレイの明るさは、3段階に調節できます。（☞ 29ページ）



1 **SP LP24表示**
- 録音モードを点灯します。
  MD再生時は、再生しているMDの録音モードを表示します。

2 **HI-SPEED表示**
- 高速録音のときに点灯します。

3 **PICK REC表示**
- ピックレック中に点灯または点滅します。

4 **TOC表示**
- 録音、消去およびタイトル入力などの編集操作がおこなわれ、MDの内容が変更されているときに点灯または点滅します。

5 **DVD表示**
- ファンクションがDVD/CDで、DVDビデオディスクが入っているときに点灯します。

6 **PROGRAM表示**
- プログラム選曲時に点灯します。

7 **TOTAL REMAIN表示**
- DVD/CDやMDの再生中にディスプレイボタンを押すと点灯し、曲の残時間や経過時間などが確認できます。
  また、MD停止時に押すと録音可能時間を表示します。

8 **TUNED表示**
- 正しく同調したときに点灯します。

9 **RANDOM表示**
- ランダム再生のときに点灯します。

10 **1-GROUP表示**

GROUP：　グループモードがオンのときに点灯します。

1-GROUP：　1-GROUP再生モードのときに点灯します。

11 **AUTO ST MONO表示**
- FMステレオ受信モードの状態を表示します。

12 **P-SCAN表示**
- D2 OUT端子出力がD2（プログレッシブ、525p）信号のときに点灯します。
  このとき、VIDEO OUT端子、S2 VIDEO端子から映像信号は出力されません。

13 **MP3表示**
- ファンクションがDVD/CDで、MP3が再生されているときに点灯します。

14 **JPG表示**
- ファンクションがDVD/CDで、JPEGが再生されているときに点灯します。

15 **MEMO表示**
- 放送局をメモリーするときにエンター/プログラムボタンを押すと点灯します。

16 **WMA表示**
- ファンクションがDVD/CDで、WMAが再生されているときに点灯します。

17 **DIGITAL ANALOG表示**
- 録音状態（DIGITAL/ANALOG）を表示します。

18 **OPT表示**
- ファンクションがOPTで、OPTICAL端子にデジタル機器が接続されているときに点灯します。

19 **TONE表示**
- BASS、TREBLEレベルが調節されているときに点灯します。

20 **SDB表示**
- SDBモードがオンのときに点灯します。

21 **SLEEP表示**
- スリープ動作中に点灯します。

22 **モード表示**
- セットモード、エディットモードに入っているときに点滅します。

23 **音声フォーマット表示**
- 再生している音声フォーマットが点灯します。

24 **ATM表示**
- オートトラックインクリメント機能がオンのときに点灯します。

25 **タイマー録音表示**
- タイマーを設定しているときに点灯します。

26 **PBC表示**
- ファンクションがDVD/CDで、プレイバックコントロール付きビデオCDが再生されているときに点灯します。

27 PRESET表示
- 放送局をプリセットするときにエンター/プログラムボタンを押すと点灯します。

28 ANGLE表示
- 複数のアングルが記録されているディスクを再生しているときに点灯します。

29 録音レベル表示
- 録音レベル調整モードのときに点灯します。

30 インフォメーションディスプレイ
- 受信バンド、受信周波数、時計およびタイマーの時刻を表示します。
- 再生中、タイトル/トラック番号や経過時間、各種動作内容を表示します。
- MDの曲数、曲番、再生時間、タイトル、各種動作内容、メッセージなどを表示します。
- 録音レベル調整モードのとき、レベルメーターとなります。

31 グループ表示
- グループ登録されているMDを入れると点灯します。

32 DVD、CD、MD表示
- DVD、CDまたはMDがセットされているときに点灯し、再生のときは点滅します。CDをMDに録音しているときは矢印が点灯します。

33 プレイモード表示
- DVD、CDまたはMDの再生時は“ ▶ ”表示が点灯し、一時停止時は“ ❚❚ ”表示を点灯します。

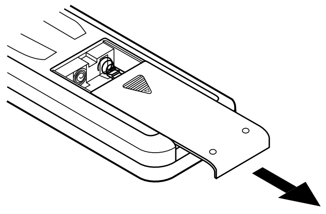
34 リピート表示、録音状態表示
- リピート再生
  - ・全曲リピート：　ALL REPEAT
（フォルダーリピート）
  - ・1曲リピート：　1 REPEAT
（シングルリピート）
  - ・A-Bリピート：　REPEAT A-B
- シンクロ録音
  - ・全曲シンクロ録音：　SRS ALL
  - ・1曲シンクロ録音：　SRS 1
- マルチ録音ボタンが押されたとき
  - ・録音時：　●表示点灯
  - ・録音一時停止時：　●表示点滅

リモコンについて

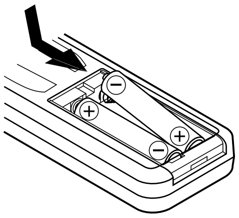
付属のリモコン（RC-1011）を使用すると、離れたところから本機をコントロールすることができます。

乾電池の入れかた

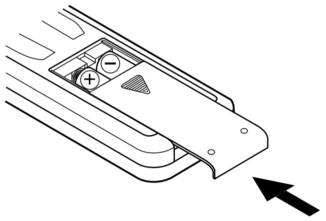
① リモコンの裏ぶたを外してください。



② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。



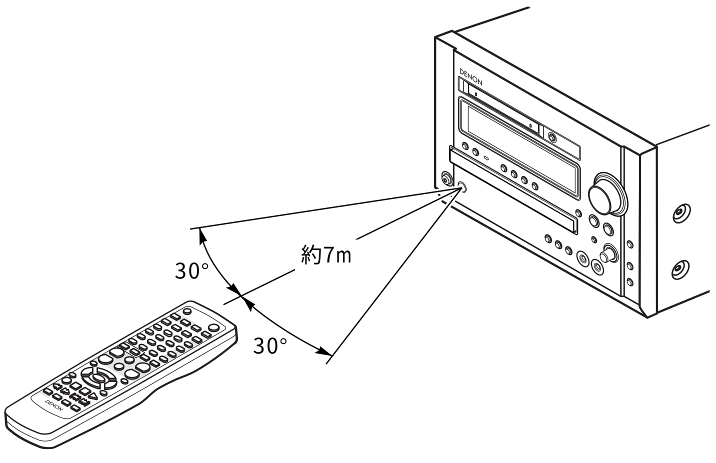
③ 裏ぶたを元通りにしてください。



乾電池についてのご注意

- リモコンには単4形乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに、⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

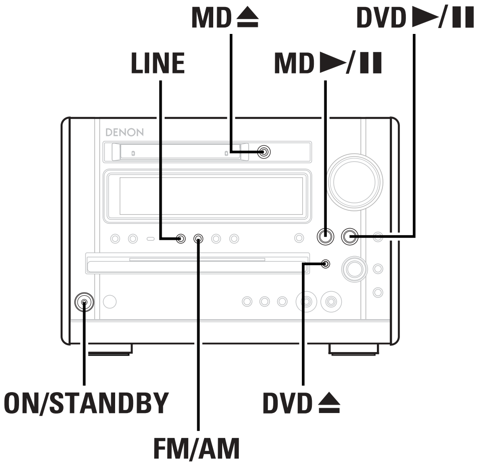
リモコンの使いかた

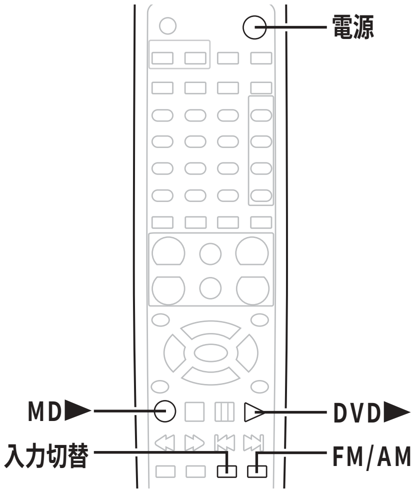


- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- 直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていませんと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30 °までの範囲で操作できます。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- 本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。





電源『ON』/『スタンバイ』について

電源を " ON " にするには

ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押す。

- インジケーターが緑色になります。

電源を " スタンバイ " にするには

電源 " ON " の状態から ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押す。

- スタンバイ状態になります。
- **スタンバイ（タイマー " OFF "）のとき：**
  ON/STANDBY ボタンが赤色に点灯します。
- **タイマー " ON " のとき：**
  ON/STANDBY ボタンがオレンジ色に点灯します。
  （タイマー " ON " の設定方法は、117〜121ページを参照してください。）

メモ

- **電源** ボタン以外でも電源を " ON " にすることができます。
- インジケーターが赤色点滅しているときは、本機の保護回路が働いています。このような場合は本機やスピーカーが破損する恐れがありますので、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き取り、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご連絡ください。

" スタンバイ " のときに自動的に電源を " ON " にするには

本体ボタンで操作するとき

MD⏏ ボタン
MDが入っているときは、MDが取り出せます。

DVD⏏ ボタン
ディスクホルダーが出てきます。

MD►/❚❚ ボタン
MDデッキにMDが入っているときは、再生がはじまります。

DVD►/❚❚ ボタン
ディスクホルダーにDVD/CDが入っているときは、再生がはじまります。

FM/AM ボタン
前回聞いていた放送局を受信します。

LINE ボタン
前回のファンクションで電源を " ON " にします。

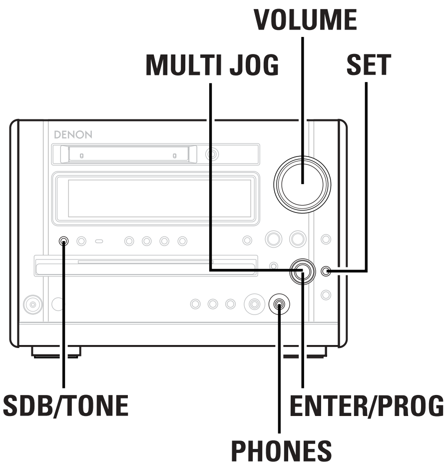
リモコンボタンで操作するとき

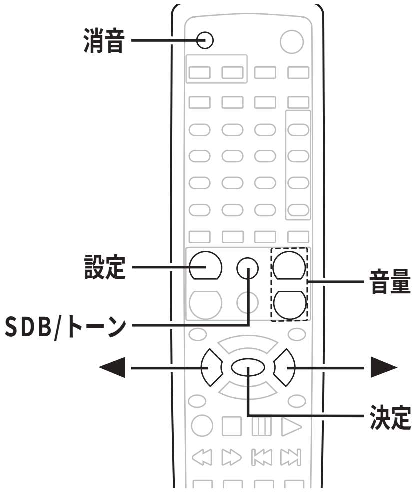
DVD► ボタン
ディスクホルダーにDVD/CDが入っているときは、再生がはじまります。

MD► ボタン
MDデッキにMDが入っているときは、再生がはじまります。

FM/AM ボタン
前回聞いていた放送局を受信します。

入力切替 ボタン
前回のファンクションで電源を " ON " にします。





音量や音質を調節する

音量を調節する

VOLUME つまみを回すか、 音量 ボタンを押す。

```
VOLUME 20
```

※ **VOLUME** つまみを 右（Ω）に回すと音量が大きくなり、左（Ω）に回すと音量が小さくなります。
※ 音量はMIN、01～MAXの範囲で調節できます。
※ お買い上げのときは、“ VOLUME 12 ” になっています。

メモ

- 電子コントロール式の音量調節のため、つまみは音量レベルの表示を確認しながらゆっくりと回してください。

一時的に消音する

消音 ボタンを押す。

```
MUTE ON
```

※ 解除するときはもう一度、 **消音** ボタンを押してください。
“ *MUTE OFF* ” が表示され、ミュートを解除します。
※ ミュートの解除は、以下の操作でもおこなえます。
- **VOLUME** つまみを回すか、 **音量** ボタンを押す。
- 電源を “ スタンバイ状態 ” にする。

音質を変える

1 **SDB/TONE ボタンまたは SDB/トーン ボタンを押して、調節したいモードを選ぶ。**

- ボタンを押すたびに次のように切り替わります。
- BASS、TREBLEはそれぞれ－10dB～＋10dBの範囲で調節できます。

重低音を切り替える

```
SDB  ON OFF
```

↓

低音の調節

```
BASS 00dB
TONE
```

↓

高音の調節

```
TREBLE 00dB
TONE
```

↓

ソースダイレクトにする

```
S.DIRECT
```

↓

解除

2 **SDBモードを設定するとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して、“ ON ” または “ OFF ” に設定した後、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

強調する

```
SDB ON OFF
SDB
```

強調しない

```
SDB  ON OFF
```

BASS/TREBLEレベルモードを設定するとき

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して、レベルを調節した後、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

S.DIRECT(ソースダイレクト)を設定するとき

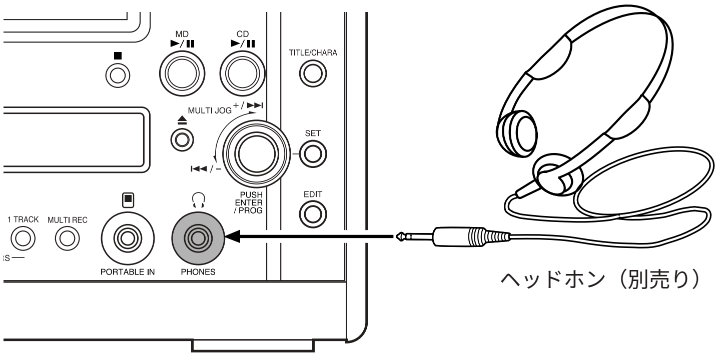
ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- S.DIRECTではトーンとSDBをOFFにし、フラットな特性になります。

メモ

- 各モードの設定は **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押さなくても設定されます。表示は操作後約5秒で自動的に決定されて通常の表示に戻ります。

ヘッドホンで聞く



ヘッドホンのプラグを PHONES 端子に差し込む。

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

※ 音量や音質の調節は、26ページを参照してください。

ご注意

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間、聞くことは避けてください。

セット機能について

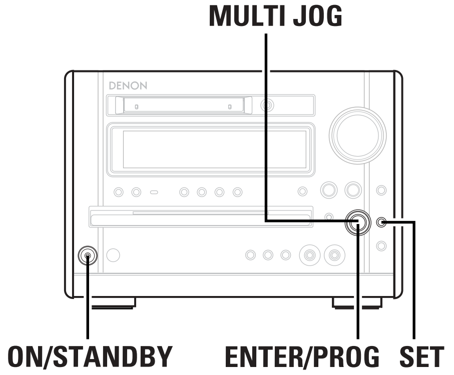
- いろいろな機能の操作および設定をおこなうことができます。
- **SET** ボタンまたは **設定** ボタンを押してから **MULTI JOG** ダイヤルを回すかまたは ◀、▶ ボタンを押すと、次の機能の操作および設定ができます。
- 表示される機能名称は、各ファンクションやファンクション内の動作状態により異なります。

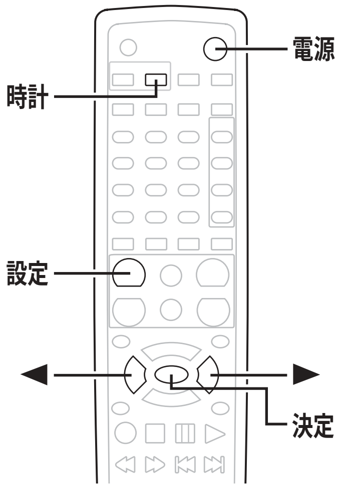
		MULTI JOG ダイヤルまたは ◀、▶ ボタンで選択
	1	REC LEVEL?
	2	MD REC MODE?
	3	GROUP REC?
※	4	1-GROUP?
	5	CLOCK
※	6	TIMER ON/OFF?
※	7	TIMER SET?
	8	AUTO PWR OFF?
※	9	BRIGHTNESS?
	10	ANALOG A.T.M?
	11	AUTO PRESET?

※は、スタンバイ状態からでも設定が可能です。

ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

	MULTI JOG ダイヤルまたは ◀、▶ ボタンで選択	設定事項	参照ページ
1	L R ======= -∞ -12 -4 0dB OVER	録音レベルの調節	82
2	MDLP/LP STAMP	録音モードの設定	78、79
3	GROUP ON/OFF	グループ機能のON/OFF設定	79
4	1-GP ON/OFF	1-GROUP機能のON/OFF設定	97
5	DISP./ADJUST	時計の確認/設定	29
6	TIMER ON/OFF	タイマーON/OFF設定	120
7	CHECK/ADJUST	タイマーの確認/設定	117～121
8	AUTO ON/OFF	オートパワーオフのON/OFF設定	30
9	NORM/LOW/OFF	ディスプレイの明るさ設定	29
10	A.T.M ON/OFF	オートトラックマーク機能のON/OFF設定	81
11	PRESET START?	チューニング自動設定	62





時計の合わせかた

現在時刻の合わせかた（24時間表示）

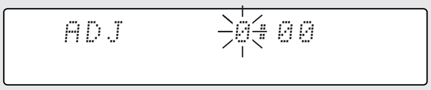
■時計ボタンからの操作

[例] 現在時刻を“19時30分（午後7時30分）”に合わせるとき

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

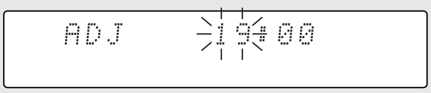
2 **時計 ボタンを3秒以上押す。**

● 時の桁が点滅します。



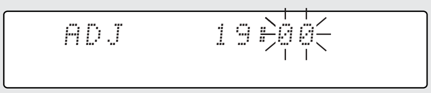
3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◀、▶ ボタンを押して、時の桁を“19”に設定する。**

● 時の桁が“19”点滅します。



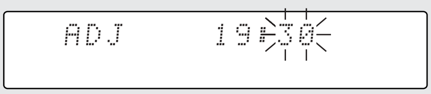
4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

● 時の桁が“19”点灯し、分の桁が点滅します。



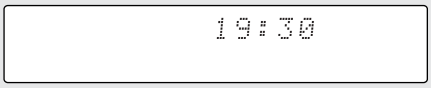
5 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◀、▶ ボタンを押して、分の桁を“30”に設定する。**

● 分の桁の“30”が点滅します。



6 **時間に合わせて、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

● 分の桁の“30”点灯し、現在時刻が表示されます。



※ 時計の精度は、月におよそ1～2分程度のズレが生じることがあります。
このようなときは、時刻を合わせ直してください。

※ 電源コードを抜いていたり停電があったときなどは時計の設定は消えてしまいます。そのときはもう一度時計を合わせ直してください。

電源が“ON”のときに現在時刻を確認するには

時計 ボタンを押す。

● 現在時刻が約5秒間表示されます。

電源が“スタンバイ”のときに現在時刻を確認するには

SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。

● 現在時刻が表示されます。
● 現在時刻が設定されていないときは“0:00”が点滅します。
● もう一度、**SET** ボタンまたは **設定** ボタンを押すと表示が消え、スタンバイ状態に戻ります。

メモ

● 現在時刻が表示されているときは、本機の待機消費電力が増えます。低待機電力状態にするには時計表示を消してください。

■セットボタンからの操作

電源が“ ON ”/“ スタンバイ ”のどちらでも操作できます。

電源が“ ON ”のときに時計を合わせるには

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、“ CLOCK ”を表示させてから、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

DISP. ADJUST

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、“ ADJUST ”を選び、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

4 **28ページ“ 時計ボタンからの操作 ”の3～6の操作をおこなう。**

電源が“ ON ”のときに現在時刻を確認するには

操作3で“ DISP. ”を選び、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- 現在時刻が約5秒間表示されます。
- 時計の設定がされていないときは、自動的に設定モードになります。

ADJ 0:00

電源が“ スタンバイ ”のときに時計を合わせるには

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

- 現在時刻が表示されます。
- 現在時刻が設定されていないときは“ 0:00 ”が点滅します。

2 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- 時の桁が点滅します。

ADJ 0:00

3 **28ページ“ 時計ボタンからの操作 ”の3～6の操作をおこなう。**

※ 時計合わせが完了したら、 **SET** ボタンまたは **設定** ボタンを押してスタンバイ状態に戻してください。

メモ

- 現在時刻が表示されているときは、本機の待機消費電力が増えます。低待機電力状態にするには時計表示を消してください。

表示部の明るさを変える

1 **SET ボタンまたは 時計 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、“ BRIGHTNESS? ”が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して選択する。**

暗くするとき

“ LOW ”を点滅させ、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- ディスプレイが暗くなります。

消すとき

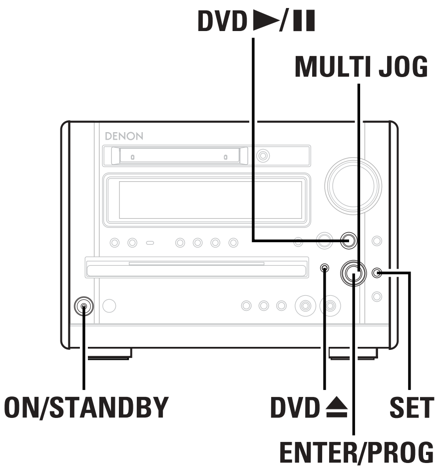
“ OFF ”を点滅させ、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

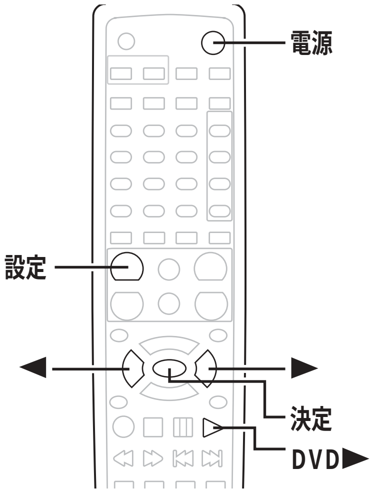
- ディスプレイを消灯します。
- **ON/STANDBY** ボタンのインジケーターは点灯（緑色）のままです。
- 何かボタンが押されると“ LOW ”より暗い明るさで約10秒間ディスプレイを点灯します。
- 録音中はディスプレイを消すことはできません。録音中は“ LOW ”より暗い明るさでディスプレイを点灯します。
- 各モード設定中（セット、エディット、MDLP/LP STAMP）は、ディスプレイは表示します。

元の明るさに戻すとき

“ NORM ”を点滅させ、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- 元の明るさに戻ります。





オートパワーオフの設定

ファンクションがDVD/CDまたはMDのときに無操作状態が約30分続くと、オートパワーオフが " ON " のとき、自動的に電源を " スタンバイ状態 " にします。

- お買い上げのときは、" OFF " の設定になっています。

オートパワーオフを " ON " にするときには

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して、" *AUTO PWR OFF?* " が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

AUTO PWR OFF?

↓

AUTO ON OFF

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して、" *ON* " を点滅させ、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

オートパワーオフを解除するには

操作4で " *OFF* " を点滅させ、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- オートパワーオフが " ON " のとき、次のように機能します。

DVD	停止状態で働きます。 (本機のディスプレイに " *STOP* " が表示されているとき)
CD、MD	停止状態で働きます。
ビデオCD	停止状態で働きます。 メニュー画面のときは機能しません。
MP3 WMA JPEG ディスク	停止状態で働きます。 (本機のディスプレイに " *STOP* " が表示されているとき)

D2端子映像出力の切り替え

- ファンクションが " DVD/CD " でSTOP状態のときに設定できます。
- 工場出荷時は、" D1(インターレース、525i)" に設定されています。
- D2(プログレッシブ、525p)入力に対応したテレビと接続した場合は、下記の操作で切り替えることができます。

1 **SET ボタンを2秒以上長押しする。**

- " *VIDEO OUTPUT* " が表示されます。

2 **ENTER/PROG ボタンを押す。**

INTER/P.SCAN

- **MULTI JOG** ダイヤルを回すと " INTER "、" P.SCAN " を選択できます。

3 **D2（プログレッシブ、525p）にするとき**

“P. SCAN.”を点滅させ、ENTER/PROG ボタンを押す。

PROGRESSIVE

D1（インターレース、525i）にするとき

“INTER”を点滅させ、ENTER/PROG ボタンを押す。

INTERLACE

メモ

- D端子（D2）出力のみインターレース映像とプログレッシブ映像を切り替えることができます。
- プログレッシブ（PROGRESSIVE）に設定した場合は、ビデオ出力端子（VIDEO OUT）およびSビデオ出力端子（S2 VIDEO OUT）からは映像出力されません。ビデオ出力、Sビデオ出力を使用する場合は、インターレース（INTERLACE）に設定してください。

ディスクの入れかた（DVD/ビデオCD/CD）

ディスクトレイの開閉

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押す。**

2 **DVD⏏ ボタンを押す。**

メモ

- ディスクトレイが開いた状態で電源ボタンを押すと、ディスクトレイが自動的に閉じて、電源が切れます。
- ディスクトレイを開閉するときは、必ず電源を入れてください。
- ボタンを鉛筆などで叩いたりしないでください。
- ファンクションがDVD/CD以外でも **DVD⏏** ボタンを押すとファンクションがDVD/CDに切り替わり、ディスクトレイが動作します。
（オートファンクション機能）

ディスクの入れかた

1 **ディスクをディスクトレイに載せる。**

2 **DVD⏏ を押す。**

※ **DVD►/II ボタンまたはDVD► ボタンを押すと、ディスクトレイが閉じて、自動的に再生を始めます。**

図1

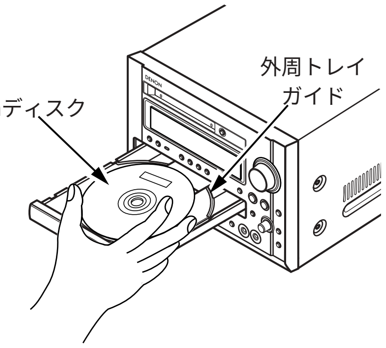
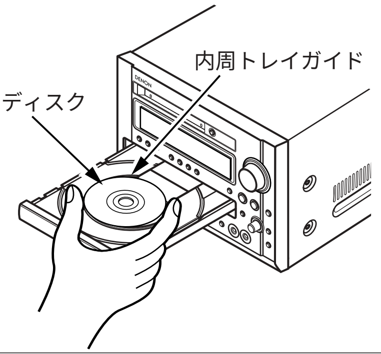


図2

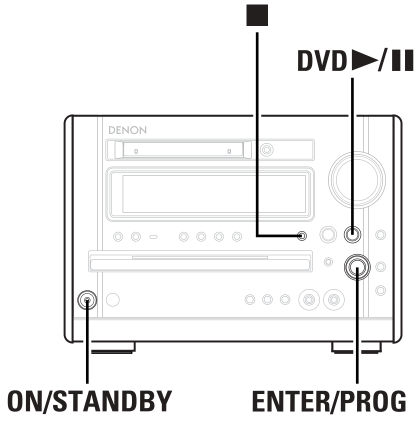


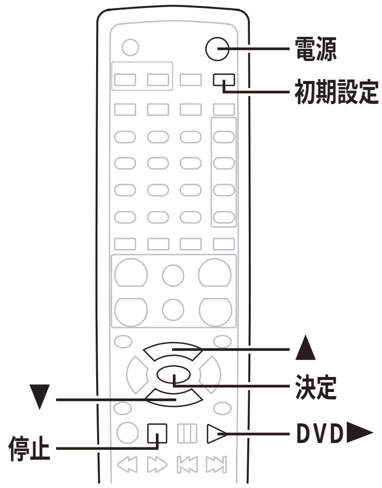
ご注意

- 万一指などを挟んだ場合は、慌てずに **DVD⏏** を押してください。
- 電源が切られている状態でディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクを再生中に本機を移動させないでください。ディスクに傷を付けてしまいます。

メモ

- ディスク情報面に手が触れないように持ち、レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを載せてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて水平に載せてください。





初期設定の変更のしかた【基本接続】

- 再生をはじめる前に、お客様のご使用状態に合わせて初期設定をおこなってください。
  初期設定は電源を切ったり、電源コードを抜いたりした場合でも次に変更するまで保持されます。
- 設定をおこなうときのセットアップ画面はテレビの画面に表示されます。設定をおこなう前にテレビとの接続をおこなってください。（☞ 15ページ）
- 設定の操作には付属のリモコンを使用します。

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **DVD►/❚❚ ボタンまたは DVD► ボタンを押して、ファンクションを“ DVD/CD ”にする。**

- DVDが入っているときは、■ ボタンまたは **停止** ボタンを押して、停止状態にしてください。

3 **停止中に 初期設定 ボタンを押す。**

- 再生中でも一部の項目については初期設定を変更することができます。
- セットアップ画面が表示されます。
- 現在の設定値を“ 緑色 ”、選択している項目を“ 黄色 ”で表示されます。

【接続設定】

“ 2CHモード ”、“ 2.1CHモード ”、“ 5.1CHモード ”のどれかを選択します。
基本接続(☞ 12、14ページ）のときは“ 2CHモード ”、拡張接続(☞ 16ページ）のときは“ 2.1CHモード ”、“ 5.1CHモード ”を選択し、設定します。

工場出荷時は、“ 2CHモード ”になっています。

システム詳細設定：

接続設定を“ 5.1CHモード ”に設定したときに選択できます。
設定内容は47ページを参照してください。

TVアスペクト：

ご使用されるテレビの画面サイズに応じた設定をおこないます。

DVD設定変更：

DVD、映像に関する設定をおこなう際に選択します。
接続設定に関係なく選択できます。
設定内容は36ページを参照してください。



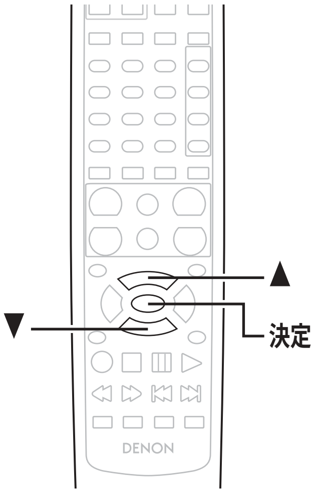
4 **▲、▼ ボタンで、設定する項目を選ぶ。**

- **“ 接続設定 ”**を選択
  “ 2CHモード ”、“ 2.1CHモード ”または“ 5.1CHモード ”のどれかを選択（☞ 34ページ）
- **“ システム詳細設定 ”**を選択
  (“ 5.1CHモード ”設定時に選択可）（☞ 47ページ）
- **“ TVアスペクト ”**を選択（☞ 35ページ）
- **“ DVD設定変更 ”**を選択（☞ 36ページ）

※ 初期設定を終了するときは
▼ ボタンで“ 設定終了 ”を選択して、**ENTER/PROG** ボタン、**決定** ボタンまたは **初期設定** ボタンを押す。

【初期設定項目一覧表】

- セットアップ画面
  - 2CHモード
  - 2.1CHモード
  - 5.1CHモード
    - “ 5.1CHモード ” を選択した場合
    - ルーム・視聴位置設定
  - システム詳細設定　“ 5.1CHモード ” へ設定した場合に選択設定可能
    - ディレイタイム
    - チャンネルレベル調整
    - 設定終了
  - TVアスペクト
  - DVD設定変更
    - ディスク言語設定
      - 音声言語
      - 字幕言語
      - メニュー言語
    - OSD設定
      - OSD言語
      - 壁紙
      - ステイタスOSD
    - 映像設定
      - TVアスペクト
      - ビデオモード
    - 音声設定
      - デジタル出力
    - 視聴制限設定
      - 視聴制限レベル
      - パスワード
    - 特殊設定
      - キャプション
      - ダイナミックレンジ圧縮
      - スライド間隔時間
    - 設定終了
      - セットアップ画面に戻る
  - 設定終了



『接続設定』を設定するには

- スピーカーの接続方法（☞ 12、14、16ページ）により接続設定をします。（“ 2CHモード ”、“ 2.1CHモード ” または “ 5.1CHモード ” のどれかに設定します。）
- 工場出荷時は “ 2CHモード ” に設定されています。

■2CHモード、2.1CHモードの場合（接続方法は12、14ページを参照）

セットアップ画面（☞ 32ページ）にて、▲、▼ ボタンで “ 2CHモード ” または “ 2.1CHモード ” を選び、 決定 ボタンを押す。

- この操作により接続設定を2CHモードまたは2.1CHモードにします。



■5.1CHモードの場合（接続方法は16ページを参照）

セットアップ画面（☞ 32ページ）にて、▲、▼ ボタンで “ 5.1CHモード ” を選び、決定 ボタンを押す。

- 5.1CHモードを選択すると、スピーカー配置を5.1ch表示にします。
- この操作により “ クイックシステム設定 ” の “ ルーム・視聴位置設定 ” セットアップ画面に移行します。（☞ 46ページ）



『TVアスペクト』を設定するには

- 使用するテレビの画面サイズに応じた設定にします。
- 工場出荷時は“ 4：3　パン＆スキャン ”に設定されています。

1 **セットアップ画面（☞　32ページ）にて、▲、▼ ボタンで“ TVアスペクト ”を選び、決定 ボタンを押す。**

- 現在の設定値は“ 緑色 ”、選択項目は“ 黄色 ”で表示されます。

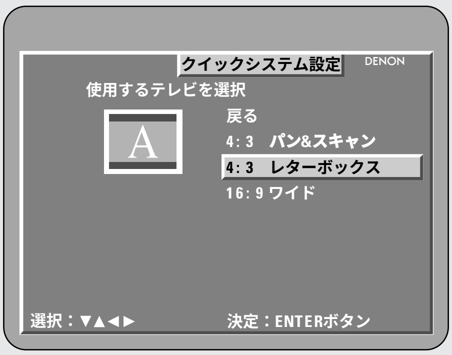


2 **▲、▼ ボタンで使用するテレビに応じた画面サイズを選び、 決定 ボタンを押す。**

◎ **4：3　パン＆スキャン**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されたソフトでは、パン＆スキャン（左右の切れた画面）で再生します。但し、パン＆スキャン指定していないソフトでは、レターボックスで再生します。

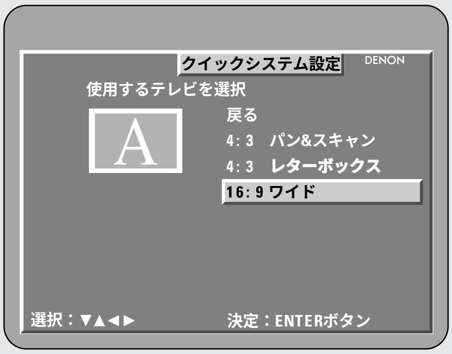


◎ **4：3　レターボックス**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されたソフトでは、レターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

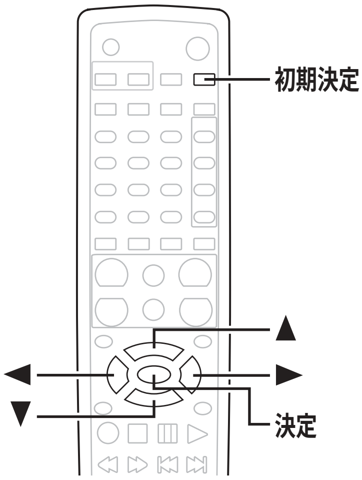


◎ **16：9　ワイド**
ワイドテレビに接続したときに選択します。
ワイドソフトはフル画面で再生します。

※ 各項目に関し、選択時に説明を“ 緑字 ”で表示されます。



※ 41ページの“ DVD設定変更 ”-“ 映像設定 ”-“ TVアスペクト ”と同じ設定の内容です。



『DVD設定変更』を設定するには

1 **セットアップ画面（☞ 32ページ）にて、▲、▼ ボタンで“ DVD設定変更 ”を選び、決定 ボタンを押す。**



●再生中でも一部の項目については初期設定を変更することができます。

ディスク言語設定：

ディスクに準備されている各種言語が設定できます。
設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語が選択されます。

OSD設定：

セットアップ画面の言語やテレビ画面に表示される“ プレイ ”などの言語を設定できます。

映像設定：

ご使用されるテレビの画面モードおよび映像出力モードを設定します。

音声設定：

本機の音声出力モードを設定します。

視聴制限設定：

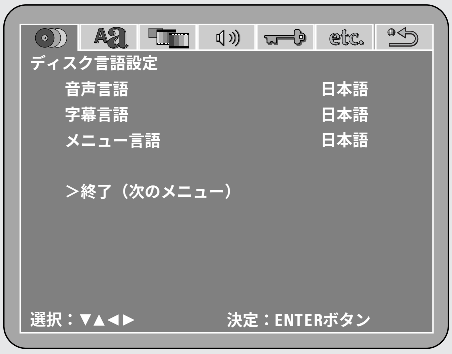
お子様などに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。
ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限はできません。また、すべてのDVDの再生を禁止することもできます。

特殊設定： etc.

クローズドド・キャプション（字幕）および音声のダイナミックレンジ圧縮、静止画像再生時のスライド間隔時間の設定ができます。

セットアップ画面に戻る：

DVD設定変更を終了して、セットアップ画面（☞ 32ページ）に戻ります。



2 **◀、▶ ボタンで設定する項目を選ぶ。**

●“ **ディスク言語設定** ”を選択（☞ 38、39ページ）
●“ **OSD設定** ”を選択（☞ 40、41ページ）
●“ **映像設定** ”を選択（☞ 41ページ）
●“ **音声設定** ”を選択（☞ 42ページ）
●“ **視聴制限設定** ”を選択（☞ 42、43ページ）
●“ **特殊設定** ”を選択（☞ 44、45ページ）
●“ **セットアップ画面に戻る** ”を選択（☞ 45ページ）

※ **DVD設定変更を終了するときは ◀、▶** で“ セットアップ画面に戻る ”を選択して、 **決定** ボタンを押します。
初期設定 ボタンを押すと、セットアップ中どこでもセットアップを終了できます。

【ＤＶＤ設定変更項目一覧表】

※ 工場出荷時は太字の項目に設定されています。

ディスク言語設定

- 音声言語
  - 英語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ドイツ語
  - **日本語**
  - その他
- 字幕言語
  - 切
  - 英語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ドイツ語
  - **日本語**
  - その他
- メニュー言語
  - 英語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ドイツ語
  - **日本語**
  - その他

映像設定

- TVアスペクト
  - **4：3　PS**
  - 4：3　LB
  - ワイド
- ビデオモード
  - **オート**
  - フィルム
  - ビデオ

音声設定

- デジタル出力
  - **ノーマル**
  - PCM変換

特殊設定

- キャプション
  - **表示しない**
  - 表示する
- ダイナミックレンジ圧縮
  - **切**
  - 入
- スライド間隔時間
  - **5**
  - 6
  - 7
  - 8
  - 9
  - 10
  - 11
  - 12
  - 13
  - 14
  - 15

DVD設定変更終了

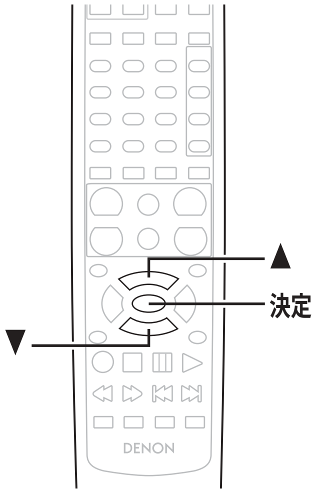
- セットアップ画面に戻る

OSD設定

- OSD言語
  - ENGLISH
  - **日本語**
- 壁紙
  - 青色
  - **ピクチャー**
- ステイタスOSD
  - **入**
  - 切

視聴制限設定

- 視聴制限レベル
  - レベル0
  - レベル1
  - レベル2
  - レベル3
  - レベル4
  - レベル5
  - レベル6
  - レベル7
  - **制限しない**
- パスワード
  - 変更
    - 旧パスワード
    - 新パスワード
    - 新パスワード（再入力）



『ディスク言語設定』を変更するには

- 設定した言語がディスクに準備されている場合でも、ディスクの制約により設定された言語で再生開始されない場合があります。その場合は、“ DVDメニュー ” 等で、言語設定を実施してください。（☞ 69ページ）

1 **36ページの操作*1*、*2*をおこなう。**

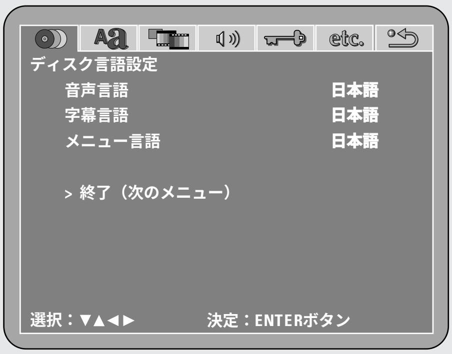
2 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、 決定ボタンを押す。**

音声言語
スピーカーから出力される音声言語の設定ができます。

字幕言語
ＴＶに表示される字幕言語の設定ができます。

メニュー言語
トップメニュー（ディスクに記録されているメニュー）などの画面言語の設定ができます。

終了（次のメニュー）
“ ディスク言語設定 ” を終了して、次の“ OSD設定 ” へ移行します。



3 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、 決定ボタンを押す。**

“ 音声言語 ” を選択したとき

それぞれ選択した言語の音声が再生されます。

◎ **英語**
◎ **フランス語**
◎ **スペイン語**
◎ **ドイツ語**
◎ **日本語 <工場出荷時>**
◎ **その他**：番号ボタンで入力した言語の音声が再生されます。
（39ページの言語番号一覧表を参照）



“ 字幕言語 ” を選択したとき

それぞれ選択した言語の字幕が再生されます。

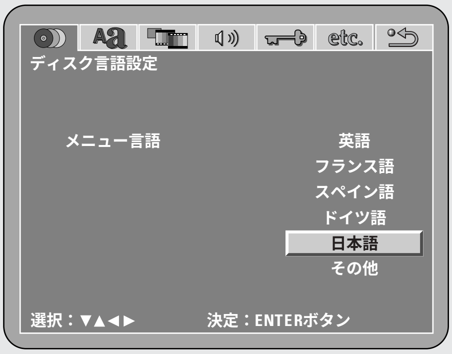
◎ **切**：　字幕を表示させないときに選択します。ディスクによっては字幕表示を消すことができない場合があります。
◎ **英語**
◎ **フランス語**
◎ **スペイン語**
◎ **ドイツ語**
◎ **日本語 <工場出荷時>**
◎ **その他**　番号ボタンで入力した言語の字幕が再生されます。
（39ページの言語番号一覧表を参照）



“ メニュー言語 ” を選択したとき

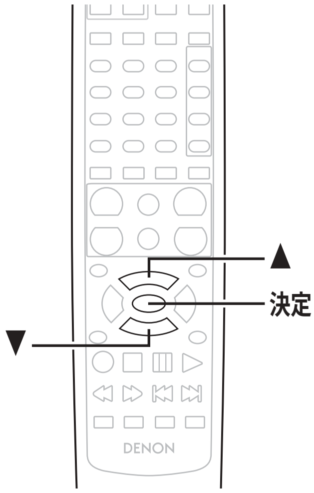
それぞれ選択した言語のメニュー画面が再生されます。

◎ **英語**
◎ **フランス語**
◎ **スペイン語**
◎ **ドイツ語**
◎ **日本語 ＜工場出荷時＞**
◎ **その他** 番号ボタンで入力した言語のメニュー画面が再生されます。（下記の言語番号一覧表を参照）



【言語番号一覧表】

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アファル	7074	フィジー	7665	ラテン	8375	スロバキア
6566	アブハジア	7079	フェロー	7678	リンガラ	8376	スロベニア
6570	アフリカーンス	7082	フランス	7679	ラオ	8377	サモア
6577	アムハラ	7089	フリジア	7684	リトアニア	8378	ショナ
6582	アラビア	7165	アイルランド	7686	ラトビア（レット）	8379	ソマリ
6583	アッサム		（スコットランド）	7771	マダガスカル	8381	アルバニア
6588	アイマラ	7168	ゲール	7773	マオリ	8382	セルビア
6590	アゼルバイジャン	7176	ガリチア	7775	マケドニア	8385	スンダ
6665	バシキール	7178	グアラニー	7776	マラヤーラム	8386	スウェーデン
6669	ベロルシア	7185	グジャラト	7778	モンゴル	8387	スワヒリ
	（白ロシア）	7265	ハウサ	7779	モルダビア	8465	タミル
6671	ブルガリア	7273	ヒンディー	7782	マラッタ	8469	テルグ
6672	ビハール	7282	クロアチア	7783	マライ（マレー）	8471	タジク
6678	ベンガル	7285	ハンガリー	7784	マルタ	8472	タイ
	（バングラ）	7289	アルメニア	7789	ビルマ	8473	ティグリニア
6679	チベット	7365	インターリングア	7865	ナウル	8475	トルクメン
6682	ブルターニュ	7378	インドネシア	7869	ネパール	8476	タガログ
6765	カタロニア	7383	アイスランド	7876	オランダ	8479	トンガ
6779	コルシカ	7384	イタリア	7879	ノルウェー	8482	トルコ
6783	チェコ	7387	ヘブライ	7982	オーリヤ	8484	タタール
6789	ウェールズ	7465	日本語	8065	パンジャブ	8487	トウイ
6865	デンマーク	7473	イディッシュ	8076	ポーランド	8575	ウクライナ
6869	ドイツ	7487	ジャワ	8083	パシュト	8582	ウルドゥー
6890	ブータン	7565	グルジア	8084	ポルトガル	8590	ウズベク
6976	ギリシャ	7575	カザフ	8185	ケチュア	8673	ベトナム
6978	英語	7576	グリーンランド	8277	レトロマンス	8679	ヴォラピュック
6979	エスペラント	7577	カンボジア	8279	ルーマニア	8779	ウォロフ
6983	スペイン	7578	カンナダ	8285	ロシア	8872	コーサ
6984	エストニア	7579	韓国（朝鮮）語	8365	サンスクリット	8979	ヨルバ
6985	バスク	7583	カシミール	8368	シンド	9072	中国語
7065	ペルシャ	7585	クルド	8372	セルボクロアチア	9085	ズールー
7073	フィンランド	7589	キルギス	8373	シンハラ		



『OSD設定』を変更するには

1 **36ページの操作1、2をおこなう。**

2 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、 決定ボタンを押す。**

OSD言語
セットアップ画面の言語やＴＶ画面に表示される“ プレイ ”などの言語の設定ができます。

壁紙
停止中やCD再生中、ディスプレイに表示する画面の設定ができます。

ステイタスOSD
サラウンドモードや各チャンネルの再生レベルの状態の画面表示について設定できます。

終了（次のメニュー）
“ OSD設定 ” を終了して、次の “ 映像設定 ” へ移行します。



3 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、 決定ボタンを押す。**

“ OSD言語 ” を選択したとき

◎ **ENGLISH**
OSDが英語で表示されます。

◎ **日本語 <工場出荷時>**
OSDが日本語で表示されます。



“ 壁紙 ” を選択したとき

◎ **青色**
壁紙を青色にします。

◎ **ピクチャー <工場出荷時>**
壁紙をピクチャーにします。



“ ステイタスOSD ” を選択したとき

◎ **入 <工場出荷時>**
サラウンドモードの切り替えや各チャンネルの再生レベルを設定するときに現在の状態が画面左下に約5秒間表示されます。

◎ **切**
ステイタスOSDを表示させないときに選択します。ステイタスのOSDが字幕などと重なる場合は “ 切 ” に設定してください。



『映像設定』を変更するには

1 **36ページの操作*1*、*2*をおこなう。**

2 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、 決定ボタンを押す。**

TVアスペクト
ご使用されるテレビの画面サイズに応じて設定ができます。

ビデオモード
DVDビデオディスクを再生するとき、その素材に最適な設定をビデオ・フィルム・オートの3つの中から選択できます。

終了（次のメニュー）
“ 映像設定 ” を終了して、次の “ 音声設定 ” へ移行します。



3 **“ TVアスペクト ” を選択したとき**

◎ **4：3 PS <工場出荷時>**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。ワイド画面で記録されているソフトでは、パン＆スキャン（左右の切れた画面）で再生します。ただしパン＆スキャン指定されていないソフトはレターボックスで再生します。

◎ **4：3 LB**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。ワイド画面で記録されているソフトではレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

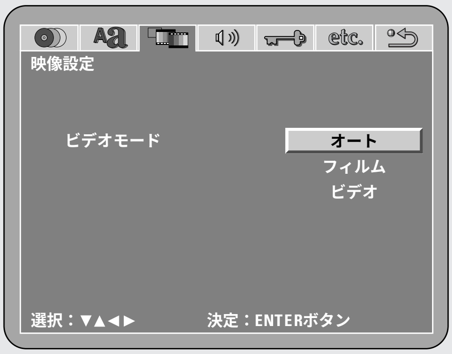
◎ **ワイド**
ワイドテレビに接続したときに選択します。ワイドソフトはフル画面で再生します。

“ ビデオモード ” を選択したとき

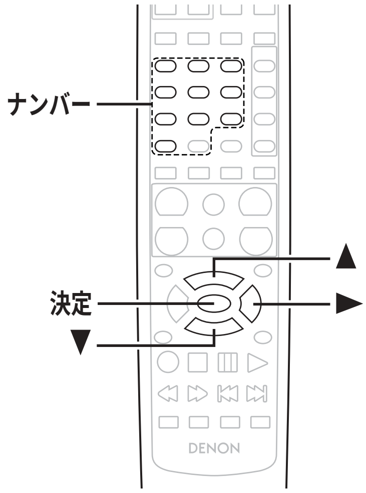
◎ **オート <工場出荷時>**
ディスクから素材のタイプ（フィルムまたはビデオ）を判定して、モードを切り替えます。フィルム素材とビデオ素材が混在しているディスクの再生に適しています。

◎ **フィルム**
フィルム素材、またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材のディスクの再生に適しています。

◎ **ビデオ**
ビデオ素材のディスクの再生に適しています。



※ 特定のDVDビデオディスクを再生した際に、映像にスジ状のノイズが入ったり、不鮮明になったときは、ビデオモードの設定を変えてみてください。



『音声設定』を変更するには

1 **36ページの操作*1*、*2*をおこなう。**

2 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、 決定ボタンを押す。**

デジタル出力
デジタル出力の信号形式の設定ができます。

終了（次のメニュー）
“ 音声設定 ” を終了して、次の “ 視聴制限設定 ” へ移行します。



3 **“ デジタル出力 ” を選択したとき**

▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、 決定ボタンを押す。

◎ **ノーマル <工場出荷時>**
本機のデジタル音声出力端子とドルビーデジタルまたはDTSデコーダー内蔵AVアンプを接続するときに選択します。
ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたDVDを再生したとき、それぞれのビットストリーム信号を出力します。また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときはリニアPCMで出力します。

◎ **PCM変換**
ドルビーデジタル/DTSで記録されたDVDを再生したときは、48kHz/16bitのPCM（2ch）に変換して出力します。
また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときは、リニアPCMで出力します。



『視聴制限設定』を変更するには

1 **36ページの操作*1*、*2*をおこなう。**

2 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、 決定ボタンを押す。**

視聴制限レベル
お子様などに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限できません。
また、すべてのDVDの再生を禁止することもできます。

パスワード
パスワードの変更をするときに使用します。
パスワードの初期設定は “ 0000 ” です。

終了（次のメニュー）
“ 視聴制限設定 ” を終了して、次の “ 特殊設定 ” へ移行します。



3 “ 視聴制限レベル ” を選択したとき

※ 視聴制限レベルが設定されていない場合は、視聴制限できません。

① ▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、決定 ボタンを押す。

◎ **レベル0**
すべてのDVDの再生を禁止したいときに選択します。
例えば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDの再生を禁止したいときなど。

◎ **レベル1**
子供向けのDVDのみを再生したいときに選択します。
（成人向けと一般向けのDVDの再生を禁止します。）

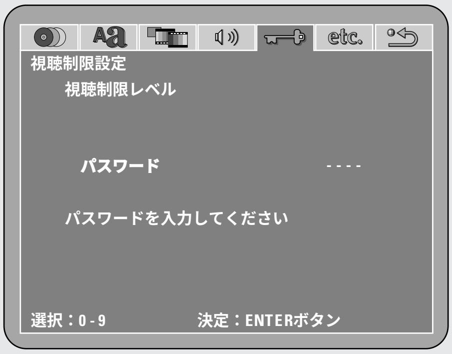
◎ **レベル2～レベル7**
一般向けと子供向けのDVDのみを再生したいときに選択します。（成人向けDVDの再生を禁止します。）

◎ **制限しない ＜工場出荷時＞**
すべてのDVD（成人向け/一般向け/子供向け）を再生したいときに選択します。



② ナンバー ボタン “ 0 ” ～ “ 9 ” でパスワード（4桁の数字）を入力し、 決定 ボタンを押す。

- パスワードの初期設定は “ 0000 ” です。
- パスワードを変更する場合は、“ パスワード ” で新しいパスワードに変更できます。（右記参照）



“ パスワード ” を選択したとき

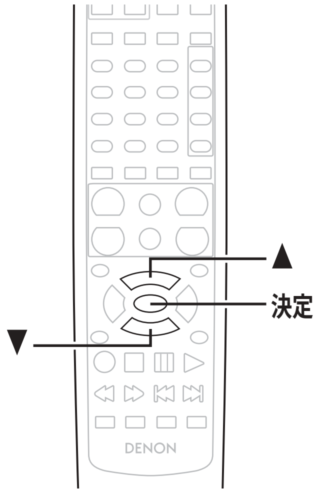
① ▶ ボタンで “ 変更 ” を選び、 決定 ボタンを押す。



② ナンバー ボタン “ 0 ” ～ “ 9 ” でパスワード（4桁の数字）を入力し、次に新しいパスワードを入力して、再度新しいパスワードを入力後 決定 ボタンを押す。

- 本機のパスワードの初期設定は “ 0000 ” です。
- パスワードは忘れないようにしてください。
- 正しいパスワードを入力しない限り設定内容を変更できません。
パスワードを忘れた場合は、以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。
- ファンクションをDVD/CDにして停止状態にしてください。ディスクを取り出し、ディスプレイに “ DVD/CD 0:00 ” が表示されているとき、リモコンのナンバーボタンで “ 1→2→5→7 ” と順番に押してください。（テレビ画面の “ 初期化しました ” が消えたことを確認してください。）





『特殊設定』を変更するには

1 **36ページの操作*1*、*2*をおこなう。**

2 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、 決定ボタンを押す。**

キャプション
DVDに記録されているクローズド・キャプション（字幕）を画面に表示させるか、させないかの設定ができます。（字幕を表示させるにはキャプションデコーダー（市販）が必要です。）

ダイナミックレンジ圧縮
DVDを再生したときに出力される音のダイナミックレンジが設定できます。

● **ダイナミックレンジ**とは：
機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

スライド間隔時間
画像（JPEG）ファイル再生時、画像切り替え間隔の時間を変更します。

終了（次のメニュー）
“ 特殊設定 ” を終了して、次の “ セットアップ画面に戻る ” へ移行します。



3 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、 決定ボタンを押す。**

“ キャプション ” を選択したとき

◎**表示しない <工場出荷時>**
クローズド・キャプション（字幕）を画面に表示しないときに選択します。

◎**表示する**
クローズド・キャプション（字幕）入りDVDの再生時に、そのキャプション（字幕）を画面に表示するときに選択します。



“ ダイナミックレンジ圧縮 ” を選択したとき

◎**切 <工場出荷時>**
標準的なダイナミックレンジに設定します。

◎**入**
小さい音量でも迫力のある音にしたいときに選択します。
深夜など小さい音量で楽しまれる場合に適しています。（ドルビーデジタルで記録されたDVDの再生中に限ります。）



“スライド間隔時間”を選択したとき

画像（JPEG）ファイルを再生する際、画像切り替え時間（スライド）の間隔を変更します。5秒～15秒で、1秒単位で変更できます。





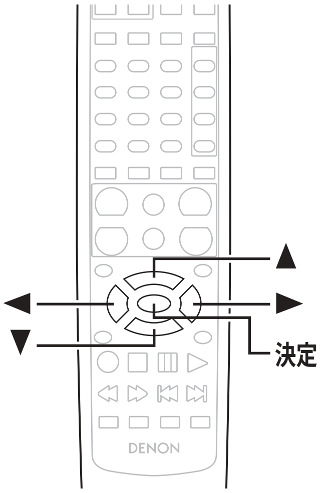
“キャプション”を選択したときのご注意

- 字幕を表示させるには、キャプションデコーダーが必要です。
- 字幕信号入りのDVDには 、 、 のマークが表示されています。
  字幕信号が入っていないDVDでは字幕は出ません。
- 字幕の文字には大文字、小文字、イタリック文字（斜体）などがありDVDによって異なります。
  本機では選択できません。

セットアップ画面に戻るには

1 **“ （セットアップ画面に戻る）”画面にて、▲、▼ ボタンで“セットアップ画面に戻る”を選び、 決定 ボタンを押す。**





初期設定の変更のしかた【拡張接続】

『ルーム設定』と『視聴位置』を設定するには

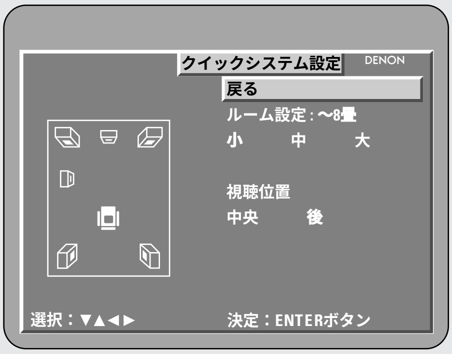
- 接続方法を拡張接続（☞ 16ページ）にし、接続設定を " 5.1CHモード "（☞ 34ページ）に設定すると、" クイックシステム設定 " の " ルーム設定 " - " 視聴位置 " 設定画面に移行します。

1 **▲、▼ ボタンで " ルーム設定 " を選び、◄、► ボタンで設定する。**

ルーム設定

小：〜8畳　<工場出荷時>
中：9〜13畳
大：14畳〜

- 現在の設定値は " 緑色 "、選択項目は " 黄色 " で表示されます。

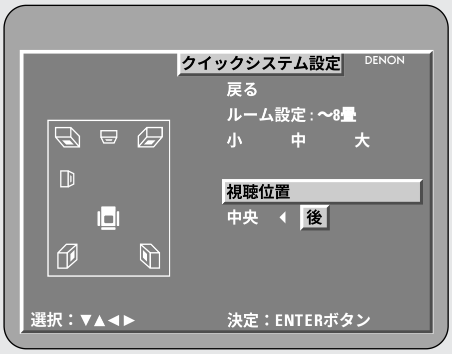




2 **▲、▼ ボタンで " 視聴位置 " を選び、◄、► ボタンで設定する。**

視聴位置

中央
後　<工場出荷時>



※ さらに詳細な設定をする場合は、システム詳細設定（☞ 47ページ）をおこなってください。

システム詳細設定（『5.1CHモード』時の詳細設定）

- 接続方法を拡張接続（☞ 16ページ）にし、さらに接続設定を“5.1CHモード”（☞ 34ページ）に設定し、“クイックシステム設定”の“ルーム設定”-“視聴位置”設定後より詳細の設定をする場合、システム詳細設定をおこないます。（“2CHモード”時は設定不可）

1 **“5.1CHモード”設定時、セットアップ画面（☞ 32ページ）にて、▲、▼ ボタンで“システム詳細設定”を選び、決定 ボタンを押す。**



ディレイタイム

リスニングポジションに応じて各スピーカー、サブウーハーから出力される音声のタイミングを最適にするパラメーターです。（☞ 48ページ）



チャンネルレベル調整

リスニングポジションで各スピーカーから出力されるテストトーンを聞きながら、各スピーカーの再生レベルが同じになるように調節します。（☞ 49ページ）



セットアップに戻る

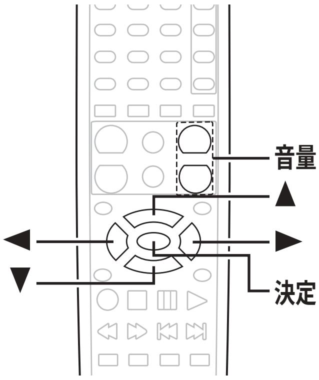
セットアップ画面に戻る際に選択します。

- 現在の設定値は“緑色”、選択項目は“黄色”で表示されます。

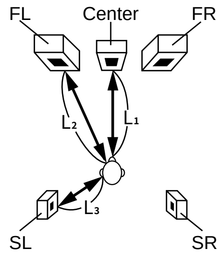
2 **◄、► ボタンで“設定する項目”を選ぶ。**

3 **“↩（セットアップ画面に戻る）”画面で、▲、▼ ボタンで“セットアップ画面に戻る”を選び、決定 ボタンを押す。**





ディレイタイム（距離の設定）



● リスニングポジションと各スピーカーとの距離を入力して、サラウンドのディレイタイムを設定します。

準備：リスニングポジションと各スピーカーとの距離（右図のL1〜L3）を測定します。

L1：　センタースピーカーとリスニングポジションとの距離
L2：　フロントスピーカーとリスニングポジションとの距離
L3：　サラウンドスピーカーとリスニングポジションとの距離

1 **セットアップ画面（☞ 32ページ）にて、▲、▼ ボタンで " システム詳細設定 " を選び、決定 ボタンを押す。**

● 現在の設定値は " 緑色 "、選択項目は " 黄色 " で表示されます。



2 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、◀、▶ ボタンで設定する。**

単位

距離の単位を " m " または " ft " を選択できます。



初期値設定

各スピーカーの距離の数値を初期値に" する " または " しない " を選択します。

◎ **する**　：初期値にします。
◎ **しない**：現在の設定のままです。



フロント

フロントスピーカーまでの距離を設定します。

センター＆サブウーハー

センタースピーカーとサブウーハーまでの距離を設定します。

サラウンド

サラウンドスピーカーまでの距離を設定します。

● 現在の設定値は " 緑色 "、選択項目は " 黄色 " で表示されます。



3 **決定 ボタンで設定を確定する。**

● チャンネルレベル設定の画面に進みます。

チャンネルレベルの設定

- 各チャンネル間の再生レベルが等しくなるように調節します。
- リスニングポジションで、各スピーカーより出力されるテストトーン（再生音）を聞きながら調節します。
- 各チャンネルの再生レベルは、停止中または再生中にプログラムソースやお好みに合わせて調節することができます。詳しくは53ページを参照ください。

1 **システム詳細設定画面 (☞ 47ページ) にて、▲、▼ ボタンで " チャンネルレベル設定 " を選ぶ。**

- 現在の設定値は " 緑色 "、選択項目は " 黄色 " で表示されます。
- 42ページの " 音声設定 " - " デジタル出力 " を " PCM変換 " にした場合、チャンネルレベルは設定できません。



2 **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、◀、▶ ボタンで設定する。**

レベルクリアー

全スピーカーの出力レベル設定を0dBにするかを選択します。

◎ **する**　：全スピーカーの出力設定値を0dBにします。

◎ **しない**：現在の設定のままです。



テストトーン出力

各スピーカーよりテストトーンを出力するとき、" 開始 " にします。
自動で出力チャンネル（約3秒間隔）を変えてテストトーンを出力します。
このとき、◀、▶ ボタンで各スピーカーのテストトーンが同じ音量で聞こえるようにチャンネルレベルを調節します。
◀、▶ ボタンで押すたびに、数値が1dB単位で変化します。
（各チャンネル共、−10dB～＋10dBの範囲で調節できます。）

- テストトーンの音量は、**音量** ボタンで調節しやすい音量にしておこなってください。
- 現在の設定値は " 緑色 "、選択項目は " 黄色 " で表示されます。

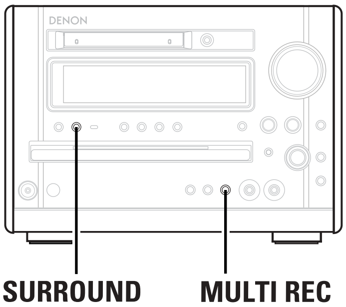


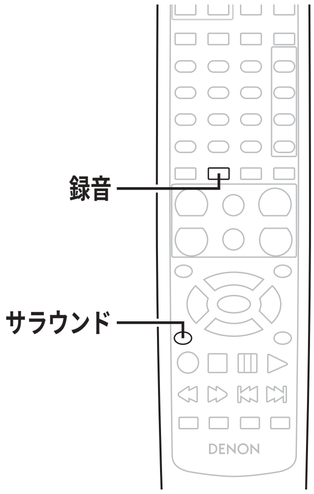


3 **決定 ボタンで設定を確定する。**

- " セットアップ画面に戻る " に進みます。(☞ 47ページ)

基本操作





サラウンド機能の操作のしかた

- 接続設定と再生するソースによりサラウンド機能は変わります。
  お買い上げのときは、“ STEREO ” の設定になっています。
- サラウンド機能は本機のすべてのファンクションに対し、機能させることができます。

接続設定 (☞ 34ページ)	ディスク（ソース）	
	2ch	マルチチャンネル
2CHモード または2.1CHモード	50ページ	50ページ
5.1CHモード	51ページ	52ページ

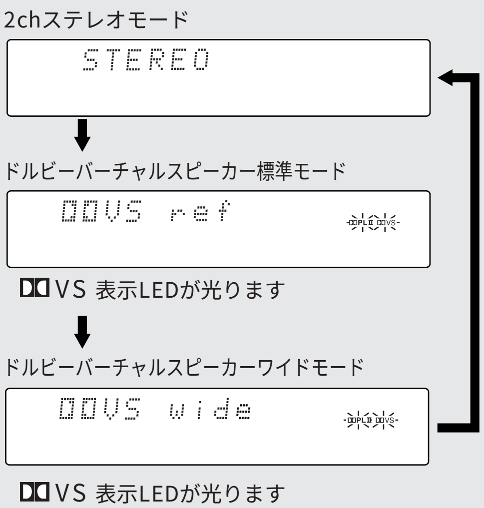
接続設定が “ 2CHモード ” または “ 2.1CHモード ” の場合

接続設定が2CHまたは2.1CHのときは、ソースが2ch、マルチチャンネルソースのどちらでもドルビーバーチャルスピーカーモードになります。

- ドルビーバーチャルスピーカーモードは、ドルビーラボラトリーズの立体音響技術によりフロント2チャンネルスピーカーだけで、マルチチャンネルサラウンド音場を再生できるモードです。
  ドルビーデジタル、DTSのマルチチャンネルソースだけでなく2チャンネルソースにも効果的です。

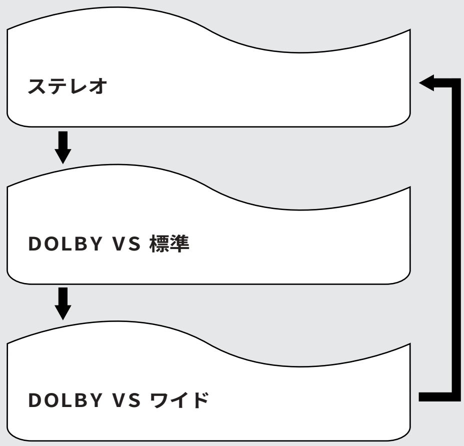
1 **SURROUND ボタンまたは サラウンド ボタンをくり返し押す。**

- 押すたびにディスプレイの表示が次のように切り替わります。



- DDVS ref（標準モード）
  標準的なモードです。
- DDVS wide（ワイドモード）
  フロントチャンネルモードの音場を拡大します。

- ファンクションがDVD/CDのときは、押すたびにテレビ画面の表示が次のように切り替わります。



メモ

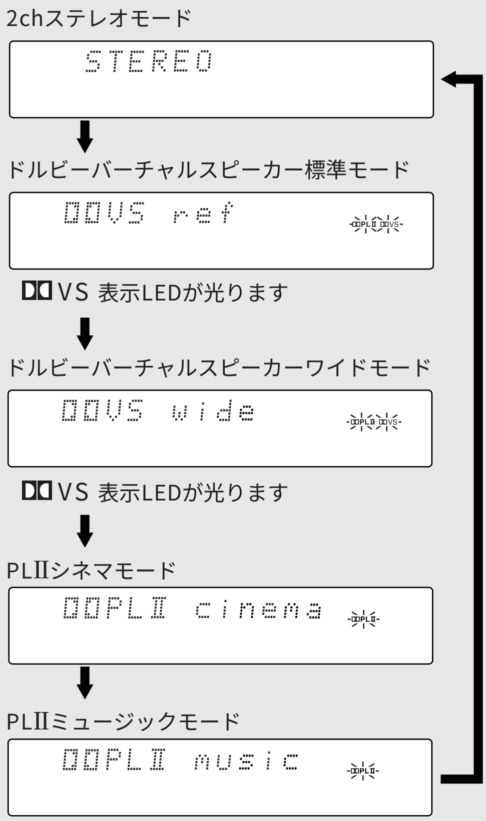
- 再生中にサラウンドモードを切り替えると、音が途切れます。
  （**MULTI REC** ボタンまたは **録音** ボタンを押した場合およびヘッドホンを抜き差しした場合も同様です。）

“5.1CHモード”、2chソースの場合

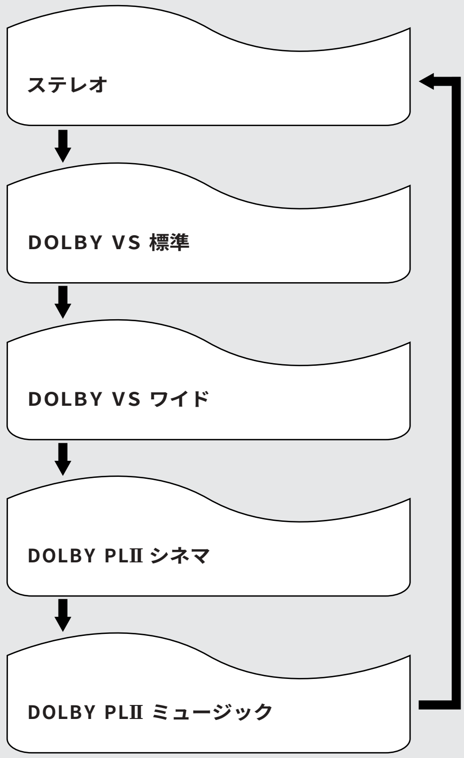
2chステレオモード、ドルビープロロジックIIシネマ、ドルビープロロジックIIミュージック、ドルビーバーチャルスピーカー標準モード、ドルビーバーチャルスピーカーワイドモードが選択できます。

1 **SURROUND ボタンまたは サラウンド ボタンをくり返し押す。**

● 押すたびにディスプレイの表示が次のように切り替わります。



● ファンクションがDVD/CDのときは、押すたびにテレビ画面の表示が次のように切り替わります。



メモ

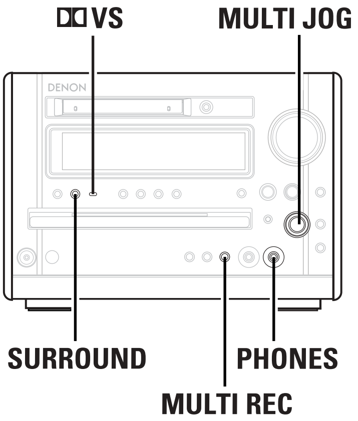
- ドルビーバーチャルスピーカー標準モードおよびドルビーバーチャルスピーカーワイドモードのときは、フロントLおよびRのスピーカーからのみ音声が出ます。
- 再生中にサラウンドモードを切り替えた場合、音声が途切れます。
(**MULTI REC** ボタンまたは **録音** ボタンを押した場合およびヘッドホンを抜き差しした場合も同様です。)

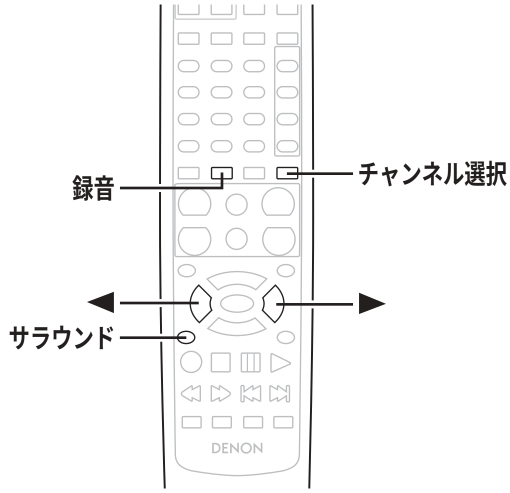
ドルビープロロジックIIについて

PLII CINEMA/PLII MUSIC

2chソースに対してもドルビープロロジックII処理により、マルチチャンネルで再生します。

- **PLII CINEMA(ドルビープロロジックII シネマモード)**
ドルビーサラウンド録音された映画ソースをはじめ、一般的なステレオ録音ソースの再生に適したモードです。高精度デコーダーによる5チャンネルデコードをおこない、2チャンネルソースでも360度均一なサラウンド音場を実現します。
主にステレオ音楽成分を多く含むソースの場合、MUSICモードの方がより効果的な場合もあります。試聴結果によって、効果的なモードを選択してください。
- **PLII MUSIC(ドルビープロロジックII ミュージックモード)**
ステレオ音楽信号のサラウンド再生に適したモードです。音楽信号の残響成分に多く含まれる逆相信号の再生をサラウンドチャンネルでおこない、同時にサラウンドチャンネルの周波数特性をサラウンド音に最適化させることにより、自然な、且つ広がり感のある音楽再生をおこないます。





"5.1CHモード"、マルチチャンネルソースの場合

2chステレオモード、オートデコードモード、ドルビーバーチャルスピーカー標準モード、ドルビーバーチャルスピーカーワイドモードが選択できます。
オートデコードモードでは入力された信号フォーマットに応じて、ドルビーデジタル、DTS、のマルチチャンネルソースに対して自動的にマルチチャンネル再生されます。

1 SURROUND ボタンまたは サラウンド ボタンをくり返し押す。

- 押すたびにディスプレイの表示が次のように切り替わります。

オートデコードモード

AUTO DECODE

↓

2chステレオモード

STEREO

↓

ドルビーバーチャルスピーカー標準モード

DDVS ref

DDVS 表示LEDが光ります

↓

ドルビーバーチャルスピーカーワイドモード

DDVS wide

DDVS 表示LEDが光ります

- ファンクションがDVD/CDのときは、押すたびにテレビ画面の表示が次のように切り替わります。

AUTO DECODE MODE

↓

ステレオ

↓

DOLBY VS 標準

↓

DOLBY VS ワイド

メモ

- ドルビーバーチャルスピーカー標準モードおよびドルビーバーチャルスピーカーワイドモードのときは、フロントLおよびRのスピーカーからのみ音声が出ます。
- 再生中にサラウンドモードを切り替えた場合、音声が途切れます。
（**MULTI REC** ボタンまたは **録音** ボタンを押した場合およびヘッドホンを抜き差しした場合も同様です。）

ドルビーヘッドホンで楽しむ場合

本機はドルビーラボラトリーズとレイクテクノロジー社との共同開発によるヘッドホン再生における立体音響技術であるドルビーヘッドホンモードを搭載しています。

1 **ヘッドホンジャックにヘッドホン（別売り）を差し込む。**

- ヘッドホンプラグを差し込むと自動的にスピーカー出力が“ OFF ”となり、スピーカーより音は出ません。

2 **SURROUND ボタンまたは サラウンド ボタンをくり返し押す。**

- 押すたびにディスプレイの表示が次のように切り替わります。

2chステレオモード

STEREO

↓

ドルビーヘッドホンモード

DDH

- ファンクションがDVD/CDのときは、押すたびにテレビ画面の表示が次のように切り替わります。

ステレオ

↓

DOLBY H

メモ

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- 再生中にサラウンドモードを切り替えた場合、音声が途切れます。

各チャンネルの再生レベルの調節のしかた

再生するプログラムソースまたはお好みに合わせて、次の操作により各チャンネルの再生レベルを調節できます。

1 **チャンネル選択 ボタンを押してレベル調節したいチャンネルを選択する。**

FL VOL 0dB

ボタンを押すたびにチャンネルが次のように切り替わる。

5.1CHモードのとき

FL → C → FR → SR → SL → SW

2.1CHモードのとき

FL → FR → SW

2CHモードのときおよびヘッドホンをご使用のとき

FL → FR

- 調節できるチャンネルは、選択されているサラウンドモードにより変わります。

FL SPEAKER LEVEL : 0dB

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀ または ▶ ボタンを押して、選択したチャンネルのレベルを調節する。**

- 各チャンネルの音量レベルは－10dB～＋10dBの範囲で調節することができます。

● 本機に内蔵のデジタル信号処理回路のはたらきにより、プログラムソースを映画館と同じ臨場感でサラウンド再生をお楽しみいただけます。

ドルビーサラウンドについて

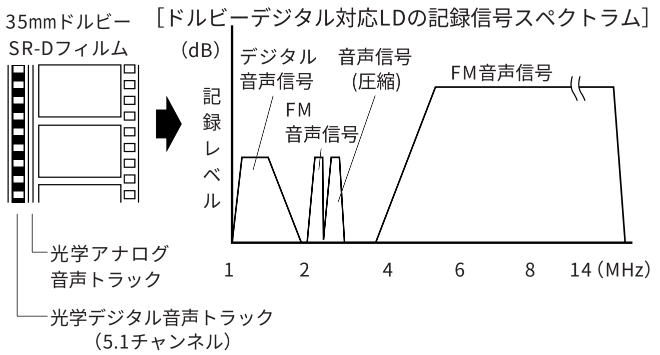
1 ドルビーデジタル

◎ ドルビーデジタルは、ドルビー研究所が開発したマルチチャンネルデジタル信号フォーマットです。
再生チャンネルはCDと同等以上の再生帯域（高域は20kHz以上再生可）を持つフロント3ch（フロント左（FL)、フロント右（FR)、センター（C）とサラウンド2ch（サラウンド左（SL)、サラウンド右（SR）に加え、低域（～120Hz）効果音専用のLFE（ロー・フリケンシー・エフェクト）の合計5.1chに対応しており、更にモノラル1chやステレオ2ch、ドルビープロロジック信号の伝送など幅広い対応が可能です。

◎ また、各チャンネルの信号はそれぞれ完全に独立して記録されるため、各信号間の干渉、クロストークなどで劣化する心配がありません。これらのデジタル信号を、高効率符号化技術によってCDの半分以下のデータ量（最大640kbps）にて伝送可能といった特徴を持っています。

◎ この特徴を映画のサウンドトラックに生かし、映画館用に開発されたサラウンドシステムが『DOLBY SR-D（ドルビーステレオデジタル)』です。従来一般的であったドルビーサラウンド（ドルビープロロジック）がアナログ・マトリクス方式であったのに対して、各チャンネルが完全に独立したデジタル・ディスクリート方式となり、音の遠近感、移動感、定位感のある音場をよりリアルに再現することが可能となりました。そしてドルビーデジタル対応メディアであるLD、DVDなどは、AVルームでDOLBY SR-Dのサラウンドトラックをそのまま再現することを可能にしたため、映画館と同様に驚くほどリアルで圧倒的な臨場感を生み出します。

【SR-Dとドルビーデジタルの関係】



【ドルビーデジタルとドルビープロロジック】

家庭用サラウンド方式比較	ドルビーデジタル	ドルビープロロジック
記録(素材)ch数	5.1ch	2ch
再生ch数	5.1ch	4ch
再生ch構成(MAX)	L、R、C、SL、SR、SW	L、R、C、S（SWは推奨）
音声処理	デジタル・ディスクリート処理 ドルビーデジタル エンコード、デコード	アナログ・マトリックス処理 ドルビーサラウンド
サラウンドchの高域再生限界	20kHz	7kHz

2 ドルビープロロジックII

◎ ドルビープロロジックII は、従来のドルビープロロジック回路を更に進化させたフィードバックロジックステアリング技術を用いて、ドルビー研究所により開発された新しいマルチチャンネル再生方式です。

◎ ドルビーサラウンド録音されたソースに加え、音楽ソースなどの通常のステレオ録音ソースも5ch（FL、FR、C、SL、SR）の信号にデコードし、サラウンド再生を楽しむことができます。

◎ サラウンドチャンネルの再生周波数帯域は、帯域制限のあった従来のドルビープロロジックに比較して広帯域（20～20kHz以上）になっています。また、従来サラウンドチャンネルはサラウンドL（左）＝サラウンドR（右）のモノラル再生でしたが、新たにステレオ信号として再生する方式をとっています。

■ ドルビーサラウンド録音されたソースには以下のロゴマークが表示されています。

ドルビーサラウンド対応マーク： DOLBY SURROUND

DTS デジタルサラウンドについて

◎ DTSデジタルサラウンド（または単にDTSと呼ばれます）は、デジタル・シアター・システムズ社が開発したマルチチャンネルデジタル信号フォーマットです。

◎ 再生チャンネルや再生帯域はドルビーデジタルと同様、FL、FR、C、SL、SRの5chに加えてLFE 0.1chを持つ5.1chで、他にステレオ2chモードがあります。いずれも各チャンネルの信号は完全に独立して記録されるため、各信号間の干渉、クロストーク等で劣化する心配はありません。

◎ DTSはドルビーデジタルに対して比較的高いビットレート（CD/LDで1234kbps、DVDは1536kbpsか768kbps）となり、相対的に低い圧縮率で動作するのが特徴です。そのためデータ量が多く、映画館においてのDTS再生は、フィルムと同期をとったCD-ROMを別途再生する方法がとられています。
もちろんLDやDVDにおいてはそういった心配はなく、1枚のディスクに映像とサウンドが同時に記録可能なため、他のフォーマットと同様の取り扱いが可能です。

◎ この他のメディアにはDTS録音されたCDがあります。これは従来の（2ch録音された）CDと同様のメディアに5.1chのサラウンド信号が記録されたもので、映像はありませんが、CDプレーヤーを使ってサラウンド再生が可能となるという特徴があります。
DTSによるサラウンドトラック再生も映画館とAVルームの間で基本的な違いは無く、映画館と同様の緻密で雄大なサウンドを楽しむことができます。

“ DTS ”、“ DTS-ES Extended surround ” はデジタル・シアター・システムズ社の商標です。

ドルビーバーチャルスピーカーについて

ドルビーバーチャルスピーカー（Dolby Virtual Speaker）技術は、ドルビーラボラトリーズ社の専有技術により、フロント2チャンネルスピーカーだけでサラウンド音場の仮想化をおこなっており、実際にサラウンドスピーカーを設置しているかのような再生が体験できます。

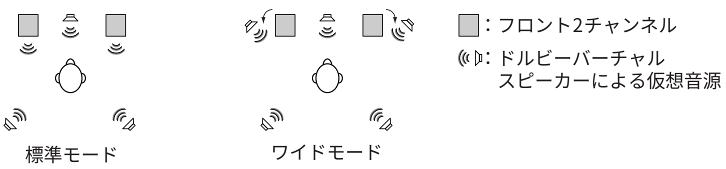
■ ドルビーバーチャルスピーカーの特長

◎ 正確なサラウンド音場定位
仮想サラウンドスピーカーの位置は、左方向に105 ° 右方向に105 ° として処理されます。

◎ マルチチャンネルプログラムを制作者の意図通りに再生
各チャンネルの音はミキシング時に設定された位置に再生されます。例えば左後方に設定されたものは左後方から聞こえます。

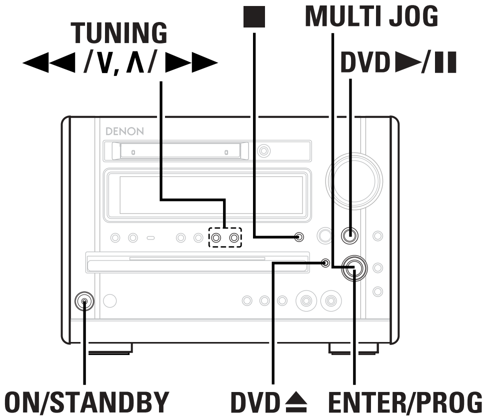
◎ ステレオプログラムがサラウンドに
ドルビープロロジックIIとの連携動作によりステレオプログラムからも豊かなサラウンド音場を創造します。

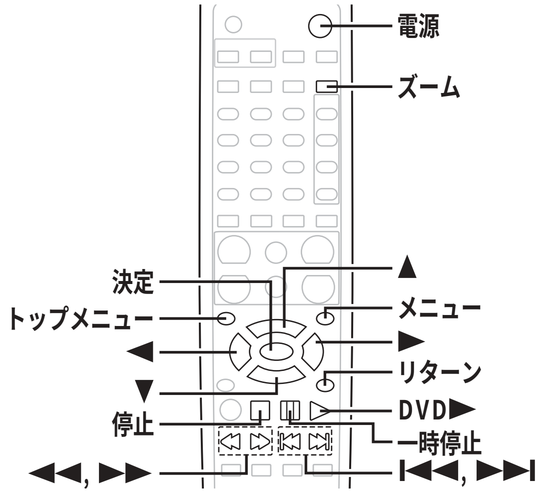
◎ リスニングモード選択
標準（REFERENCE）モードとワイド（WIDE）モードが提供されます。



ドルビーヘッドホンについて

ドルビーラボラトリーズと豪州レイクテクノロジー社との共同開発による立体音響技術で、サラウンド音場を通常のヘッドホンで再生できる技術です。
元来、ヘッドホンではすべての音が頭の中でなってしまい長時間の鑑賞は苦痛となりますが、部屋でのスピーカー再生をシミュレートしたドルビーヘッドホンは音源が前方あるいは側面にしっかり頭外定位するため、まるで映画館かホームシアターにいるような迫力のあるサウンドを聞くことが可能です。この技術は主としてドルビーデジタルまたはドルビープロロジックサラウンドのデコード機能を組み込んだマルチチャンネルオーディオ/ビデオ機器を対象にしており、高性能デジタル信号処理用チップ（DSP）に組み込んで動作させます。
ドルビーヘッドホンはマルチチャンネル音源だけでなくステレオプログラムにも効果的です。





再生のしかた（DVD/ビデオCD/CD）

再生のしかた

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **DVD⏏ ボタン押す。**

- ディスクトレイが開きます。
- オートファンクション機能が働きファンクションはDVD/CDになります。

3 **ディスクトレイにディスクを載せる。**

4 **DVD⏏ ボタン押す。**

- ディスクトレイが閉まり、ディスクが本体に装着されます。

5 **DVD▶/❚❚ ボタンまたは DVD▶ ボタンを押す。**

- インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDの多くのものは、メニュー画面が表示されます。このような場合、操作*6*で見たい項目を選択し再生をはじめてください。

インタラクティブなDVDとは:
例えば複数のアングルや、ストーリーなどが収録されたDVDソフトです。

【例】メニュー記録された DVDのとき

TOP MENU

りんご	バナナ
みかん	イチゴ
もも	パイナップル

【例】プレイバックコントロール付きビデオCDのとき

1. オープニング
2. 第一楽章
3. 第二楽章
4. 第三楽章
5. エンディング

6 **▲▼◀▶ ボタンを押し、見たい項目を選ぶ。**

- ディスクによって異なりますが、**MULTI JOG** ダイヤルを右に回すか、 ▶▶I ボタンを押すとメニューの続きがある場合、続きのメニューを表示します。（ディスクのジャケットを参照してください。）
- ビデオCDのときは▲、▼ ボタン ◀、▶ ボタンが使えません。
  ダイレクトボタンで見たい項目を選んでください。再生が始まります。

7 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- 見たい項目が決定され、再生がはじまります。
- ビデオCDのときはこの操作は不要です。
- ディスクによっても異なりますが、DVD再生中は **トップメニュー** ボタンまたは **メニュー** ボタンを押すとメニュー画面に戻すことができます。
- ビデオCD再生中は **リターン** ボタンを押すとメニュー画面に戻すことができます。

メモ

- ボタン操作中、テレビ画面に ✋ が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。
- ディスクはガイドに合わせて置いてください。
- トレイには2枚以上のディスクをのせないでください。
- テレビ画面にメニューが出ている間は、ディスクは回り続けています。

再生の止めかた

1 **再生中に ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**（ディスプレイが“ STOP ”の表示になります。）

- DVD再生中は ■ ボタンまたは **停止** ボタンを2回押すと “ STOP ” が表示されます。
- 再生が止まり、壁紙が表示されます。
  オートパワーオフの設定が “ ON ” のとき、停止状態が約30分続くと本機はスタンバイ状態になります。（☞ 30ページ）

■ DVDビデオの続き再生メモリー機能

- 再生中は ■ ボタンまたは **停止** ボタンを押すと止めた位置を記憶します。（ディスプレイの “ ▶ ” 表示が点滅します。）

- **DVD►/❚❚** ボタンまたは **DVD►** ボタンを押すと、止めたところから再生がはじまります。トレイを開けるか、もう一度 ■ ボタンまたは **停止** ボタンを押すと続き再生メモリー機能は解除されます。

早送り/早戻しのしかた

1 **再生中に ◄◄/V 、Λ/►► ボタンまたは ◄◄、►► ボタン押す。**

［◄◄：戻し方向、►►：送り方向］

- 押すたびに、早送り/早戻しが速くなります。CDの場合は4段階、DVDビデオ/ビデオCDは7段階可変できます。
- **DVD►/❚❚** ボタンまたは **DVD►** ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

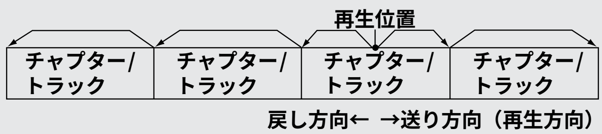


頭出しのしかた

1 **再生中にMULTI JOG ダイヤルを回すか、❙◄◄、►►❙ ボタンを押す。**

［❙◄◄：戻し方向（リバース）、
►►❙：送り方向（フォワード）］

- 押した回数だけチャプター/トラックを飛び越します。
- 戻し方向に1回押すと再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。



静止（一時停止）のしかた

1 **再生中にDVD►/❚❚ ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。**

- **DVD►/❚❚** ボタンまたは **DVD►** ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

コマ送り再生のしかた（DVD/ビデオCDのみ）

1 **静止中に 一時停止 ボタンを押す。**

- 押すたびに、1コマずつ再生します。
- **DVD►/❚❚** ボタンまたは **DVD►** ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

スロー再生のしかた（DVD/ビデオCDのみ）

1 **静止中に ◄◄/V 、Λ/►► ボタンまたは ◄◄、►► ボタン押す。**

［◄◄：戻し方向、►►：送り方向］

- 押すたびに、押すたびに、スロー再生の速度が速くなります。DVDの場合は4段階、ビデオCDの場合は3段階になります。
- **DVD►/❚❚** ボタンまたは **DVD►** ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

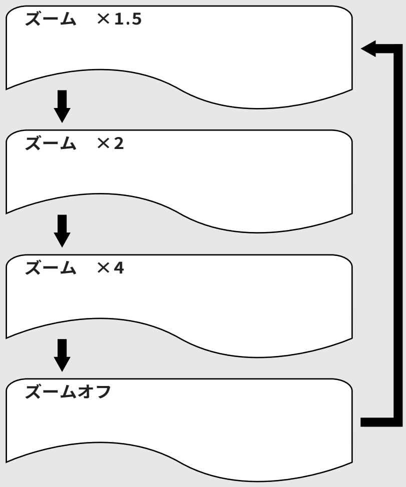
メモ

- ビデオCDは逆スロー再生できません。

ズーム再生のしかた（DVD/ビデオCDのみ）

1 **再生中または静止中に ズーム ボタンを押す。**

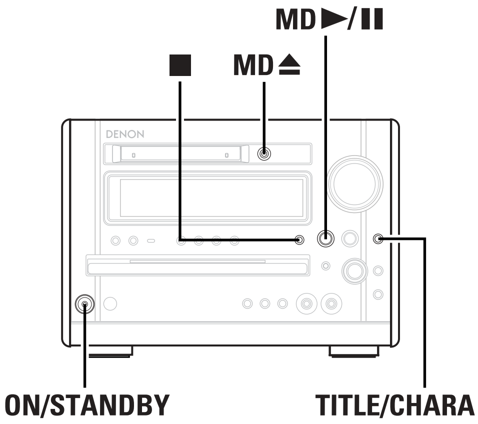
- 押すたびに、ズーム倍率が上がります。
  オフ → ×1.5 → ×2 → ×4 → オフ

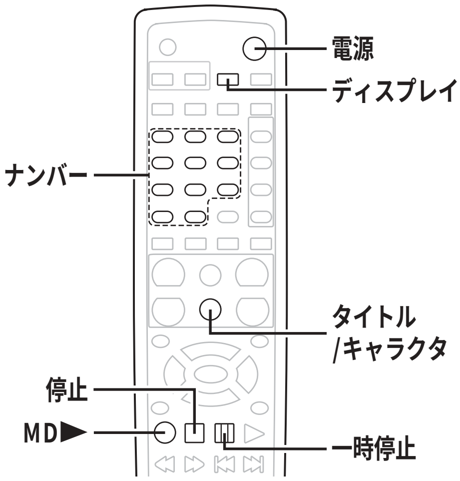


2 **▲▼◄► ボタンを押して、ズーム画面を移動させる。**

メモ

- ディスクによってはズーム再生できないものがあります。
- 場面によってはズームが正しく働かないことがあります。
- トップメニュー、メニュー画面ではズーム再生できません。
- 拡大すると画質が悪化したり、画像がぶれることがあります。



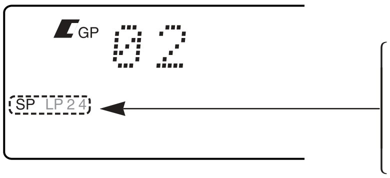


再生のしかた（MD）

MDを再生する前に

■ MDの再生モードについて

MDは、録音したときの録音モードに従って再生されます。
再生がはじまると、ディスプレイにそのMDの再生モードが表示されます。
（停止時は録音モード表示となります。78ページをご覧ください。）

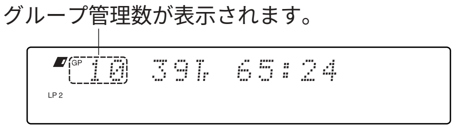


◎**SP**　：本機でステレオ録音したMDまたはMDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
◎**LP2**　：2倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき
◎**LP4**　：4倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき

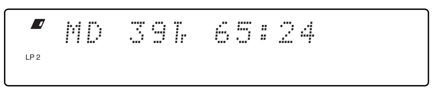
■ グループ管理MDについて（MDグループ機能については、94ページをご覧ください。）

本機には新しい機能としてグループ機能があります。グループ管理されているMDと管理されていないMDで、ディスプレイの表示が異なります。

- グループ管理されているMDの場合



- グループ管理されていないMDの場合



再生のしかた

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **MD挿入口にMDを入れる。**

- ファンクションが " MD " のときに次のようになります。

LOADING

↓

READING

↓

ディスク名

DENON

↓

※ディスク名が入力されていない場合、ディスク名は表示されません。

MD 08Tr 38:19

収録曲数　収録時間

※ ディスク名を表示させたいときは、停止状態で **TITEL/CHARA** ボタンまたは **タイトル/キャラクタ** ボタンを押してください。
もう一度押すと、時間表示に戻ります。

3 **MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押して再生をはじめる。**

- 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。
- 再生状態で **TITEL/CHARA** ボタンまたは **タイトル/キャラクタ** ボタンを押すと、再生している曲のタイトルが表示されます。
もう一度押すと、時間表示に戻ります。

再生を止めるには

再生中に ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

一時的に再生を止めるには

再生中に MD▶/II ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。

- " ▶ " 表示が消灯して " II " 表示が点灯し、ボタンを押したところで再生を中断します。
- **MD▶/II** ボタンまたは **MD▶** ボタンを押すと、止めた位置から再生をはじめます。(" ▶ " 表示が点灯し、" II " 表示は消灯します。)

MDを取り出すには

MDを停止させた後、 MD⏏ ボタンを押す。

好きな曲を聞くとき(リモコンのみ)『ダイレクト再生』

[例] MDの8曲目を聞くとき

1 **ナンバー ボタン " 8 " を押す。**

MD 08Tr 00:01

10曲目以上の曲番を選ぶとき

[例] 12曲目を聞きたいとき
ナンバー ボタン " **+10** "、" **2** " を押す。

[例] 20曲目を聞きたいとき
ナンバー ボタン " **+10** "、" **+10** "、" **0** " を押す。

時間表示を変えるには

MDを再生中に、ディスプレイ ボタンを押す。

- ボタンを押すたびに次のようにディスプレイの表示が切り替わります。

① 再生中の曲の経過時間

MD 09Tr 00:52

↓

② 再生中の曲の残り時間(" REMAIN " 点灯)

MD 09Tr 06:01 REMAIN

↓

③ 全体の経過時間(" TOTAL " 点灯)

MD 09Tr 36:52 TOTAL

↓

④ 全体の残り時間(" TOTAL REMAIN " 点灯)

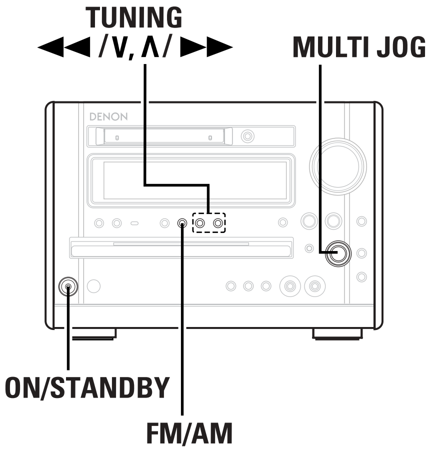
05:02 TOTAL REMAIN

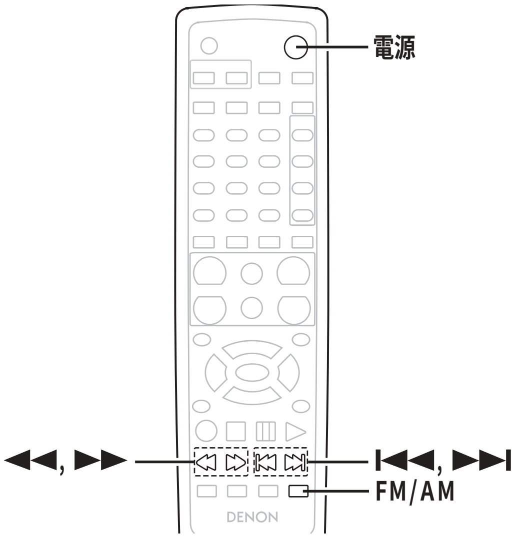
※ ランダム再生中には、①と②のみ表示されます。

メモ

- MDがセットされていない場合およびMDの情報をMDの傷や汚れなどで正しく読み取れなかった場合は、ディスプレイが下図のようになり再生できません。

MD 00Tr 00:00



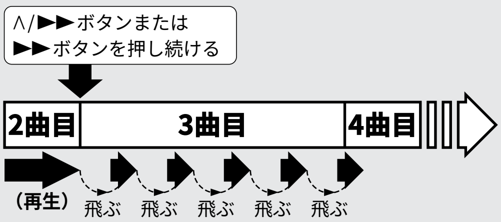


早聞きしながら好きな曲を探すとき『マニュアルサーチ』

早送りするとき

再生中に Λ/ ▶▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押し続ける。

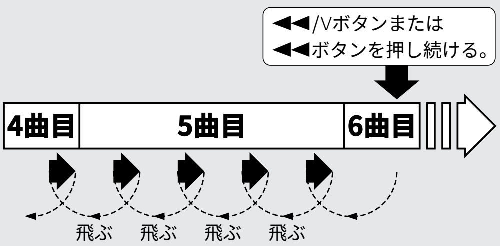
- ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。



早戻しするとき

再生中に ◀◀ /V ボタンまたは ◀◀ ボタンを押し続ける。

- ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。



メモ

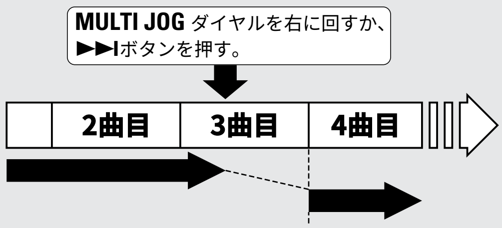
- マニュアルサーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。
- ランダム再生中はマニュアルサーチできません。

再生途中で曲の頭出しをするとき『オートマッチクサーチ』

次の曲の頭出しするとき

MULTI JOG ダイヤルを右に回すか、 ▶▶I ボタンを押す。

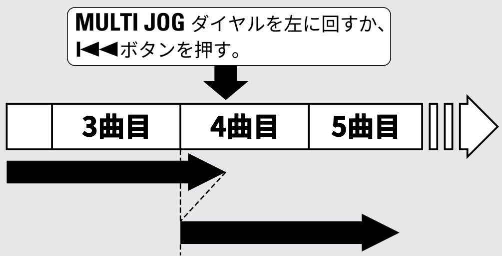
- **MULTI JOG** ダイヤルを右に回すか、 ▶▶I ボタンをくり返し押すと、次々と後ろの曲の頭出しをすることができます。
- 最後の曲を再生中に押すと、1曲目を再生します。



聞いている曲の頭出しするとき

MULTI JOG ダイヤルを左に回すか、 I◀◀ ボタンを押す。

- **MULTI JOG** ダイヤルを左に回すか、 I◀◀ ボタンをくり返し押すと、次々と前の曲の頭出しをすることができます。
- 時間表示が “ 00:00 ” が表示されている間にもう一度押すと、1つ前の曲を再生します。



ラジオ放送を聞くとき

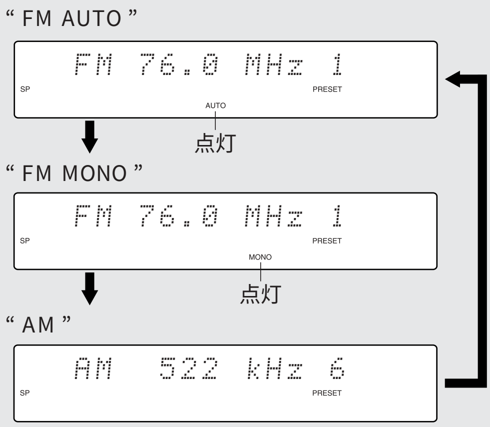
選局のしかた

本機はFMワイドバンド仕様で、通常のFM放送のほか、テレビ1～3チャンネルの音声（モノラル）の受信ができます。
ラジオを聞くときは付属のAM、FMアンテナを接続してください。（☞ 12、13ページ）

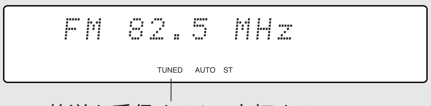
1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **FM/AM ボタンを押して、“ FM AUTO ”、“ FM MONO ” または “ AM ” を選ぶ。**

- 選択したバンドや受信モードが表示されます。
- ボタンを押すたびにディスプレイの表示が切り替わります。



3 **◀◀/∨、∧/▶▶ ボタンまたは ◀◀、▶▶ ボタンを押して、放送局を選ぶ。**



FM放送を受信すると、点灯する。

- **自動同調（オートチューニング）：**
  ボタンを2秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。
  オートチューニングを止めたいときは、もう一度ボタンを押してください。
- **手動同調：**
  ボタンを小きざみに押して、希望する放送局を受信します。

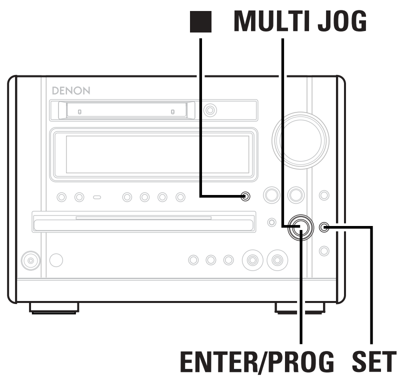
※ テレビ音声は、次の周波数で受信できます。
1チャンネル：FM 95.75MHz
2チャンネル：FM 101.75MHz
3チャンネル：FM 107.75MHz

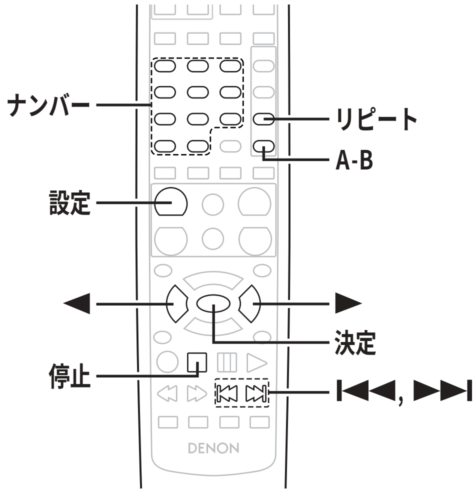
FMステレオ受信するには

- 受信モードが “ AUTO ” のときにステレオ放送を受信すると、“ ST ” 表示が点灯してステレオ受信になります。
- アンテナ入力レベルが低く、ステレオ受信が困難なときは、受信モードを “ MONO ” にしてモノラル受信にすると聞きやすくなります。受信モードは、最後に設定した状態を保持します。

メモ

- FM/AMアンテナは本体や電源コード、スピーカーコードから離してください。近づけて使用すると雑音が入ることがあります。
- AM放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、“ ピー ” という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。





■ **プリセットについて**

- すでにプリセットされている番号にプリセットすると、前のメモリーは消去されて、新しい放送局がプリセットされます。
- 電源コードを抜いたり、停電などで一時的に電源が切れても、すぐにはプリセットされたメモリーは消えませんが、長時間放置してメモリーが消えてしまった場合は、もう一度プリセットし直してください。

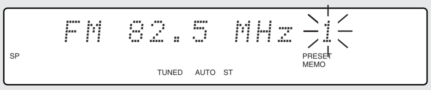
プリセットのしかた

[例] 選局したFM 82.5MHzをプリセット番号 “ 3 ” にプリセットするとき

1 **登録したい放送局を受信する。**

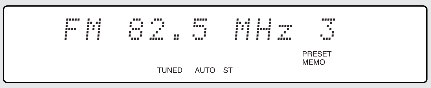
2 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ MEMO ” 表示と “ PRESET ” 表示が点灯し、プリセット番号が点滅します。



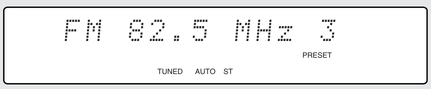
3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀、▶▶I ボタンを押して、登録するプリセット番号を選ぶ。**

- リモコンで操作するときは、 **ナンバー** ボタン “ **3** ” を押してプリセット番号 “ 3 ” を選ぶこともできます。



4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ MEMO ” 表示が消灯して、プリセットが完了します。



※ 同じように操作して、FM/AMを合わせて30局までプリセットすることができます。

オートプリセットのしかた

オートプリセットは、FM放送局のみ可能です。
※ 低い周波数から順番にプリセットします。

1 **ファンクションが “ TUNER ” のときに SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

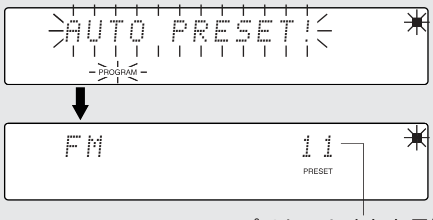
2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して “ *AUTO PRESET?* ” を表示させる。**

3 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ *PRESET START?* ” が表示されます。

4 **もう一度、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- オートプリセットがはじまります。



プリセットされた局数

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、プリセットした局数を確定する。**

プリセットした放送局を選ぶには

入力が “ TUNER ” の状態で MULTI JOG ダイヤルを回すか、 I◀◀、▶▶I ボタンを押して、登録した番号を選ぶ。

※ **ナンバー** ボタンで選ぶこともできます。

いろいろな操作

いろいろな聞きかた（DVD/ビデオCD/CD）

● お気に入りの映像や音声をくり返して再生することができます。
● プレイバックコントロール付きのビデオCDの場合は ■ ボタンまたは **停止** ボタンを押しメニュー画面を終了させリモコンのダイレクトボタンで再生を始めてから操作をおこなってください。

くり返して聞くとき　『リピート再生』

1 **再生中に リピート ボタンを押す。**

● ボタンを押すたびにテレビ画面の表示が切り替わり、それぞれのくり返し再生をはじめます。

DVDビデオの場合

● 通常の再生

↓

● チャプターをくり返す

チャプターリピート

↓

● タイトルをくり返す

タイトルリピート

↓

● リピート再生終了

リピートオフ

ビデオCDや音楽CDの場合

● 通常の再生

↓

● トラックをくり返す

シングルリピート

↓

● ディスク全体またはプログラムされた曲をくり返す

オールリピート

↓

● リピート再生終了

リピートオフ

※ **通常の再生に戻すときは**
テレビ画面に “ リピートオフ ” が表示されるまで **リピート** ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

メモ

● リピート再生が働かないDVDもあります。
● 再生中ディスプレイに再生経過時間が表示されないディスクは、リピート再生およびA-Bリピート再生ができないことがあります。
● A-Bリピート再生中は、A-B間の前後の字幕が表示されないことがあります。
● 他のファンクションに切り替えたり、ディスクトレイの開閉または電源を切った場合には、リピート再生は解除されます。

指定した2点間をくり返し再生する　『A-Bリピート再生』

1 **再生中に A-B ボタンを押す。**

● 開始場所Aが指定されます。

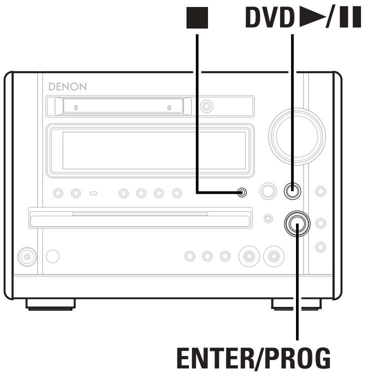
リピート A-

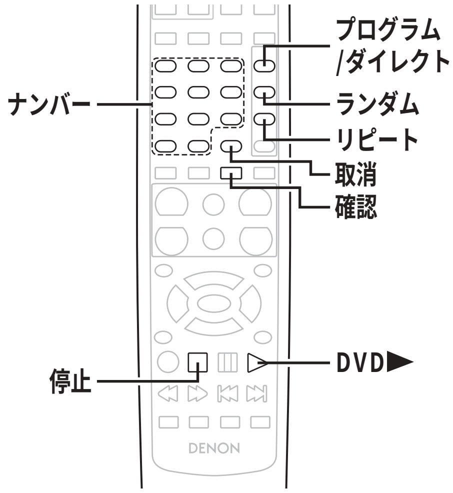
2 **もう一度 A-B ボタンを押す。**

● 終了場所Bが指定され、A-B間のくり返し再生がはじまります。

リピートA-B

※ **通常の再生に戻すときは**
テレビ画面に “ リピートオフ ” が表示されるまで **A-B** ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。



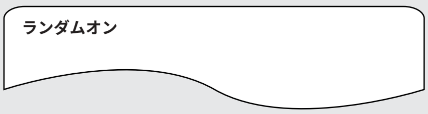


順不同で聞くとき『ランダム再生』

- ビデオCDや音楽CDはトラック単位で順不同（ランダム）に再生することができます。
- DVDでは働きません。
- プレイバックコントロール付きのビデオCDの場合は ■ ボタンまたは **停止** ボタンを押しメニュー画面を終了させ、リモコンのダイレクトボタンで再生を始めてから操作をおこなってください。

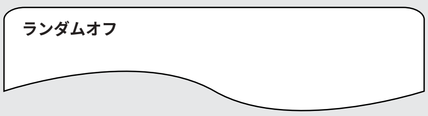
1 **停止中に ランダム ボタンを押す。**

- ランダム再生画面が表示されます。
- ディスクによってはランダム再生できない場合があります。



2 **DVD▶/II ボタンまたは DVD▶ ボタンを押す。**

- 順不同に再生がはじまります。



※ **通常の再生に戻すときは**
■ ボタンを押してランダム再生を止め、 **ランダム** ボタンを1回押す。

メモ

- プログラムした状態ではランダムモードを設定することはできません。
- ランダム再生中に全体の残り時間は確認できません。
- ディスクトレイの開閉または電源を切った場合にはランダム再生は解除されます。

好きな曲だけを選んで聞くとき『プログラム再生』

- ビデオCDや音楽CDはトラック番号を予約して好きな順に再生することができます。
- DVD、MP3、WMAディスクでは働きません。
- プレイバックコントロール付きのビデオCDの場合は ■ ボタンまたは **停止** ボタンを押しメニュー画面を終了させリモコンのダイレクトボタンで再生を始めてから操作をおこなってください。

メモ

- ディスクトレイの開閉または電源を切った場合にはプログラムは解除されます。

1 ダイレクトボタンからの操作

1 **停止中に ENTER/PROG ボタンまたは プログラム/ダイレクト ボタンを１回押す。**

- プログラム選択画面が表示されます。

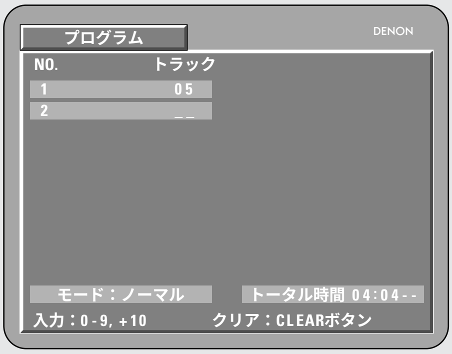


2 **ナンバー ボタン“ 1 ”～“ +10 ”で予約したい番号を選ぶ。**

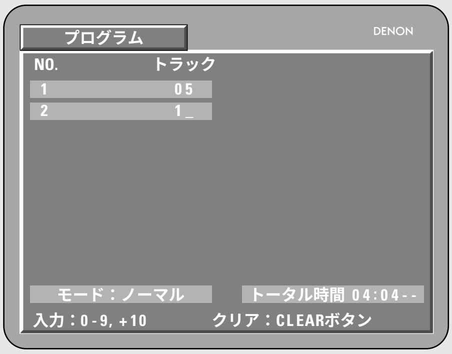
- 20曲までプログラムできます。
- プログラムの総再生時間が“ 99:59 ”を超えると、“ --:-- ”が表示されますが記憶はされています。

【例】トラック5と12をプログラムする場合

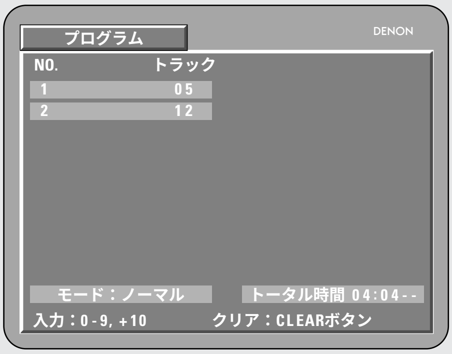
番号ボタンの“ 5 ”を押します。



番号ボタンの“ +10 ”を押します。



番号ボタンの“ 2 ”を押します。



3 DVD▶/❚❚ ボタンまたは DVD▶ ボタンを押す。

- 予約した順に再生がはじまります。

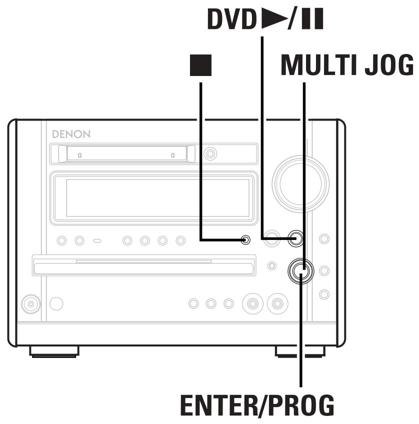
※ **予約を1つずつ取り消すには**
■ ボタンまたは、 **停止** ボタンを押してプログラム再生を止めます。
その後 **取消** ボタンを押すたびに最後に予約したものから順に取り消されます。

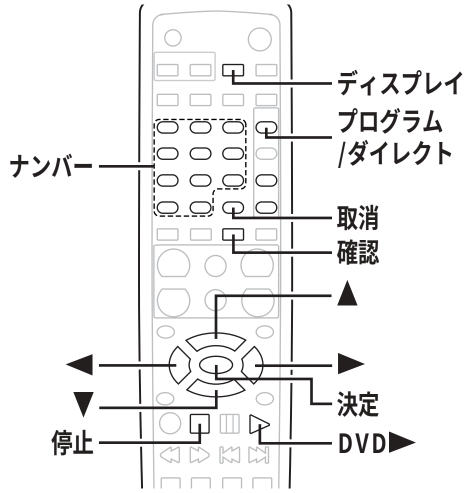
※ **予約をすべて取り消すには**
電源を切るか、本体からディスクを取り出すとすべて取り消されます。
また、 ■ ボタンまたは、 **停止** ボタンを押してプログラム再生を止め、 **プログラム/ダイレクト** ボタンを押すとすべて取り消されます。

※ **プログラムされた内容を確認するには**
■ ボタンまたは、 **停止** ボタンを押してプログラム再生を止め、 **確認** ボタンを押すとプログラムされた内容がステップごとに表示されます。

※ **曲を追加するには**
停止中に***2***の操作をくり返します。
前に選んでいる曲の後に追加されます。（曲の順番を入れ替えることはできません。）

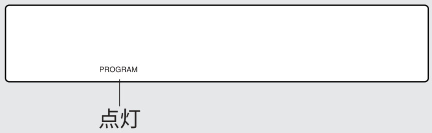
※ **プログラムした曲をリピートするには**
リピート ボタンを押して“ オールリピート ”モードに設定してください。（☞ 63ページ）





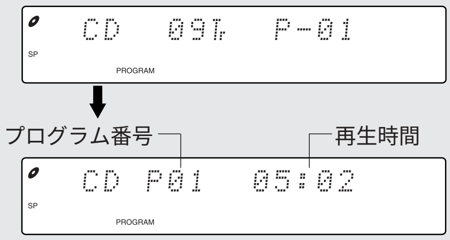
2 オートマチックサーチボタンからの操作

1 **停止中に ENTER/PROG ボタンまたは プログラム/ダイレクト ボタンを押す。**



2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して聞きたい曲番を指定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

[例] CDのトラック9をプログラムする場合



曲番を間違えたとき

登録中に 取消 ボタンを押す。

- 最後に選んだ曲が取消されます。
- 続けて押すと、順に取り消されます。

3 **2の操作をくり返し、聞きたい曲番を順に指定する。**

- プログラムの総再生時間表示が、“99:59”を超えると“--:--”になりますが、記憶はされています。

4 **DVD►/II ボタンまたは DVD► ボタンを押して、再生を開始する。**

予約を1つずつ取り消すには

停止 ボタンを押してプログラム再生を止めます。その後、 取消 ボタンを押すたびに最後に予約したものから順に取り消されます。

予約をすべて取り消すには

電源を切るか、本体からディスクを取り出すとすべて取り消されます。
また、 停止 ボタンを押してプログラム再生を止め、ENTER/PROG ボタンまたは プログラム/ダイレクト ボタンを押すとすべて取り消されます。

プログラムされた内容を確認するには

確認 ボタンを押すとプログラムされた内容がステップごとに表示されます。

曲を追加するには

停止中に操作2をくり返します。
前に選んでいる曲の後に追加されます。
（曲の順番を入れ替えることはできません。）

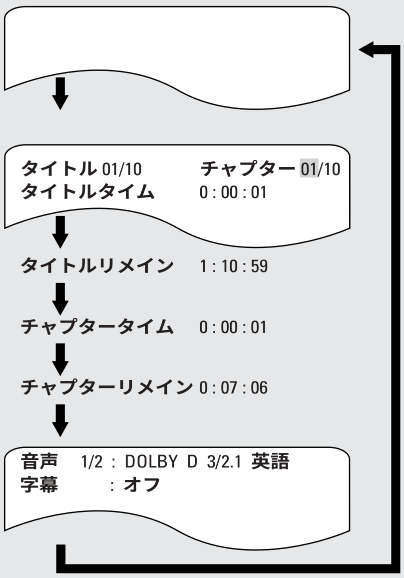
ON-SCREEN画面を使って操作する

- ディスクに関する情報（タイトル/チャプター/時間）を表示したり、再生位置を指定することができます。
- ファンクションがDVD/CDのときに機能します。（MDでは働きません。）
- プレイバックコントロール付きビデオCDの場合は ■ ボタンまたは **停止** ボタンを押しメニュー画面を終了させリモコンのダイレクトボタンで再生を始めてから操作をおこなってください。

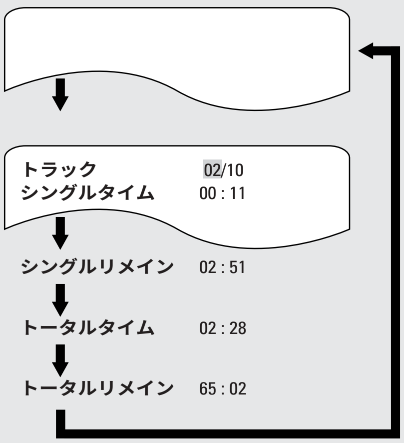
1 再生中に ディスプレイ ボタンを押す。

- ON-SCREEN画面が表示されます。
- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わります。
- 表示される項目はディスクにより異なります。

【例】**DVDビデオの場合**（通常の再生画面）



【例】**ビデオCD/音楽CDの場合**（通常の再生画面）



※ビデオCD/音楽CDの場合、経過時間のみ切り替わります。

2 ▲、▼ ボタンで変更する項目を選ぶ。

- 選択された項目は黄色の枠で表示されます。

◎DVDビデオの場合
タイトル、チャプターの指定や経過時間が選択できます。
◎ビデオCD/音楽CDの場合
トラックの経過時間などが選択できます。

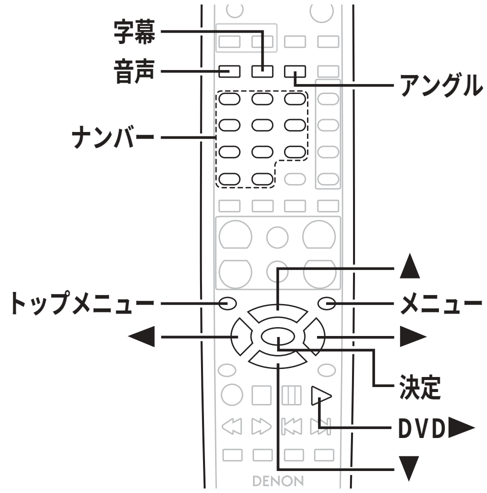
3 ナンバー ボタン“1”～“9”で再生位置を指定し、 決定 ボタンを押す。

① 経過時間の指定

- DVDの場合
【例】1時間32分47秒の場合 →
ナンバー ボタン“1”、“3”、“2”、“4”、“7”を押して **決定** ボタンを押す。
1分26秒の場合 →
ナンバー ボタン“0”、“0”、“1”、“2”、“6”を押して **決定** ボタンを押す。
- ビデオCD/音楽CDの場合
【例】1分26秒の場合 → **ナンバー** ボタン“0”、“1”、“2”、“6”を押して **決定** ボタンを押す。

②タイトル、トラック、チャプターの指定

- DVDの場合
ナンバー ボタン“1”～“＋10”で、入力し、 **決定** ボタンを押す。
（ディスクによっては指定できない場合があります。）
- ビデオCD/音楽CDの場合
ナンバー ボタン“1”～“＋10”で入力すると、そのトラックから再生をはじめます。（ダイレクト選曲）
【例】12曲目を聞きたいとき → **ナンバー** ボタン“+10”、“2”を押す。
【例】20曲目を聞きたいとき → **ナンバー** ボタン“+10”、“+10”、“0”を押す。



マルチ機能の使いかた

音声言語を切り替える（マルチ音声機能）

- 複数の音声言語が記録されているDVDは、再生中に音声言語を切り替えることができます。

1 **再生中に 音声 ボタンを押す。**

- 現在再生中の音声番号が表示されます。

音声　1/3: DOLBY　D 3/2.1　日本語

2 **音声 ボタンを押してお好みの音声言語に切り替える。**

- ボタンを押すたびに音声言語が切り替わります。
- 切り替えた後、約6秒経過すると表示が消えます。

音声　2/3: DOLBY　D 3/2.1　英語

メモ

- ディスクによっては再生中に音声言語を切り替えられない場合があります。この場合にはDVDメニューで選択してください。（☞ 69ページ）
- **音声** ボタンを数回押しても希望の言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、DVD設定（☞ 38、39ページ）で設定されている言語になります。

字幕言語を切り替える（マルチ字幕機能）

- 複数の字幕言語が記録されているDVDは、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1 **再生中に 字幕 ボタンを押す。**

字幕　01/03:日本語

2 **字幕 ボタンを押してお好みの音声言語に切り替える。**

- ボタンを押すたびに字幕言語が切り替わります。
- 切り替えた後、約6秒経過すると表示が消えます。

字幕　02/03:英語

メモ

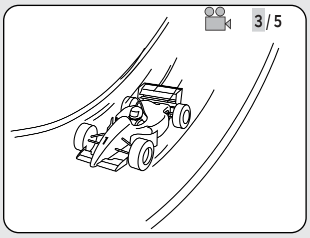
- **字幕** ボタンを数回押しても希望の字幕言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（☞ 38、39ページ）で設定されている字幕言語になります。なお、その言語がディスクにないときはディスクで決められている言語になります。
- 字幕言語を変更してからその言語が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

アングル（角度）を切り替える（マルチアングル機能）

- 複数のアングルが記録されているDVDは、再生中にアングルを切り替えることができます。

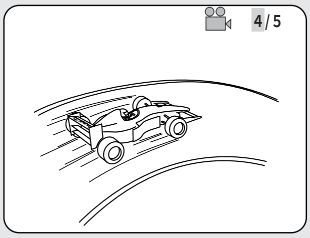
1 **再生中に アングル ボタンを押す。**

- 現在再生中のアングル番号が表示されます。



2 **アングル ボタンを押してお好みのアングルに切り替える。**

- ボタンを押すたびにアングルが切り替わります。
- 切り替えた後、約6秒経過すると表示が消えます。



メモ

- マルチアングル機能は複数のアングルが記録されているディスクで働きます。
- 複数のアングルが記録されている場面でアングルを切り替えることができます。

メニューの使いかた

トップメニューを使う

- 複数のタイトルが入っているDVDは、トップメニューからお好みのタイトルを選択し再生することができます。

1 **再生中に トップメニュー ボタンを押す。**

- トップメニューが表示されます。

【例】

TOP MENU

りんご	バナナ
みかん	イチゴ
もも	パイナップル

2 **▲ ▼ ◀ ▶ ボタンまたは ナンバー ボタン “ 1 ”～“ +10 ”でお好みのタイトルを選ぶ。**

- **ナンバー** ボタン“ 1 ”～“ ＋10 ”で選択したとき操作***3***は不要です。

【例】“ みかん ”を選択した場合

TOP MENU

りんご	バナナ
みかん	イチゴ
もも	パイナップル

3 **決定 ボタンを押す。**

- 再生がはじまります。
- **DVD▶** ボタンを押しても、再生がはじまります。

DVDメニューを使う

- DVDによっては、DVDメニューと呼ばれる特別なメニューが用意されているものがあります。例えば、複雑な内容で編集されたDVDではガイドメニューが用意されていたり、多言語で収録されたDVDでは音声や字幕の言語メニューが用意されていたりします。これらのメニューを“ **DVDメニュー** ”と呼びます。本書では、DVDメニューの一般的な操作方法を紹介します。

1 **再生中に メニュー ボタンを押す。**

- DVDメニューが表示されます。

【例】

DVD MENU

1. 字幕
2. 音声
3. アングル

2 **▲ ▼ ◀ ▶ ボタンまたは ナンバー ボタン “ 1 ”～“ +10 ” で項目を選ぶ。**

- **ナンバー** ボタン“ 1 ”～“ ＋10 ”で選択したとき操作***3***は不要です。

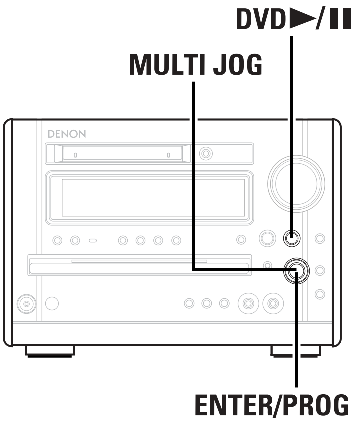
【例】“ 音声 ”を選択した場合

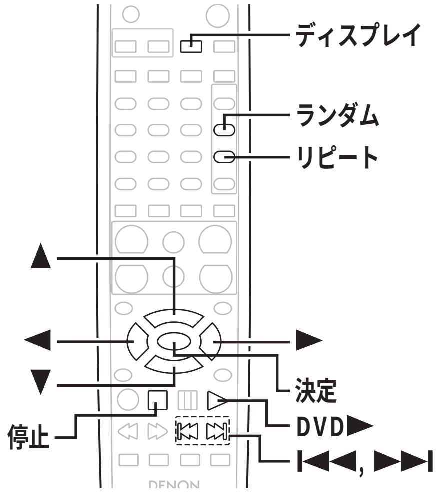
DVD MENU

1. 字幕
2. 音声
3. アングル

3 **決定 ボタンを押す。**

- 選択した項目が決定されます。
- 次々とメニューを表示するときは、操作***2***、***3***をくり返します。





音楽ファイルのディスクを再生する

音楽ファイルのディスク/CD-R/CD-RWを聴くには

- インターネットのホームページ上には、MP3形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトの指示に従って音楽をダウンロードし、CD-R/RWに書き込めば、本機で再生することができます。
  市販の音楽CDに収録された音楽を、パソコン上でMP3エンコーダ（変換ソフト）によりMP3ファイルに変換すれば、12cm CD1枚が約10分の1のデータ量になります。これをCD-R/RWに書き込めば約10枚分の音楽CDがたった1枚のCD-R/RWにMP3ファイルとして書き込むことができます。約100曲以上*の音楽が1枚のCD-R/RWで楽しめます。
  ＊ 約5分の曲を標準的なビットレート128kbpsでMP3ファイルに変換し、容量650MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその値です。
  ＊ **あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。**
  (☞ 131ページ)
- 音楽ファイルのディスク再生の操作をおこなうためのディスク情報は、テレビの画面に表示されます。操作をおこなう前にテレビの接続をおこなってください。(☞ 15ページ)

1 ディスクに書き込まれているMP3ファイルをすべて再生するには <ディスクモード（工場出荷時）>

1 **MP3形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/RWを本体にセットします。（31ページの“ディスクの入れかた”を参照してください。）**

- 本体にディスクが装着されるとディスク情報画面がテレビ画面に表示されます。
- 再生モードが“ディスク”になっていることを確認してください。再生モードの切り替えは71ページの“MP3ファイルを選び再生するには”の**2**を参照してください。



2 **DVD▶/❚❚ ボタン、DVD▶ ボタンまたはENTER/PROG ボタン、決定 ボタンを押す。**

- 記録されているMP3ファイルを検索し、再生をはじめます。
- 階層が上位のフォルダーより順に再生されます。
  検索できるフォルダーは100個までです。
- **ディスプレイ** ボタンを押すと、1曲経過時間（シングルタイム）、1曲残り時間（シングルリメイン）、トラック名を切り替え表示することができます。
- MP3ディスクでのプログラム再生はできません。



2 MP3ファイルを選び再生するには ＜フォルダーモード＞

1 **MP3形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/RWを本体にセットします。（31ページの“ディスクの入れかた”を参照してください。）**

- 本体にディスクが装着されるとディスク情報画面がテレビ画面に表示されます。



2 **◀、▶ ボタンで“再生モード”にカーソルを移動し ▲、▼ ボタンで“フォルダー”を選びます。**

- 再生モードは ▲、▼ ボタンを押すたびに次のように変わります。

ディスク ― フォルダーリピート ― フォルダー ― シングルリピート ― ランダムオン ― オールリピート

- 複数のフォルダーがある場合は、操作**3**に進みます。
- ディスクに記録されているフォルダーがない場合（MP3ファイルのみ）は、操作**4**に進みます。



3 **◀、▶ ボタンで再生したいフォルダーを選び、ENTER/PROG ボタン、決定 ボタンを押す。**

- 再生したいフォルダーを変えたいときは ▲ ボタンで画面左上の“ROOT”表示を選択し、**決定** ボタンを押すとディスク情報画面が表示されますので、もう一度フォルダーを選択し直してください。



4 **▲、▼ ボタンで再生したいMP3ファイルを選び、DVD▶/II ボタン、DVD▶ ボタン、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- **ディスプレイ** ボタンを押すと、1曲経過時間（シングルタイム）、1曲残り時間（シングルリメイン）、トラック名を切り替え表示することができます。
- MP3ディスクでのプログラム再生はできません。



再生したいMP3ファイルを変えるには

■ ボタンまたは **停止** ボタンを押してから ▲、▼ ボタンでもう一度選び直します。

※ **MULTI JOG** ダイヤルを回すか、 **I◀◀**、**▶▶I** ボタンを押すたびに曲目表示画面が切り替わります。

ランダム再生するとき

停止中に **ランダム** ボタンを押してから、**DVD▶**ボタン、**ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押す。

リピート再生するとき

停止中に **リピート** ボタンを押す。押すたびにリピートモードが変わります。

→ シングルリピート → フォルダーリピート → フォルダー（解除）

初期のディスク情報画面に戻すには

■ ボタンまたは **停止** ボタンを押して再生を止め、 ▲ ボタンで画面左上の“ROOT”表示を選び、**ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押す。
（操作**1**のディスク情報画面に戻ります。）

ご注意

- 本機で対応している規格は“MPEG-1 Audio Layer-3”（サンプリング周波数fsは32、44.1、48kHz）です。それ以外の“MPEG-2 Audio Layer-3”、“MPEG-2.5 Audio Layer-3”およびMP1、MP2などには対応していません。
- MP3ディスクでのプログラム再生はできません。
- MP3を再生したときのデジタル出力は、初期設定の音声設定が“ノーマル”“PCM変換”に関わらずMP3をPCMに変換して出力します。また、記録されている音楽ソースのサンプリング周波数で出力します。
- MP3ファイルの再生順序は、CD-R/RW書き込み時にライティングソフトがフォルダー位置、ファイル位置を並び替える可能性があるため任意の再生順序とは異なる場合があります。
- MP3ファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは“ISO9660レベル1”を選択してください。他のフォーマットで記録された場合、正常に再生できないことがあります。ライティングソフトによっては“ISO9660”フォーマットで記録できないものがあります。“ISO9660”フォーマットのライティングソフトをご使用ください。
- 音楽CD（CD DA形式）、MP3およびJPEG以外のファイルが書き込まれたCD-R/RWは再生しないでください。ファイルの種類によっては誤動作および故障の原因になります。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
- 一般にMP3ファイルはビットレートが高いほど音質が良くなります。本機では128kbps以上のビットレートで記録されたMP3のご使用をおすすめします。
- 本機はフォルダーネームとファイルネームをタイトルのように表示することが可能です。半角の英数大文字と＿（アンダースコア）を64文字まで表示できます。また、漢字・ひらがな・カタカナ・その他の記号で記録されたフォルダーネームとファイルネームは表示されません。
- MP3ファイルには必ず拡張子“.MP3”を付けてください。“.MP3”以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。
（マッキントッシュのパソコンの場合、半角英数大文字64文字以内のファイルネームの最後に拡張子“.MP3”を付けてCD-R/RWに記録することにより、MP3ファイルの再生が可能です。）
- CD/CD-R/RWのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。
- パケットライトソフトには対応していません。
- ID3-Tagには対応していません。
- プレイリストには対応していません。

3 WMAのCD-R/CD-RWを聴くには

- 本機はWMA（Windows Media Audio）※形式の音声圧縮フォーマットで記録されたCD-R/RWの音楽ファイルの再生ができます。

Plays Windows Media™

Windows Media、Windowsロゴは米国、その他の国で、米国Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

※WMA（Windows Media Audio）：米国マイクロソフト社の新しいオーディオコーデックです。

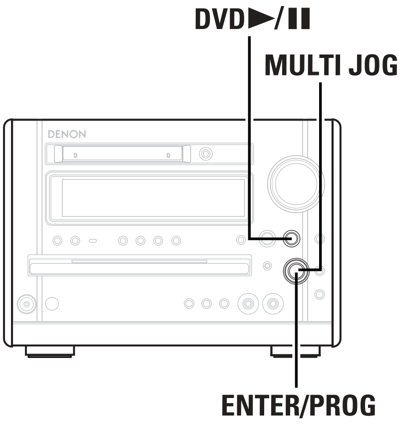
＊ あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

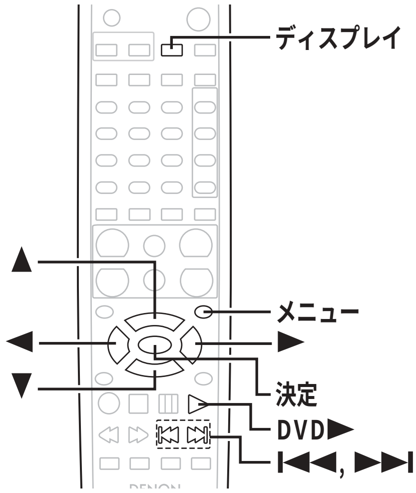
- 再生のしかたは70、71ページ“**1 ディスクに書き込まれているMP3ファイルをすべて再生するには**”及び“**2 MP3ファイルを選び再生するには**”と同様です。

ディスク情報画面のファイル表示で、WMAファイルは“MP3”アイコンの代わりに“WMA”アイコンが表示されます。（“WMA”アイコンが表示されないファイルは再生できません。飛ばして次のアイコンのあるファイルを再生します。）

ご注意

- サンプリング周波数fsは32、44.1、48kHzで記録されたファイルに対応しています。
- WMAのディスクでは、プログラム再生ができません。
- WMAファイルを再生した時のデジタル出力は、初期設定にかかわらず、PCMに変換して出力しています。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステムに準拠して記録されたディスクを使用してください。（拡張フォーマットは除く。）
- 著作権保護されたファイルは再生できません。また、書き込みソフトや状態により再生できない場合や正しく表示されない場合があります。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
- “.wma”または“.WMA”の拡張子が付いたWMAファイルでビットレート64k〜160kbpsに対応しています。
- 本機はフォルダーネームとファイルネームを画面に表示することができます。半角英数大文字と記号（＿アンダースコアなど）で11文字まで表示します。また漢字・ひらがな・カタカナなどは表示できません。
- 停止中、リモコンの**ディスプレイ** ボタンでタイトル名、アーティスト名を切り替えて表示することができます。（1フォルダーあたり99ファイルまで）
- 1フォルダーあたり99ファイル以内で記録されたディスクをおすすめします。複数のフォルダー構成が可能ですが、構成によりすべてのフォルダー、ファイルが認識、再生できない場合があります。
- マルチセッションディスクやファイナライズしていないCD-R/RWも再生可能ですが、10セッション以内でセッションクローズ、またはファイナライズしたディスクを再生することをおすすめします。
- リモコンテンキー（0〜9、+10）でのダイレクト選曲は1フォルダー当り、179Tr（179ファイル）まで指定可能です。179Trを超える場合は停止中に、ディスク情報画面で **カーソル**（▲ ▼ ◀ ▶）ボタンでファイルを選択して、**DVD▶/II** ボタン、**DVD▶** ボタンまたは **ENTER/PROG** ボタン、**決定** ボタンで再生します。





画像ファイルのディスクを再生する

静止画ファイル（JPEG方式）を再生する

1 CD-R/CD-RWに記録した静止画の再生のしかた

● **あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。**
（☞ 131ページ）

1 静止画を記録したCD-R/CD-RWを本体にセットする。

- 本体にディスクが装着されるとディスク情報画面がテレビ画面に表示されます。
- 複数のフォルダーがある場合は、操作**2**に進みます。
- ディスクに記録されているフォルダーがない場合は、操作**3**に進みます。



2 ▲、▼ ボタンで再生したいフォルダーを選び、 ENTER/PROG ボタン、 決定 ボタンを押す。

- 再生したいフォルダーを変えたいときは ▲ ボタンで画面左上の " ROOT " 表示を選択し、**決定** ボタンを押すとディスク情報画面が表示されますので、もう一度フォルダーを選択し直してください。



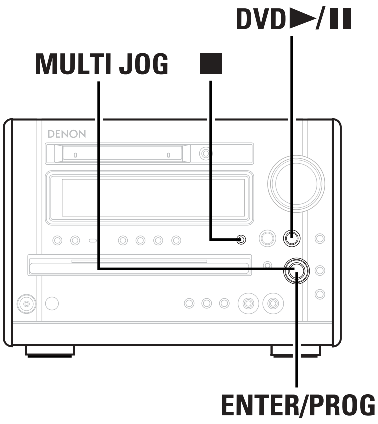
3 ▲、▼ ボタンで再生したい静止画ファイルを選び、 DVD►/II ボタン、 DVD► ボタンまたは ENTER/PROG ボタン、 決定 ボタンを押す。

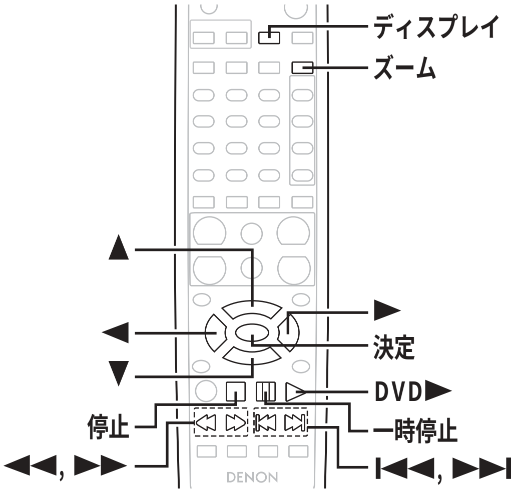
- 再生をはじめます。
- ディスプレイのJPGが点灯します。



再生する静止画を選びたいとき

停止中に **メニュー** ボタンを押して静止画を一度に表示させてから、 ▲ ▼ ◄ ► ボタンで静止画を選び、 **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押す。
MULTI JOG ダイヤルを回すか、 **I◄◄**、**►►I** ボタンを押すたびに静止画名表示画面が切り替わります。





再生を一時停止したいとき

DVD▶/❚❚ ボタンまたは **一時停止** ボタンを押す。再び再生したいときは、 **DVD▶/❚❚** ボタンまたは **DVD▶** ボタンを押す。

再生する静止画を頭出ししたいとき

再生中に **MULTI JOG** ダイヤルを回すか、**⏮**、**⏭** ボタンを押す。
MULTI JOG ダイヤルを左に回すか、**⏮** ボタンを押すと、1つ前の静止画を表示します。
MULTI JOG ダイヤルを右に回すか、 **⏭** ボタンを押すと、1つ前の静止画を表示します。

静止画の向きを変えたいとき

再生中にまたは一時停止中に ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを押す。

▲ ボタン　：再生している静止画を上下反転します。
▼ ボタン　：再生している静止画を左右反転します。
◀ ボタン　：再生している静止画を反時計方向に90 ° 回転します。
▶ ボタン　：再生している静止画を時計方向に90 ° 回転します。

画像をズーム再生したいとき

再生中または一時停止中に **ズーム** ボタンを押し（このとき画面に " ズームオン " を表示）、**◀◀**、**▶▶** ボタンを押す。

◀◀ ボタン　：画像を縮小します。
▶▶ ボタン　：画像を拡大します。

また、拡大した場合は ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンでズーム画面を移動させることができます。
（ズームモードでの連続再生（スライドショー）はできません。）

スライドショーモードを選択したいとき

ディスプレイ ボタンを押す。JPEG画像を連続再生するときの画像の切り替わりかたを " スライドショーモード1〜11 " / " RANDOM " / " NONE（特殊切り替えモードなし）" から選ぶことができます。

音楽ファイルとJPEGの特殊再生について

▶ ボタンで再生モードを選び、 ▲ ▼ ボタンを押して特殊再生を選ぶことができます。
◀ ボタンでカーソルをファイルに戻してから **決定** ボタンを押して開始します。

◎ **フォルダー**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内の音楽ファイルとJPEGファイルを順次再生します。

◎ **フォルダーリピート**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のすべての音楽ファイルとJPEGファイルをくり返し再生します。

◎ **ディスク**
選択したファイルから再生をはじめ、ディスク内のすべての音楽ファイルとJPEGファイルを順次再生します。

◎ **オールリピート**
選択したファイルから再生をはじめ、ディスク内のすべての音楽ファイルとJPEGファイルをくり返し再生します。

◎ **ランダムオン**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のすべての音楽ファイルとJPEGファイルを順不同で再生します。

◎ **トラックリピート**
選択した音楽ファイルまたはJPEGファイルをくり返し再生します。

メモ

- 本機はJPEG形式で記録された画像データに対応していますが、すべてのJPEG形式の画像データの再生を保証するものではありません。
- 解像度が2048×1536pixelまで表示できます。
- JPEGファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは " ISO9660レベル1 " でおこなってください。
- 音楽CD（CDA形式）、MP3/WMAおよびJPEG以外のファイルが書き込まれたCD-R/RWは再生しないでください。ファイルの種類によっては誤動作および故障の原因になります。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。

メモ

- JPEGファイルは必ず拡張子“.JPG”または“.JPE”を付けてください。“.JPG”または“.JPE”以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。（マッキントッシュのパソコンで書き込まれたJPEGファイルは再生できません。）
- CD/CD-R/RWのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。

2 ピクチャーCDの再生のしかた

- 本機は、KODAK社が扱っているピクチャーCDを再生することができます。これらのCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。

※ ピクチャーCDは、従来の銀塩フィルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換してCDに書き込むサービスです。ピクチャーCDに関する詳細は、コダック（株）の現像サービスを取り扱っている店頭にお問い合わせください。

1 ピクチャーCDを本体にセットする。

本体にディスクが装着されると、自動的に静止画の再生をはじめます。
■ ボタンまたは **停止** ボタンを押すと最大9つの画面を一度に表示します。

- 再生が終了したときも表示されます。

再生する静止画を選びたいとき

停止中に ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで静止画を選び、**ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押す。

再生を一時停止したいとき

DVD▶/II ボタンまたは **一時停止** ボタンを押す。再び再生したいときは、**DVD▶/II** ボタンまたは **DVD▶** ボタンを押す。

再生する静止画を頭出ししたいとき

再生中に **MULTI JOG** ダイヤルを回すか、I◀◀、▶▶I ボタンを押す。
MULTI JOG ダイヤルを左に回すか、I◀◀ ボタンを押すと、1つ前の静止画を表示します。
MULTI JOG ダイヤルを右に回すか、▶▶I ボタンを押すと、1つ前の静止画を表示します。

静止画の向きを変えたいとき

再生中または、一時停止中に ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンでを押す。

▲ ボタン ：再生している静止画を上下反転します。
▼ ボタン ：再生している静止画を左右反転します。
◀ ボタン ：再生している静止画を反時計方向に90 ° 回転します。
▶ ボタン ：再生している静止画を時計方向に90 ° 回転します。

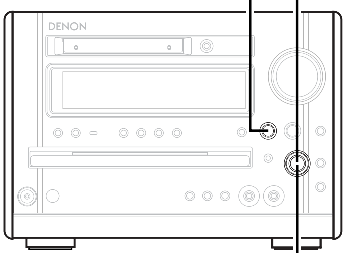
画像をズーム再生したいとき

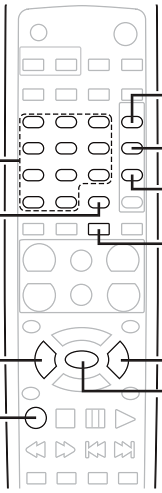
停止中に **ズーム** ボタンを押し（このとき画面に“ズームオン”を表示）、◀◀、▶▶ ボタンを押す。
◀◀ ボタン ：画像を縮小します。
▶▶ ボタン ：画像を拡大します。
また、拡大した場合は ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンでズーム画面を移動させることができます。
（ズームモードでの連続再生（スライドショー）はできません。）

スライドショーモードを選択したいとき

ディスプレイ ボタンを押す。静止画像を連続再生するときの画像の切り替わりかたを“スライドショーモード1〜11”/“RANDOM”/“NONE（特殊切り替えモードなし）”から選ぶことができます。

“KODAK”はイーストマン・コダック社の登録商標です。





MDのいろいろな聞きかた

くり返して聞くとき 『リピート再生』

1 **リピート ボタンを押して、再生モードを選ぶ。**

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が次のように切り替わります。

" 1 REPEAT " ：1曲リピートモード（1曲だけをくり返し再生）
" ALL REPEAT " ：全曲リピートモード（全曲またはプログラム全曲をくり返し再生）
" REPEAT " 表示なし ：リピート解除

2 **再生を開始する。**
MD▶/❚❚ ボタンまたは MD▶ ボタンを押す。

※ 再生中も設定できます。
※ リピート再生を止めるときは " REPEAT " 表示が消灯するまで **リピート** ボタンをくり返し押してください。

順不同で聞くとき 『ランダム再生』

1 **ランダム ボタンを押す。**

- " RANDOM " 表示が点灯します。

2 **再生を開始する。**
MD▶/❚❚ ボタンまたは MD▶ ボタンを押す。

※ 再生中も設定できます。
※ ランダム再生を止めるときは、ランダム再生中にもう一度、**ランダム** ボタンを押してください。
" RANDOM " 表示が消灯します。

メモ

- プログラムした状態ではランダムモードを設定することはできません。
- ランダム再生中に1曲リピート再生はできません。
- ランダム再生中に全体の残り時間は確認できません。
- A-Bリピートは機能しません。
- ディスクの取り出しまたは電源を切った場合は、リピート再生やランダム再生は解除されます。

好きな曲だけを選んで聞くとき『プログラム再生』

- 最大25曲までプログラムすることができます。
- グループ管理されているMDの操作は異なります。（☞ 98、99ページ）

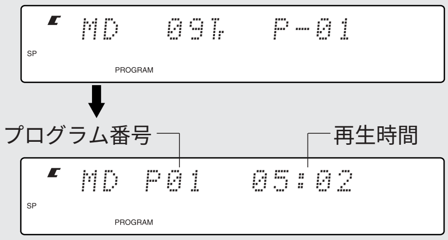
1 **停止中にENTER/PROG ボタンまたは プログラム/ダイレクト ボタンを押す。**

- “ TRACK PROGRAM ” が点灯します。
- ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が次のように切り替わります。
  MD　：TRACK PROGRAM
  　　→GROUP PROGRAM（グループ登録されているMDのときのみ）
  　　→表示なし（プログラム）
  となります。

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して、聞きたい曲番を指定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

※ **ナンバー** ボタン “ **1** ”～“ **+10** ” でも指定できます。

[例] ファンクションが “ MD ” で、 **ナンバー** ボタン “ **9** ” を押したとき



曲番を間違えたときは

登録中に 取消 ボタンを押す。

- 最後に選んだ曲が取消されます。
- 続けて押すと、順に取り消されます。

3 **2 の操作をくり返し、聞きたい曲番を順に指定する。**

- プログラムの総再生時間表示が、“ 999:59 ” を超えると “ --:-- ” になりますが、記憶はされています。

4 **再生を開始する。**
MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押す。

※ プログラムした曲をリピート再生する場合は、 **リピート** ボタンを押して “ ALL REPEAT ” モードに設定してください。（☞ 76ページ）
他のファンクションに切り替えたときやMDの取り出し、または電源を切った場合にはプログラムは解除されます。

登録した順番を確かめるには

確認 ボタン押す。

- ボタンを押すたびに登録した曲番が順に表示されます。

曲を追加するには

停止中に、操作3をくり返す。

- 前に選んでいる曲の後に追加されます。

登録を取り消すには

停止中に、 ENTER/PROG ボタンまたは プログラム/ダイレクト ボタンを押す。

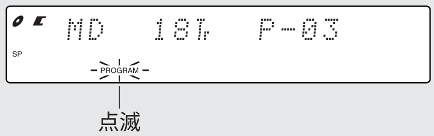
※ MDを取り出したときも、登録は取り消されます。

プログラム内容を訂正するには

[例] MDの3番目にプログラムした18曲目を5曲目に訂正するとき

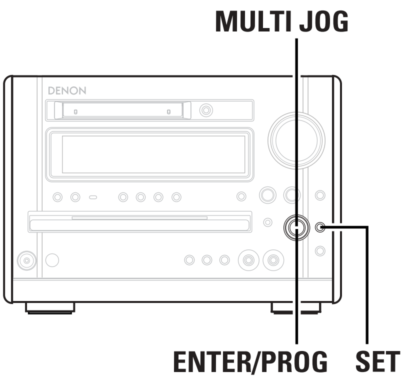
1 **確認 ボタン押して、訂正する曲を表示させる。**

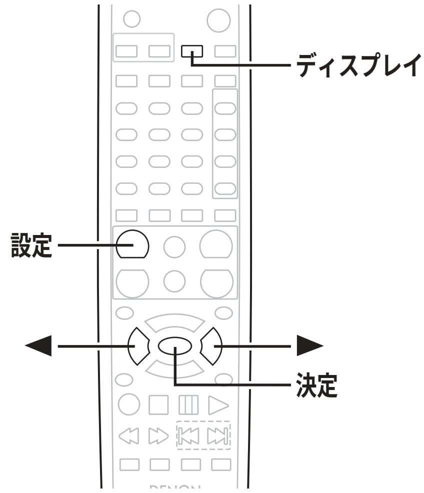
- “ PROGRAM ” 表示が点滅します。



2 **“ PROGRAM ” 表示が点滅している間に MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して、“ 05 ” を表示させたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

※ **ナンバー** ボタン“ **5** ”を押しても訂正できます。





録音をする前に

試し録音について

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に万一この製品の不具合により録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償についてはご容赦ください。

本機では次の録音ができます。

(1) 長時間録音 (2) グループ録音 (3) 高速録音

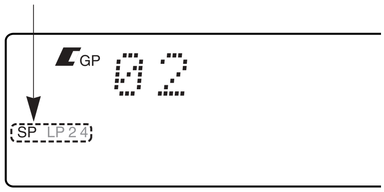
(1) 長時間録音

■長時間録音（MDLP）

- 本機ではステレオ音声のままで2倍または4倍の長時間録音ができます。
- 1枚のMDに別々な録音モード（SP：標準、LP2：2倍長時間、LP4：4倍長時間）で録音された曲を混ぜて収録することもできます。

SP ： 標準のステレオ録音（MD80で最大80分の録音）
LP2： 2倍長時間ステレオ録音（MD80で最大160分の録音）
LP4： 4倍長時間ステレオ録音（MD80で最大320分の録音）

録音モード



録音モードを設定するには

- お買い上げのときは、“ SP ” になっています。

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、“ MD REC MODE? ” を表示させる。**

2 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ MDLP/LP STAMP ” が表示されます。

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、“ MDLP ” を点滅させ、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ MDLP SP/LP 2/4 ” が表示されます。

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、録音モードを選ぶ。**

- 選択されているモードが点滅します。

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、録音モードを確定する。**

※ 録音モードは、次に変更するまで変わりません。

録音可能時間を確認するには

MDが停止状態のときに、 ディスプレイ ボタンを押す。

- ボタンを押すたびにディスプレイの表示が切り替わります。

収録曲数、収録時間表示



録音可能時間



※ 録音可能時間は、録音モードによって異なります。

メモ

- 録音モード（SP、LP2、LP4）の設定によって、MDの録音残量表示も変わります。
- 録音モードが長時間（SP→LP2→LP4）になるに従って、音質に差が出ます。最良の音質で録音したいときは、録音モードを“ SP ”にしてください。

ご注意

- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 本機でステレオ2倍長時間録音または4倍長時間録音された曲は、“ MDLP ”に対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では再生できません。曲タイトルのはじめに“ LP: ”と表示され、無音状態になります。“ MDLP ”に対応した機器で再生すると、“ LP: ”は表示されません。
- MDの編集をするとき、録音モード（SP、LP2、LP4）の異なる曲をつなげることはできません。

曲タイトルの頭に“ LP：”を付けない設定にするには

お買い上げのときは、“ MDLP ”に対応していない本機以外の機器で、曲のタイトルのはじめに表示する“ LP：”を自動で付ける設定（“ ON ”）になっています。（☞ 78ページ）
ステレオ長時間録音された曲のタイトルの頭に“ LP：”を付けない設定にすることができます。

1 **“ 録音モードを設定するには ”の操作3で、MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“ LP STAMP ”を点滅させ、ENTER/PROG ボタンまたは決定 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して“ OFF ”を選ぶ。**

- **MULTI JOG** ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押すと“ ON ”、“ OFF ”を選択できます。

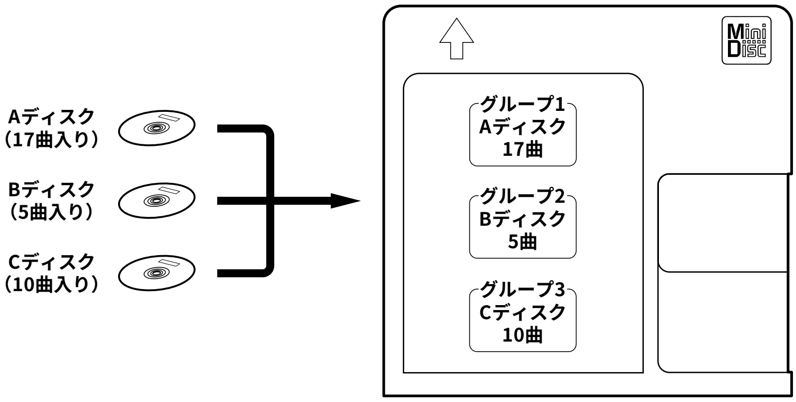
3 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、確定する。**

（2）グループ録音

本機では録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音することができます。
ディスプレイの“ GROUP ”表示が点灯しているときは、グループ録音されます。（お買い上げ時の設定はグループ“ ON ”になっています。）
※ MDグループ機能については94ページをご覧ください。

■グループ録音のイメージ図

グループモードの設定がONのとき
A、B、Cのディスクを順番に録音する
と、次のようにグループ管理されます。



グループとして録音したくないときには

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“ GROUP REC? ”を表示させる。**

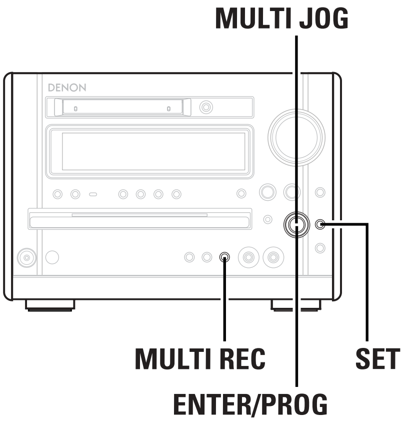
2 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

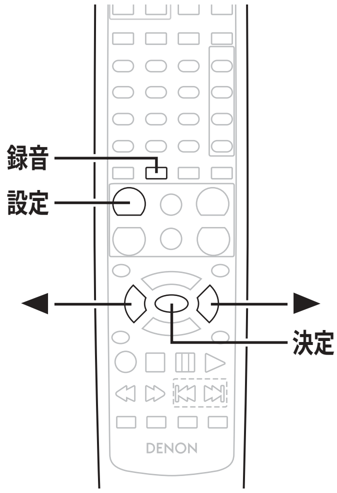
- “ GROUP ON/OFF ”が表示されます。

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“ OFF ”を選択する。**

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- ディスプレイの“ GROUP ”表示が消灯します。



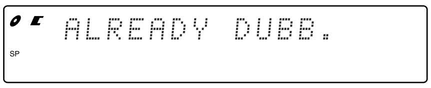


（3）高速録音（2倍速録音/4倍速録音）

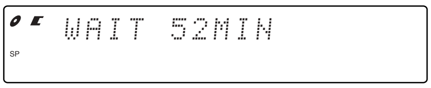
本機では、CDをMDに等速/2倍速/4倍速で録音することができます。
CDを従来の約1/2または約1/4の時間で録音することができます。

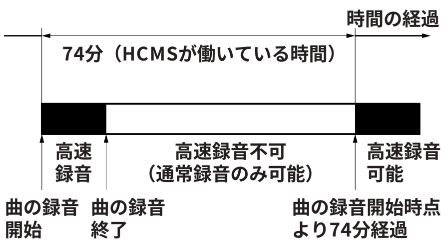
■HCMSについて

ある曲を高速録音すると、録音をはじめた時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC：International Standard Recording Code）をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。
高速録音しようとしている曲が74分以内に録音されていると以下のように表示され、高速録音できません。



すでに高速録音された曲を再び高速録音しようとした場合、"ALREADY DUBB."が表示され、再録音（高速）が可能になるまでの時間が表示されます。





■高速録音を曲の途中で止めたり、曲の録音中にMDの残り時間がなくなると…

その曲はMDに記録されます。
この場合、記録された曲を消去してから続きを高速録音してください。

■高速録音中に本機の電源を切ったり、スリープタイマーで電源が切れると…

その曲はMDに記録されます。
この場合、記録された曲を消去してから続きを高速録音してください。

■CDのプログラムを高速録音するには…

HCMSは曲の録音の可否を1曲ごとに判定するため、同一の曲がプログラムされていると、高速録音できません。
例えば、CDの1→2→3→2曲目の順番でプログラムされている場合、高速録音しようとすると"CD SAME TRACK"を表示させ、高速録音を禁止します。

■一度に100曲まで録音できます。

- 高速録音を始めて、74分以内に100曲の録音が終了した場合、最初に高速録音を始めた時点から74分が経過するまで、101曲目の録音はできません。
- 録音途中で100曲目の録音が終了したとき、"CANNOT SRS"を表示した後、録音が終了します。

曲番について

■オートトラックマーク機能（ATM機能）

アナログ録音のときに約3秒の無音部分を曲間とみなして、自動的に次の曲番を付ける機能です。
お買い上げのときは " ON " に設定されており、ディスプレイの " ATM " 表示が点灯しています。

- 録音するソースによってはATMがうまく働かない場合があります。
- ATM機能はファンクションがFM/AM、AUX-1、AUX-2、TAPE、PORTABLEまたはファンクションがDVD/CDのときのビデオCD、MP3/WMAディスクの録音のときに有効になります。DVDまたはCDからのアナログ録音のときはATM機能は解除され、デジタル録音の時と同様にDVDまたはCDと同じところに自動的に曲番が付けられます。

ATM機能の設定をOFFにするには

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して " ANALOG A.T.M? " を表示させる。**

2 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- " A.T.M. ON/OFF " が表示されます。

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、" OFF " を選択する。**

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

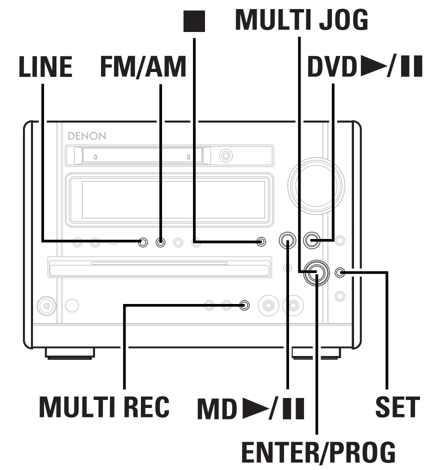
- " A.T.M. OFF " が約3秒間表示され、ディスプレイ " ATM " 表示が消灯します。

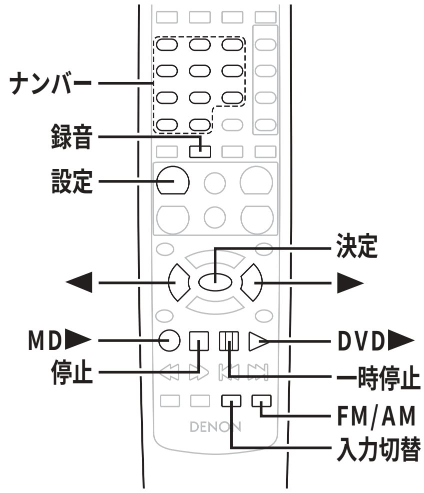
※ デジタル録音のときは、ATM機能が " OFF " であっても " ATM " 表示は点灯します。

アナログ録音中に自分で曲番を付けるには（手動で曲番を付けるには）

曲番を付けたい位置で MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押す。

- " TRACK MARK " が約6秒間表示され、この間は次の曲番を付けることができません。
- 曲番が1つ増えて、録音はそのまま続きます。
- ATM機能が " ON "、" OFF " どちらの場合でもおこなえます。
- デジタル録音中（CDまたはOPTからMDへの録音）はこの機能は使えません。





録音レベルを調節する

● **MULTI REC** ボタンまたは **録音** ボタンを使って録音する場合に録音レベルを調節することができます。
● 録音レベルは、ソース（音源）の違いによる録音レベルのバラツキを整えるときに調節します。

録音レベルを調節するとき

1 録音するソースを選択する。

● DVD/CD/ビデオCDのとき:
DVD►/❚❚ ボタンまたは **DVD►** ボタンを押してから ■ ボタンまたは **停止** ボタンを押して、ファンクションをDVD、CDまたはVCDにします。

※ CDにレベルを合わせたい曲がある場合は、**ナンバー** ボタン押して希望する曲を再生します。

● ラジオのとき:
FM/AMボタンを押してファンクションをFMまたはAMにします。

● 外部入力機器のとき:
LINE ボタンまたは **入力切替** ボタンでソースを切り替えます。

→ *TAPE* → *AUX1* → *AUX2* →
← *OPT* ← *PORTABLE* ←

2 MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押して、録音一時停止状態にする。

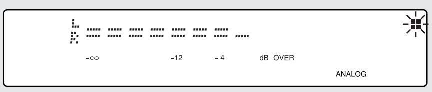
● 現在設定されている録音レベルが約3秒間表示されます。ただし、現在の録音レベルが0dBに設定されている場合は、録音レベルは表示されません。

3 SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。

●“ *REC LEVEL?* ”が表示されます。

4 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

● CD録音のときは、自動的にCDの再生がはじまります。



5 MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、調節をおこなう。

● 調節範囲は、−∞〜＋12dBです。
● 最も大きなレベルでレベルメーターが“ OVER ”の位置まで点灯しないように調節します。

6 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

● 録音一時停止状態に戻ります。
（録音中でも***3***〜***6***の操作により、録音レベルは調節できます。）

メモ

● 録音レベルは、−∞、−60、−50、−40、−30、−20、−15、−10〜＋12dB（1dB単位）の範囲で調節できます。（お買い上げ時は“ 00dB ”に設定されています。）
● 設定した録音レベルは、録音を終了しても録音をおこなった各ファンクション（CD、TUNERおよびLINE）ごとに記憶されます。
● 外部入力機器で“ OPT ”をデジタル録音しているとき、以下の操作をおこなうと、一瞬音が途切れますが、故障ではありません。
① **MULTI REC** ボタンまたは **録音** ボタンが押され、一時停止状態になったとき
② 一時停止状態で ■ ボタンまたは **停止** ボタンが押されたとき
● SCMSによるデジタルコピー禁止のソースの場合、“ *CANNOT COPY* ”が表示され、録音一時停止状態になりません。

CD/ビデオCDからMDへ録音する

- 録音済みのMDを使用するときは、残り時間にご注意ください。（☞ 78、79ページ）
- 録音済みのMDの内容をすべて消去してMDの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。（☞ 109ページ）
- 録音をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じてください。（☞ 10ページ）
- サラウンドモードの設定にかかわらず、録音される音声は“ステレオ”になります。

1 **再生するCDまたはビデオCDを入れる。**

2 **録音用MDを入れる。**

3 **DVD►/❚❚ ボタンまたは DVD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“DVD/CD”になり、停止状態になります。

4 **CDからMDにデジタル録音をする場合**

ビデオCDからMDに録音をする場合

MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押して、録音一時停止状態にする。

- 通常録音一時停止状態になります。
- 必要に応じて録音レベルを調節してください。（☞ 82ページ）
- プレイバックコントロール付きのビデオCDを録音する場合は、録音をおこなう前に ■ ボタンまたは **停止** ボタンを押してメニュー画面を止めてから録音を始めてください。

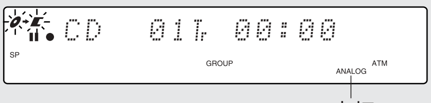


点灯

CDからMDにアナログ録音をする場合

録音一時停止状態で、MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを3秒以上押し続ける。

- ディスプレイの“DIGITAL”表示が消灯して“ANALOG”表示が点灯します。

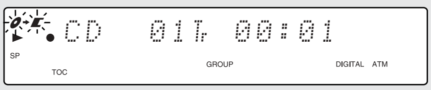


点灯

- 再度デジタル録音をする場合は、もう一度、**MULTI REC** ボタンまたは **録音** ボタンを3秒以上押し続け切り替えてください。

5 **DVD►/❚❚ ボタン、DVD► ボタンまたは MD►/❚❚ ボタン、MD► ボタンを押す。**

- 録音が開始されます。



一時的に録音を止めるには

録音中に DVD►/❚❚ ボタン、MD►/❚❚ ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。

録音一時停止状態から録音を続けるには

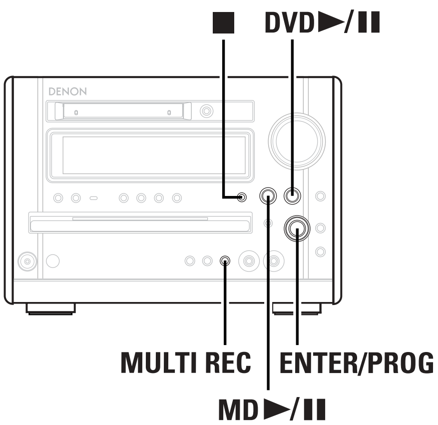
DVD►/❚❚ ボタン、DVD► ボタンまたは MD►/❚❚ ボタン、MD► ボタンを押す。

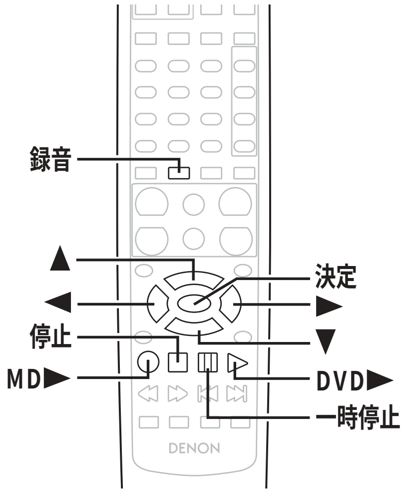
録音を止めるには

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

メモ

- ビデオCDからの録音はアナログ録音になります。
- MDが停止するとTOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  - ・ディスクを排出したとき
  - ・他の音源（ソース）を選択したとき
  - ・さらに編集作業を実施したとき（“編集内容の取り消し”は除く）
  - ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）





DVDからMDへ録音する

- 録音済みのMDを使用するときは、残り時間にご注意ください。（☞ 78、79ページ）
- 録音済みのMDの内容をすべて消去してMDの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。（☞ 109ページ）
- 録音をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じてください。（☞ 10ページ）
- サラウンドモードの設定にかかわらず、録音される音声は“ステレオ”になります。

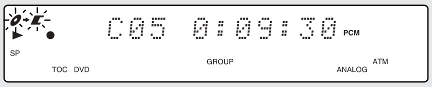
1 **再生するDVDを入れて再生し、録音を開始したいところで DVD▶/❚❚ ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。**

2 **録音用MDを入れる。**

3 **MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押す。**

- 通常録音一時停止状態になります。

4 **録音を開始する。**
DVD▶/❚❚ ボタン、DVD▶ ボタンまたは MD▶/❚❚ ボタン、MD▶ ボタンを押す。



一時的に録音を止めるには

録音中に DVD▶/❚❚ ボタン、MD▶/❚❚ ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。

録音一時停止状態から録音を続けるには

DVD▶/❚❚ ボタン、DVD▶ ボタンまたは MD▶/❚❚ ボタン、MD▶ ボタンを押す。

録音を止めるには

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

メモ

- MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。
- DVDからの録音は、アナログ録音となります。
- ディスクによっては、録音一時停止位置から録音されずに、チャプター先頭から録音されてしまうことがあります。その場合、MDの編集機能（☞ 99ページ）を用いて不要部分を削除してください。

音楽ファイルのディスクからMDへ録音する

- 録音済みのMDを使用するときは、残り時間にご注意ください。（☞ 78、79ページ）
- 録音済みのMDの内容をすべて消去してMDの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。（☞ 109ページ）
- 録音をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じてください。（☞ 10ページ）
- サラウンドモードの設定にかかわらず、録音される音声は“ステレオ”になります。

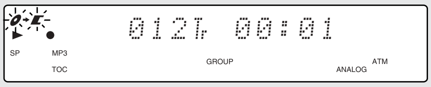
1 **MP3またはWMA形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/RWを本体にセットし、◀、▶、▲、▼ ボタンで再生したい音楽ファイルを選ぶ。**（☞ 70〜72ページ）

2 **録音用MDを入れる。**

3 **MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押す。**

- 通常録音一時停止状態になります。

4 **録音を開始する。**
DVD▶/II ボタン、DVD▶ボタン、MD▶/II ボタン、MD▶ ボタン、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。



一時的に録音を止めるには

録音中に DVD▶/II ボタン、MD▶/II ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。

録音一時停止状態から録音を続けるには

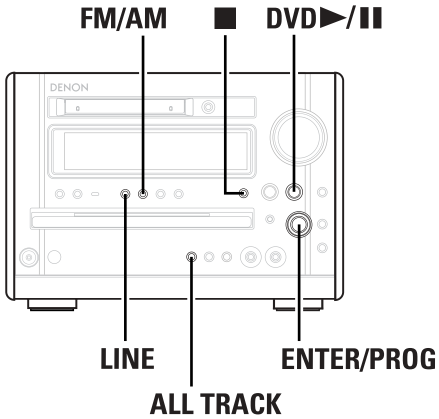
DVD▶/II ボタン、DVD▶、MD▶/II ボタン、MD▶ ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

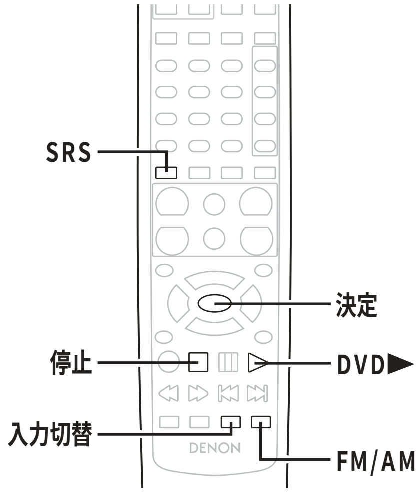
録音を止めるには

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

メモ

- 操作***1***でフォルダーが選択されている場合は、録音できません。
- 再生モードが“ディスク”または“オールリピート”以外のとき、フォルダーをまたがった録音はできません。
- MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。
- 音楽ファイルのディスクからの録音は、アナログ録音となります。





CDのすべての曲を録音する（オールトラックシンクロ録音）

- 高速録音ができます。

1 **再生するCDを入れる。**

2 **録音用MDを入れる。**

3 **DVD►/II ボタンまたは DVD► ボタンを押してから、 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが " DVD/CD " になり、停止状態になります。

4

本体で操作するとき

ALL TRACK ボタンを押すたびに、

ALLTr X4 REC?（4倍速）
↓
ALLTr X2 REC?（2倍速）
↓
ALLTr X1 REC?（等速）

と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。

- アナログ録音をおこなう場合は等速録音になります。

リモコンで操作するとき

SRS ボタンを押すたびに、

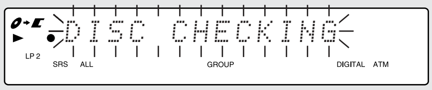
ALLTr X4 REC?
↓
ALLTr X2 REC?
↓
ALLTr X1 REC?
↓
1Tr X4 REC?
↓
1Tr X2 REC?
↓
1Tr X1 REC?

と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。

- アナログ録音をおこなう場合は等速録音になります。

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- ディスクチェックモード（☞ 87ページ）に入り、ディスクの状態を確認します。



- 問題がなければ、自動的に録音を開始します。
- 4倍速（X4 SPEED）、2倍速（X2 SPEED）録音のときは、CDの音を聞くことはできません。

録音を止めるには

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

- MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると " TOC " 表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

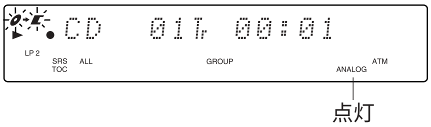
メモ

- 高速録音をおこなう際、ディスクによってはノイズが録音される場合があります。このような場合は等速で録音をおこなってください。

■ディスクチェックモード

録音するCDがSCMSによりデジタルコピー禁止のソースか確認します。

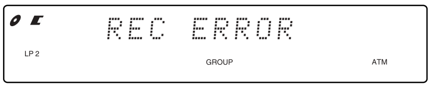
- 禁止ソースの場合、アナログ録音となります。（自動的に切り替わります。）



- アナログ録音時は等速録音になります。

■REC ERROR表示

ディスクチェックモードから録音終了までの間にCDの汚れや傷などで録音が途中で停止したときに表示します。



- ボリウム、ボタン操作がない限り表示を解除しません。

高速録音中に他のファンクションを聞くには

高速録音中に他のファンクションを聞くことができます。（裏再生機能）

本機に接続した機器の音を聞くとき

- 録音中に **LINE** ボタンまたは **入力切替** ボタンを押すと、ファンクションがTAPE、AUXまたはPORTABLEに切り替わり、本機に接続した機器の音を聞くことができます。
  ボタンを押すたびに、下記のようにファンクションが切り替わります。

（録音中の表示）: 音は聞こえません。
↓
TAPE　：接続した機器の音が聞けます。
↓
AUX1　：接続した機器の音が聞けます。
↓
AUX2　：接続した機器の音が聞けます。
↓
PORTABLE　：接続した機器の音が聞けます。

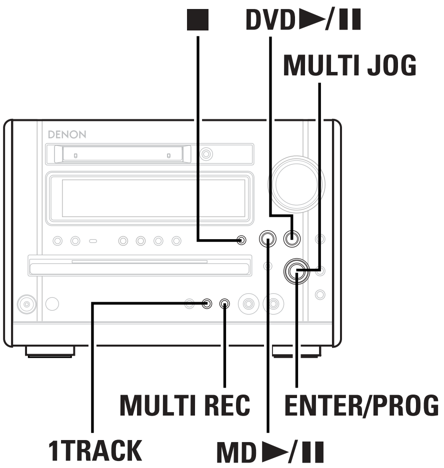
ラジオ放送を聞くとき

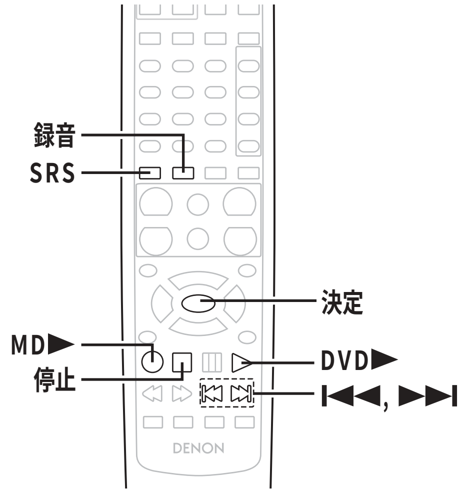
- 録音中に **FM/AM** ボタンを押して、ファンクションがラジオに切り替わり、ラジオ放送を聞くことができます。ボタンを押すたびに、下記のように受信モードが切り替わります。

（録音中の表示）：音は聞こえません。
↓
FM (AUTO)
↓
FM (MONO)
↓
AM

メモ

- DIGITAL OPT. IN端子に接続した機器の音を聞くことはできません。
- CDからMDへの録音中にラジオ放送を聞く場合、状態によってはラジオ放送に雑音が入る場合があります。





CDの任意の1曲を録音する（1トラックシンクロ録音）

- 高速録音ができます。
- 高速録音中に、他のファンクションの音を聞くことができます。（裏再生機能 (☞ 87ページ))

1 **86ページ“ CDのすべての曲を録音する（オールトラックシンクロ録音）”の1〜3の操作をおこなう。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ⏮、⏭ ボタンを押して、曲番を選ぶ。**

3 **本体で操作するとき**

1 TRACK ボタンを押すたびに、

1Tr X4 REC? （4倍速）
↓
1Tr X2 REC? （2倍速）
↓
1Tr X1 REC? （等速）

と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。

リモコンで操作するとき

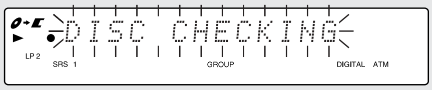
SRS ボタンを押すたびに、

ALLTr X4 REC?
↓
ALLTr X2 REC?
↓
ALLTr X1 REC?
↓
1Tr X4 REC?
↓
1Tr X2 REC?
↓
1Tr X1 REC?

と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- ディスクチェックモード (☞ 87ページ) に入り、ディスクの状態を確認します。



- 問題がなければ、自動的に録音を開始します。
- 4倍速（X4 SPEED)、2倍速（X2 SPEED）録音のときは、CDの音を聞くことはできませんが、他のファンクションの音を聞くことができます。（裏再生機能 (☞ 87ページ))
- “ REC ERROR ” 表示については87ページを参照してください。

録音を止めるには

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

- MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると “ TOC ” 表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

メモ

- 高速録音をおこなう際、ディスクによってはノイズが録音される場合があります。このような場合は等速で録音をおこなってください。

曲の途中でその曲の始めから録音する

- 本機をピックレックモードにすることにより、CDやチューナーなどで曲を聞きながら、曲の途中で録音操作をおこなえます。（ピックレック機能）
- ピックレック機能で録音できるのは、本機をピックレックモードに切り替えてピックレックをはじめたときからの内容です。曲の途中でピックレックモードにしたときは、その曲の頭から録音することができません。
- アナログソースなど、音源によってはピックレック機能がうまく働かない場合があります。その場合はすべて録音した後にMDの編集をおこなってください。（☞ 99ページ）

CDからのピックレックのはじめかた

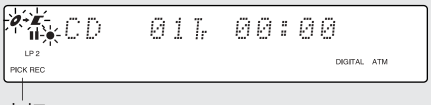
※ チューナーからのピックレックは、93ページをご覧ください。
※ 他の機器からのピックレックは、116ページをご覧ください。

1 CDとMDをセットして、ファンクションを“DVD/CD”にする。

- 86ページ“CDのすべての曲を録音する（オールトラックシンクロ録音）”の***1***～***3***参照してください。

2 MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを2回押して、“PICK REC”表示を点灯させる。

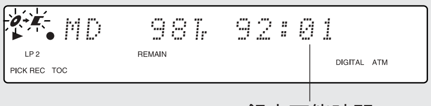
- ピックレック一時停止状態になります。
- 必要に応じて録音レベルを調節してください。（☞ 82ページ）



点灯

3 DVD▶/II ボタン、DVD▶ ボタンまたは MD▶/II ボタン、MD▶ ボタンを押す。

- “PICK REC”を表示後ピックレック可能時間が表示され、ピックレックモードになります。

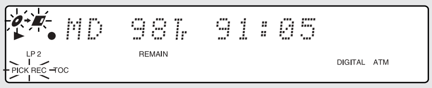


録音可能時間

4 ピックレック中の曲番を選択するとき

その曲番の再生が終わるまでに、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- “PICK REC”表示が点滅して、その曲番が選択されます。



- 曲番が変わると“PICK REC”表示が点灯に変わります。

ピックレック中の曲番を選択しないとき

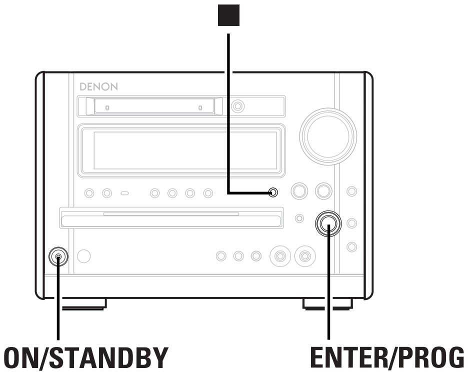
何も操作しない。

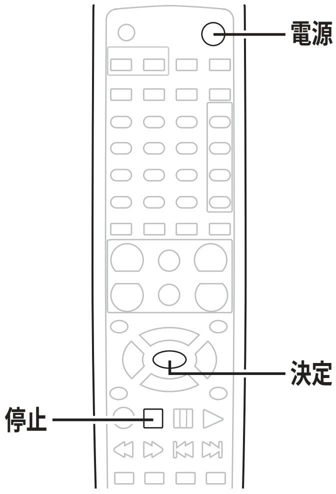
※“PICK REC”表示が点灯している曲番は選択されません。
※ 入力ファンクションが“DVD/CD”のときは、不要な曲番を **MULTI JOG** ダイヤルを右に回すか、**▶▶I** ボタンで次の曲番へ送ることができます。
- “PICK REC”表示が点灯中（曲番を選択していないとき）は、**MULTI JOG** ダイヤルを右に回すか、**▶▶I** ボタンを押してください。

※ ピックレックをおこなっている場合、曲の途中でも曲番が変わることがあります。
録音したい曲番は、すべて **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押してください。
※ 操作***4***で **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押した後で録音が不要になったときは、その曲番の選択中にもう一度、**ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押してください。
“PICK REC”表示が点灯に変わり、選択を取り消します。

メモ

- ピックレックをはじめてからのピックレック可能時間は、録音用MDの録音可能時間になります。できるだけ長時間録音できるMDを使用するとともに、ピックレック中はディスプレイの可能時間表示を確認して、残り時間に注意してください。
- ピックレック可能時間がなくなったときには、自動的に停止します。この場合は、90ページの“ピックレックの止めかた”によりMDへの書き込みを完了させてください。
- ピックレック可能時間が残っていても、ピックレックをはじめてからの曲番が36以上になると、“PICK REC”表示が2回点滅をくり返します。“PICK REC”表示が2回点滅した後は、録音する/しないの選択ができませんので、一度ピックレックを止めて、MDへの書き込みを完了させて再度ピックレックをはじめてください。





ピックレックの止めかた

1 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- 録音が停止して“P-REC OK?”が表示されます。

2 **録音する曲の選択がうまくいったとき**

ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- “P-REC EDIT”が表示されます。
- ピックレック中に **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押して、選択された曲番のみをMDに記録します。
- “P-REC EDIT”が表示されているときは、他の操作をおこなわないでください。
記録された内容が損なわれたり、正しく記録されない場合があります。

録音する曲の選択がうまくいかなかったとき

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

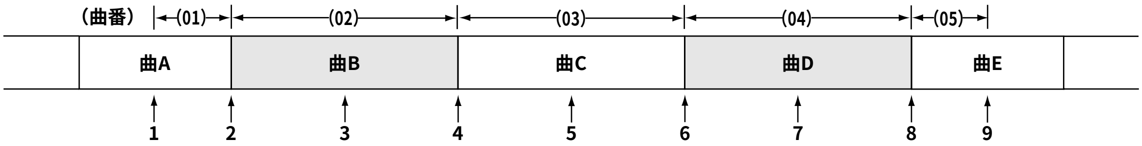
- “P-REC CANCEL”が表示され、ピックレックをはじめてから再生された曲番すべてがMDに記録されます。

※ ピックレック中に **ON/STANDBY** ボタンまたは **電源** ボタンで、スタンバイにした場合は、ピックレックをはじめてから再生された曲すべてがMDに記録されます。

※ ピックレックをはじめてから数秒で止めた場合でも“P-REC OK?”が表示されますが、1曲も録音されていないことがあります。

ピックレックの使用例

音楽CDをピックレックする例を説明します。



1 **89ページの操作*1*～*3*をおこなって、ピックレックをはじめる。〈曲番：01〉**
- "PICK REC" 表示が点灯します。

2 **曲番が変わる。〈曲番：02〉**
- "PICK REC" 表示は点灯のままです。

3 **曲Bを録音するとき**
ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。
- "PICK REC" 表示が点滅になります。

4 **曲番が変わる。〈曲番：03〉**
- "PICK REC" 表示が点灯に変わります。

5 **曲Cを録音しないとき**
何も操作しない。
- "PICK REC" 表示は点灯のままです。

6 **曲番が変わる。〈曲番：04〉**
- "PICK REC" 表示は点灯のままです。

7 **曲Dを録音するとき**
ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。
- "PICK REC" 表示が点滅になります。

8 **曲番が変わる。〈曲番：05〉**
- "PICK REC" 表示が点灯に変わります。

9 **音楽CDが終了したら、90ページの操作*1*、*2*の "録音する曲の選択がうまくいったとき" をおこなって、ピックレックを止める。**
- MDには曲Bと曲Dだけが録音されます。
- 曲番は曲Bが01、曲Dが02に編集されます。

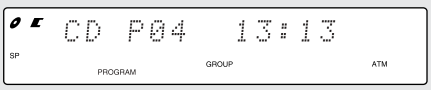
メモ
- アナログ入力の場合、操作***2***、***4***、***6***、***8***で約3秒以上無音部がないと自動的に曲番が変わりません。
また、ラジオ放送などの場合は番組の内容や電波の状態により、ピックレックが正常に働かない場合があります。この場合は、ピックレック終了後、90ページの "ピックレックの止めかた" の操作***2***の "録音する曲の選択がうまくいかなかったとき" をおこなってから、105～109ページの "通常編集機能" を参照して、分割と消去をおこなってください。

プログラム録音

- CDの好きな曲を好きな順に登録して、MDに録音することができます。
- 録音終了後もプログラムは残りますので、同じ順番で再生したいときに便利です。

1 **録音用MDを入れる。**

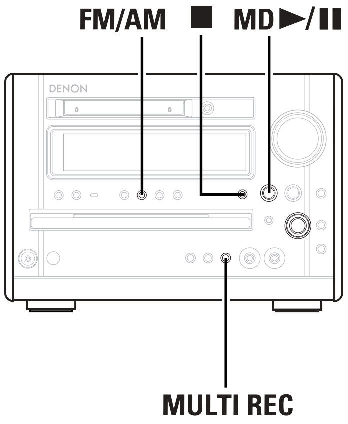
2 **再生するCDを入れてプログラムする。**
(☞ 77ページ)

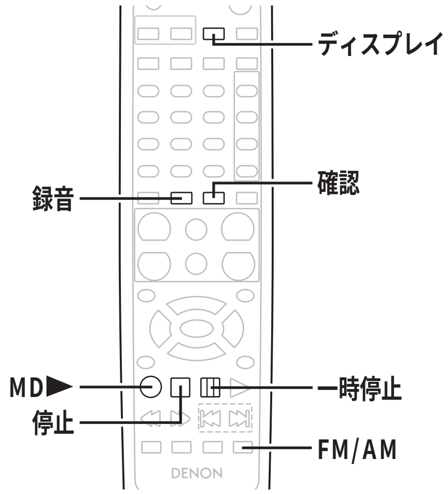


3 **通常録音をおこなうとき**
83ページの操作*4*、*5*をおこなってください。

高速録音をおこなうとき
- オールトラックシンクロ録音のみ可能です。
86ページの操作***4***、***5***をおこなってください。

※ 高速録音のときは、裏再生機能が可能です。
(☞ 87ページ)





録音状態を確かめる

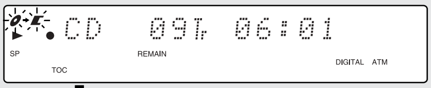
DVD/CD/ビデオCD/MP3ディスクを録音しているとき

録音中、ディスプレイ ボタンを押すたびに、タイトル、チャプター、トラックの経過時間、残量時間が確認できる。（☞ 67ページ）

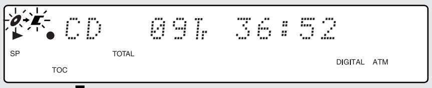
CDを録音しているとき

録音中、ディスプレイ ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が切り替わります。

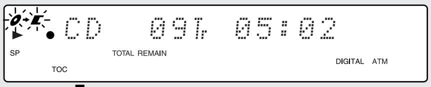
① 再生中の曲の残り時間



② 全体の経過時間



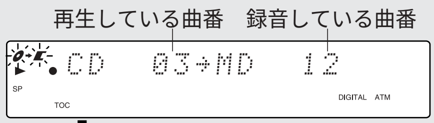
③ 全体の残り時間



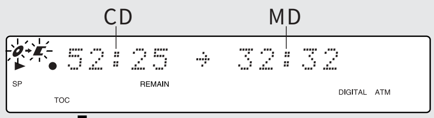
解除

録音中、確認 ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が切り替わります。

① CDとMDの曲番



② CD全体の残り時間とMDの録音可能時間



解除

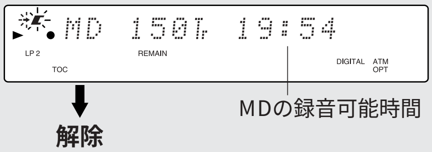
- **確認** ボタンを押す前に **ディスプレイ** ボタンを押すと、その時の表示により、CDのトラック残量時間、全体の残り時間を表示します。
- DVD/ビデオCD/MP3ディスクを録音しているときは、
  - ① MDの曲番
  - ② MDの録音可能時間

  のみの表示となります。

『FM/AM』、『TAPE』、『AUX1』、『AUX2』、『PORTABLE』、『OPT』を録音しているとき

録音中、 確認 ボタンを押すたびに、ディスプレイの表示が切り替わる。

【例】“ OPT ” をデジタル録音しているとき



ラジオ放送をMDへ録音する

1 **録音用MDを入れる。**

2 **FM/AM ボタンを押す。**
録音したい放送局を受信する。
（☞ 61ページ）

3 **MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押す。**
- 通常録音一時停止状態になります。

4 **MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押す。**
- 録音が開始されます。

一時的に録音を止めるには

録音中に MD►/II ボタンまたは 一時停止 ボタンを押す。

録音一時停止状態から録音を続けるには

MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押す。

録音一時停止状態から録音を続けるには

■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

- TOC情報を書き込みます。
書き込みをはじめると “ TOC ” 表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
・ディスクを排出したとき
・他の音源（ソース）を選択したとき
・さらに編集作業を実施したとき
（“ 編集内容の取り消し ” は除く）
・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

MDへの録音可能時間を確かめるには

本ページ “『FM/AM』、『TAPE』、『AUX1』、『AUX2』、『PORTABLE』、『OPT』を録音しているとき ” をご覧ください。

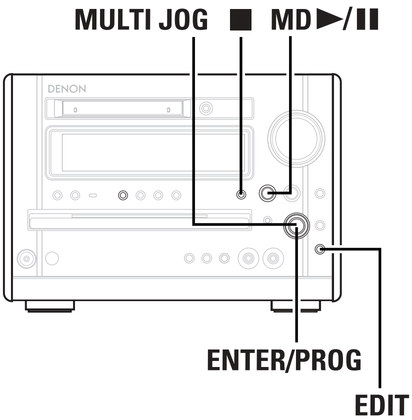
ピックレックをおこなうには

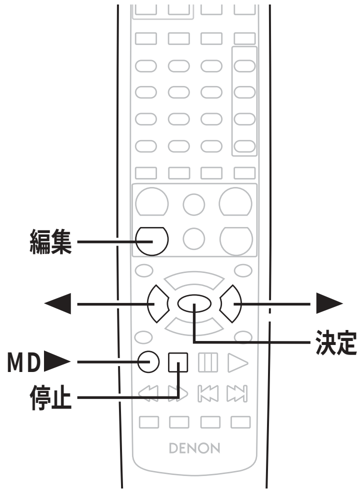
操作3で、 MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを2回押して “ PICK REC ” 表示を点灯させ、 MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押す。

※ 録音している番組が終了したら、90ページの操作***1***、***2*** をおこなってピックレックを終了させてください。

メモ

- ラジオ放送をピックレックする場合は番組の内容や電波の状態により、ピックレックが正常に働かない場合があります。
- ピックレックでの曲の選択がうまくいかなかったときは、ピックレック終了後、90ページの “ ピックレックの止めかた ” の操作***2*** の “ 録音する曲の選択がうまくいかなかったとき ” をおこなってから、105〜109ページの “ 通常編集機能 ” を参照して、分割と消去をおこなってください。
- ATM ONで録音すると、録音する番組によっては短い時間の間に曲数が増え続ける場合があります。（トーク番組など）
チューナーを録音するときは、ATM OFFで録音することをおすすめします。（☞ 81ページ）





MDグループ機能について

- MDグループ機能とは、MDに収録されている曲をグループ管理する機能です。
- 本機では、MDLP（MD LONG PLAY）フォーマット対応により、通常録音時間の2倍長または4倍長のステレオ録音ができます（MDLP録音)。しかし、従来よりも多くの曲が録音できるようになりましたが、再生するときに曲を見つけるのが大変です。このために録音された曲をグループに分割して管理し、簡単に再生、検索ができるようにしました。
- 本機のグループ機能は下記のような操作ができます。

1．グループを作る

・MDに収録されている連続した複数の曲をグループとして登録し、グループを作ります。
・本機でMD1枚に登録できるグループ数は最大99グループです。
・収録後のグループ登録の変更などができます。

2．聞きたいグループを再生する

・1グループ再生：1グループを再生する場合の機能です。
・グループプログラム再生：登録したグループをプログラム再生する場合の機能です。

3．グループの中の曲を変更およびグループを解除する

・グループに登録されている曲を消去、分割、結合および移動できます。
・グループを解除できます。

4．グループのタイトルをつける、変更する

・登録したグループにグループ名をつけることができます。
・登録したグループのグループ名を変更できます。
・本機で入力できるグループ名の文字数は1グループあたり100文字です。
（ディスク名、グループ名および曲名を合わせて1700文字まで入力できます。）

メモ

- **グループ機能を搭載していない機器での編集**
  グループ登録したディスクをグループ機能が搭載されていない機器で1曲消去、曲の移動などの編集をしないでください。グループとして登録した曲番が編集前と異なり、グループ機能が正しく動作しなくなります。
- **グループ機能を搭載していない機器でのグループ情報の表示**
  グループ情報は、実際はディスク名情報の格納部に書かれています。そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスク名を表示させると以下のような表示になりますが、故障ではありません。
  0；ディスク名//1-5；グループ名1//6-9；グループ名2//…分割と消去をおこなってください。
- **本機のグループ機能の制限**
  本機で扱えるグループは最大99グループです。
  この制限を超えたMDを使用した場合、また、曲番登録のないグループはグループとして認識しません。
  本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。
- **グループタイトル**
  1つのグループに多くの文字入力をすると、登録できるグループ数が減ってしまいます。99グループすべてを登録してタイトルを付けるには、“ 1グループ10文字前後の文字入力 ” をおすすめします。

グループを作る

●グループとして管理されていない連続している曲を選んでグループにします。
1曲でもグループにすることができます。
●作ったグループ以降のグループ番号は、自動的に消えます。

[例] 1曲から10曲までの連続した曲の1曲目から5曲目を1つのグループにするとき

グループされていない連続した曲　　　　　グループ1

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ──► [1 2 3 4 5] 6 7 8 9 10

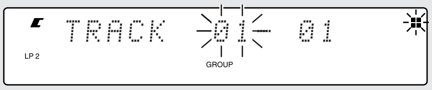
1 **編集するMDをMD挿入口に入れる。**

2 **MD►/❚❚ ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

●停止状態になります。

3 **EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“*NEW GROUP?*”を表示させる。**

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



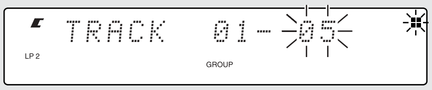
5 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、グループ登録したい最初の曲番を表示させる。**

6 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

●最初の曲番が確定されます。



7 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、グループ登録したい最後の曲番を表示させる。**

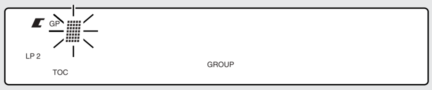


8 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

●“*COMPLETE*”表示のあと“*GP NAME IN?*”が表示されます。

9 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

● グループタイトル入力モードになります。



※ タイトルの入力のしかたは、“ディスク名をつけるには”(☞ 101ページ)の操作を参照してください。

10 **EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

11 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

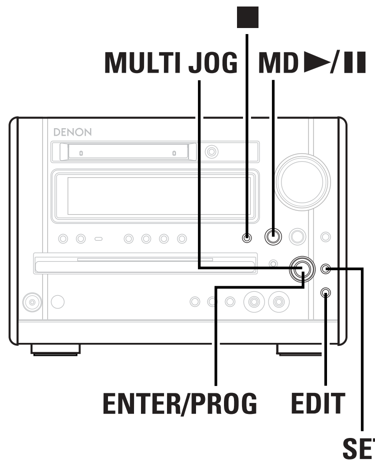
※ 下図のようにグループにする最初の曲(3曲目)と最後の曲(12曲目)は、グループ管理されていなくても、間にグループがはさまれているとグループを作ることはできません。

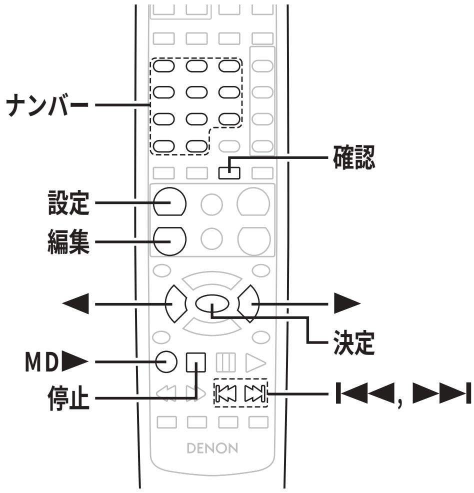
1 2 (3) 4 5 [(グループ1) 6 7 8 9] 10 11 (12)

※ このような場合は、“グループ編集機能”(☞ 109ページ)の操作をして、グループを解除してからグループを作り直してください。

メモ

- 一度グループに登録された曲は選択できません。
- 99グループがすでに登録されている場合、“*GROUP OVER*”を表示します。
- ディスク名、グループ名の文字数に制限があるため、99グループ登録できない場合があります。(“*TITLE FULL*”や“*CANNOT EDIT*”が表示されます。)
- 全トラックがすでにグループ登録されている場合は、“*CANNOT EDIT*”が表示されます。





グループの曲を変更する

- グループ内の曲を変更できます。
- グループとして管理されていない曲の前後にグループがある場合、グループにすることができます。

[例] グループ2（4曲目〜8曲目）を3曲目〜9曲目に変更するとき

グループ1　グループ2　　　　グループ1　グループ2

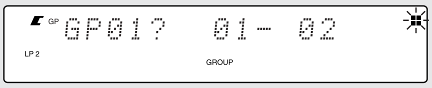
[1 2] 3 [4 5 6 7 8] 9 10 ──► [1 2] [3 4 5 6 7 8 9] 10

1 **編集するMDをMD挿入口に入れる。**
- ディスプレイの“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。
  消灯しているときは、“ グループとして録音したくないときには ”（☞ 79ページ）の操作**3** で“ ON ”を選択してください。

2 **MD►/❚❚ ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**
- 停止状態になります。

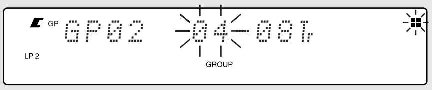
3 **EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“ *GP MODIFY?* ”表示させる。**

4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



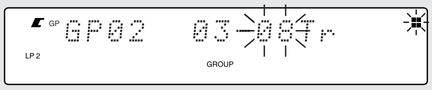
5 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、変更したいグループを選択する。**

6 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

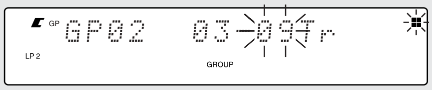


7 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、変更したい最初の曲番を表示させる。**

8 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



9 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、変更したい最後の曲番を表示させる。**



10 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**
- “ *COMPLETE* ”表示後、停止状態になります。

11 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

グループを再生する

1グループのみを聞く

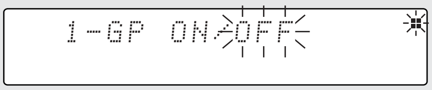
まず“グループを作る”（☞ 95ページ）の操作をおこなってください。

1 **グループ登録したディスクをMD挿入口に入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“MD”になり、停止状態になります。

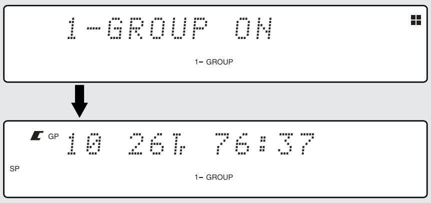
2 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“1-GROUP?”を表示させる。**

3 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“ON”を点滅させる。**

5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



- グループ登録のないMDのときは“NO GROUP”が表示されます。

6 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄、►►I ボタンを押して、グループを選ぶ。**

※ **確認** ボタンを押してもグループを選ぶことができます。

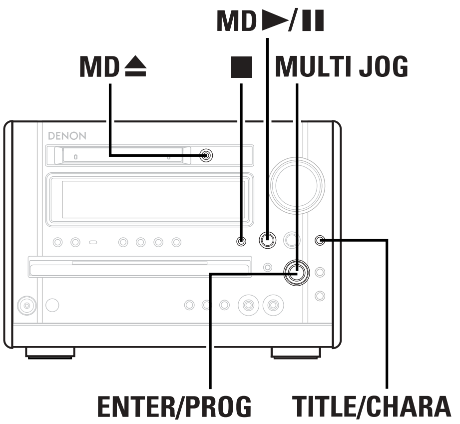
7 **ENTER/PROG ボタン、決定 ボタンまたは MD►/II ボタン、MD► ボタンを押す。**

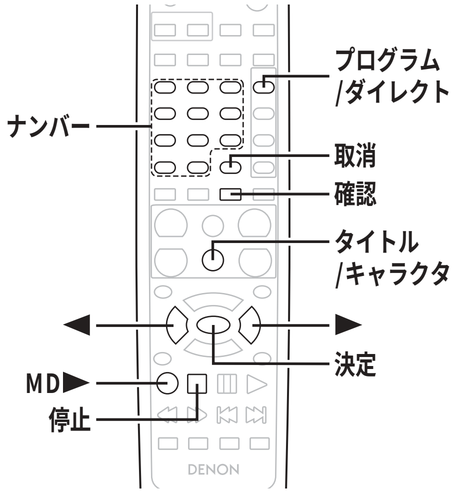
- 選んだグループに登録されている曲が再生され、再生が終わると自動的に停止します。

※ 再生中は、**MULTI JOG** ダイヤルを回すか、**I◄◄**、**►►I** ボタンを押すと再生中のグループ内の曲番を頭出しします。
※ 再生中に **確認** ボタンを押すと、次のグループに切り替わります。

メモ

- 1-GROUPモードは、プログラムまたはランダムモードにすると自動的に解除されます。
- 1-GROUPモードは、**ナンバー** ボタン“**1**”～“**+10**”を使ってダイレクト再生をすると解除されます。





グループプログラム再生

- 最大25グループまでプログラムできます。
- まず“グループを作る”（☞ 95ページ）の操作をおこなってください。

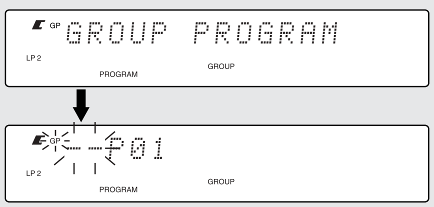
1 **グループ登録したディスクをMD挿入口に入れ、MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“MD”になり、停止状態になります。

2 **ENTER/PROG ボタンまたは プログラム/ダイレクト ボタンを押して“GROUP PROGRAM”を選ぶ。**

- ボタンを押すたびに次のようになります。

MD停止状態（解除）
↓
TRACK PROGRAM
↓
GROUP PROGRAM ―― これを選ぶ。



3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◀、▶ ボタンを押して、聞きたいグループを指定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- **ナンバー** ボタン“**1**”～“**＋10**”でも指定できます。

グループを間違えたとき

- 登録中に **取消** ボタンを押すと、最後に選んだグループが取り消されます。
  続けて押すと、順に取り消されます。

4 **操作*3*をくり返して、聞きたいグループを順に指定する。**

5 **MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押す。**

メモ

- 同じグループを登録することはできません。
- すべてのグループを登録後に操作***3***をおこなうと、“FULL”が表示されます。

登録した順番を確かめるには

確認 ボタンを押す。

- 登録したグループが順に表示されます。

登録を取り消すには

停止中に ENTER/PROG ボタンまたはプログラム/ダイレクト ボタンを押す。

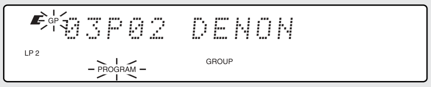
- **MD⏏** ボタンを押してMDを取り出したときも登録は取り消されます。

プログラム内容を訂正するには

[例] 2番目にプログラムした3グループを
1グループに訂正するとき

1 **停止中に 確認 ボタンを押して、訂正するグループを表示させる。**

●" PROGRAM " 表示が点滅します。



2 **" PROGRAM " 表示が点滅している間に MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して " 01 " を表示させたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

※ **ナンバー** ボタン" **1** "を押しても訂正できます。

メモ

● すべてのグループが登録されている場合、訂正はできません。

グループ名の確認方法

停止中のとき

確認 ボタンを押す。

● ボタンを押すたびに次のようになります。

→ **MD停止状態（解除）**
↓
グループ1のグループ名をスクロール後、登録曲の範囲を表示
↓
（グループ2〜最後のグループ）

再生中のとき

TITLE/CHARA ボタンまたは タイトル/キャラクタ ボタンを押す。

● ボタンを押すたびに次のようになります。

→ **MD再生状態（解除）**
↓
再生曲の曲名を表示
↓
再生曲のグループ名を表示

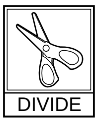
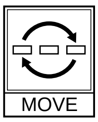
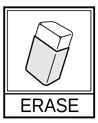
MDの編集のしかた

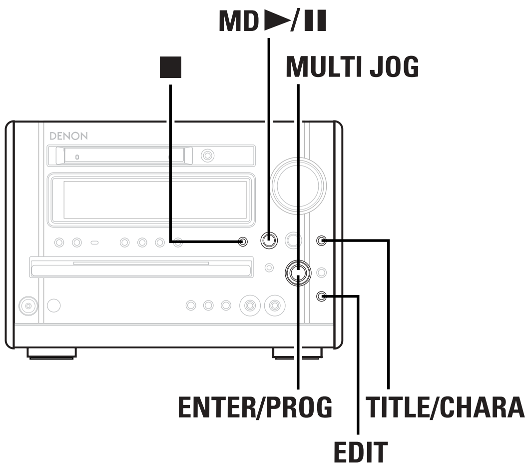
編集機能を使用すると、曲番を付けたり、曲をつないだり、不要な部分を消したりすることができます。
また、MDや曲ごとにタイトルを付けることもできます。
いろいろなMDの便利な編集操作を存分にお楽しみいただけます。

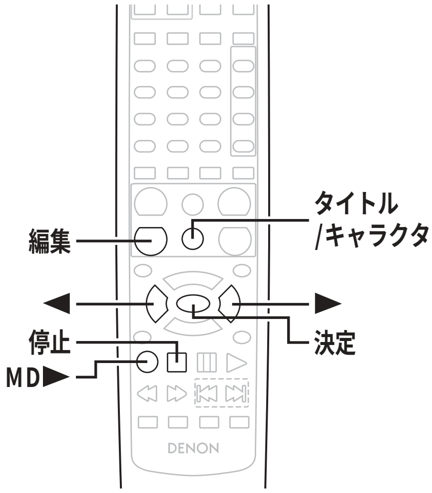
MD編集機能の紹介

本機の編集機能には、通常編集機能とグループ編集機能があります。

■ 通常編集機能

	項　目	機　　能	参照ページ
1	 DIVIDE	曲の途中や必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。	105
2	 COMBINE	トラックマークを削除して指定した曲とその1つ前の曲を1つの曲にまとめます。	106、107
3	 MOVE	曲を移動します。	107
4	 ERASE	**1曲消去**　：消したい曲を選んで消去します。 **全曲消去**　：MDの内容をすべて消去します。	108、109





■ **グループ編集機能**

		項　目	機　　能	参照ページ
※	1	GP NAME IN?	指定したグループのグループ名を入力します。	103
	2	NEW GROUP?	グループとして管理されていない連続している曲を選んでグループにします。1曲でもグループにすることができます。	95
※	3	GP MODIFY?	グループ内の曲を変更できます。	96
※	4	GP CANCEL?	指定したグループのグループ管理を解除します。	109
※	5	GP ALL CANCEL?	MD内のすべてのグループのグループ管理を解除します。	110
※	6	G-NAME ERASE?	指定したグループのグループ名を消去します。	104
※	7	GP ERASE?	選んだグループを消去します。	110、111

※は次の場合、表示されません。
① グループモードがオフのとき（☞ 79ページ）
② グループ録音されていないMDを編集するとき

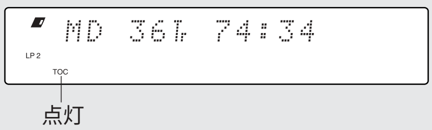
メモ

- 本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。
- グループ録音されたMDをグループ機に対応していない他の機器で再生すると、ディスク名にグループ管理のために数字・記号が表示されます。この数字・記号を編集により削除すると、グループ登録が消去されます。ご注意ください。
- 編集およびタイトル入力をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じて録音できる状態にしてください。（☞ 10ページ）
- MDが " PROGRAM " または " RANDOM " モードのときは、**EDIT** ボタンまたは **編集** ボタンを押しても、編集モードに入れません。

編集内容を取り消す

次の操作により、編集内容を取り消すことができます。

1 **編集後、ディスプレイの " TOC " 表示が点灯していることを確認する。**



2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

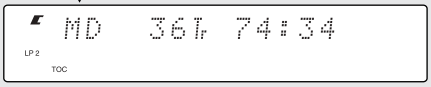


3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◀、▶ボタンを押して、" EDIT UNDO? " が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



4 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、編集内容の取り消しを確定する。





※ TOC情報の書き替えをおこなったときは、編集内容の取り消しはできません。
（本機をスタンバイ状態にしたとき、
■ ボタンまたは **停止** ボタンを押したとき、
およびディスクを排出したときなど）

※ 連続して2回以上編集をおこなった場合は、最後に実施した編集内容のみ取り消されます。

※ 停電したときは、編集内容が取り消されます。

録音したMDにタイトルをつける

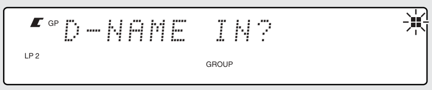
- 英大文字、英小文字、特殊文字、カタカナで曲名やディスク名を入力することができます。
- 曲名やディスク名、グループ名はそれぞれ100文字まで入力することができます。
（グループ名の文字入力制限については、94ページをご覧ください。）

ディスク名をつけるには

1 MD挿入口にディスク名をつけるMDを入れる。MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。

- ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。

2 停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。



3 “D-NAME IN?”が表示されているときに、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。



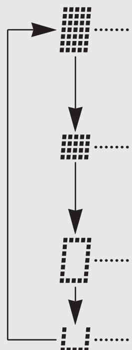
- タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。

4 TITLE/CHARA ボタンまたは タイトル/キャラクタ ボタンを押して入力モードを選び、MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押した後に、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押してタイトル文字を入力する。

- 本機で入力できても他の機種では表示されない特殊文字がありますので、ご注意ください。


など

- **TITEL/CHARA** ボタンまたは **タイトル/キャラクタ** ボタンを押すたびに、入力モードが変わります。
（カーソルの形が変わります。）



英大文字、特殊文字入力モード
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
空白！”＃＄％＆’() ＊+，－．／：；
<=>？@［¥］＿｀ {}˜ ■。「」、・

英小文字、特殊文字入力モード
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
空白！”＃＄％＆’() ＊+，－．／：；
<=>？@［¥］＿｀ {}˜ ■。「」、・

数字入力モード
0123456789

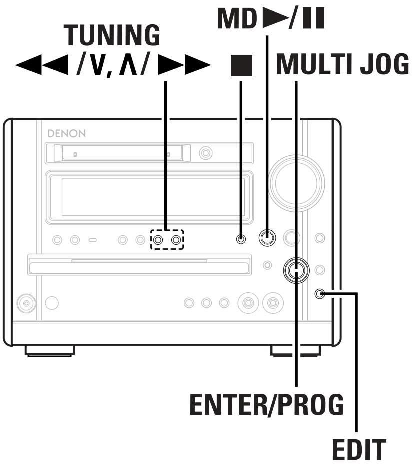
カタカナ文字入力モード
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワン゛゜ヲァィゥェォャュョッー

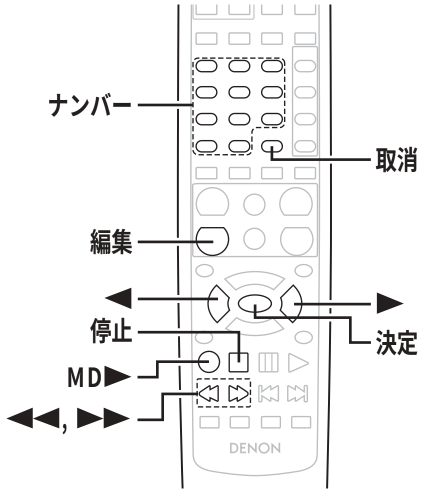
※ ディスク名には“ // ”は使用できません。

5 文字の入力が終わったら、EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押して確定する。

- 確定したディスク名がスクロールします。

6 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。





文字を消去するには

操作5 で確定する前に ◀◀ /V 、 Λ/ ▶▶ ボタンまたは ◀◀、▶▶ ボタンを押して、消したい文字にカーソルを合わせてから 取消 ボタンを押す。

文字を修正するには

修正したい文字を消去してから、もう一度文字を入力する。
ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

※ 濁音（゛）または半濁音（゜）を付けた文字を消去するときは、濁音または半濁音も合わせて消去されます。

メモ

- 本機でつけたカタカナのタイトルは、カタカナ入力に対応していない他の機器では正しく表示されません。また、一部のカタカナ入力対応機器では正しく表示されない場合があります。
- 他のMDレコーダーで記録されたカタカナと特殊記号を組み合わせたタイトルは、正しく表示されない場合があります。このような場合は、本機でタイトルを再入力し直すことをおすすめします。
- ディスク名と曲名は、それぞれ100文字まで入力することができます。（グループ名の文字数は100文字です。）100文字を超えるとディスプレイに“ TITLE FULL ”が表示されます。
- ディスク名、グループ名と曲名を合わせて1700文字まで入力できます。文字数を超えるとディスプレイに“ TITLE FULL ”が表示されます。但し、本機で2倍/4倍長時間録音（LP2/LP4）した曲はその情報（LP：）が記録されるため、1700文字以下でも“ TITLE FULL ”が表示されることがあります。
- カタカナ文字は1文字当たりのデータ量が多いため、入力できる文字数が英数字に比べて少なくなります。

リモコンのタイトル入力文字対応表

操作4 でタイトル文字を入力する。

- **ナンバー** ボタン“ 1 ”～“ 0 ”を押してもできます。

ボタン	英大文字	英小文字	数字	カタカナ
1 ア			1	アイウエオァィゥェォ゛゜ー
2 カ ABC	ABC	abc	2	カキクケコ
3 サ DEF	DEF	def	3	サシスセソ
4 タ GHI	GHI	ghi	4	タチツテトッ
5 ナ JKL	JKL	jkl	5	ナニヌネノ
6 ハ MNO	MNO	mno	6	ハヒフヘホ
7 マ PQRS	PQRS	pqrs	7	マミムメモ
8 ヤ TUV	TUV	tuv	8	ヤユヨャュョ
9 ラ WXYZ	WXYZ	wxyz	9	ラリルレロ
0 ワヲン @	特殊文字		0	ワヲン

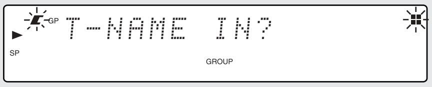
【特殊文字で表示するキャラクタ】

- **ナンバー** ボタン“ 0 ”で選択します。

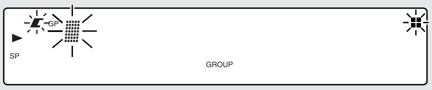
空白		!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	＋
,	ー	.	／	:	;	＜	＝	＞	?	@	[	¥
]	＿	`	{	¦	}	~	■	。	「	」	、	・

曲名をつけるには

1 **名前をつける曲の再生中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**



2 **“T-NAME IN?”が表示されているときに、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



- タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。

3 **タイトルを入力する。**

- タイトルの入力のしかた以降は、“ディスク名をつけるには”（☞ 101ページ）の操作**4**～**6**を参照してください。

※ 停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲名をつけることができます。
※ 名前を付ける曲の再生が終わり次の曲になると、タイトル入力モードは解除されます。
※ 文字の消去・修正は、102ページを参照してください。

グループ名をつけるには

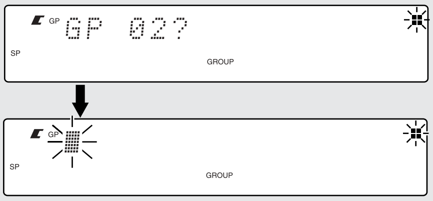
1 **MD挿入口にグループ名をつけるMDを入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“MD”になり、停止状態になります。
- ディスプレイの“GROUP”表示が点灯していることを確認してください。消灯しているときは、“グループとして録音したくないときには”（☞ 79ページ）の操作**3** で“ON”を選択してください。

2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“GP NAME IN?”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、グループ名を付けたいグループを選び、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



- タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。

5 **タイトルを入力する。**

- タイトルの入力のしかた以降は、“ディスク名をつけるには”（☞ 101ページ）の操作**4**～**6**を参照してください。

※ 文字の消去・修正は、102ページを参照してください。

タイトルを消去する

ディスク名、曲名やグループ名を消去することができます。

ディスク名を消去するには

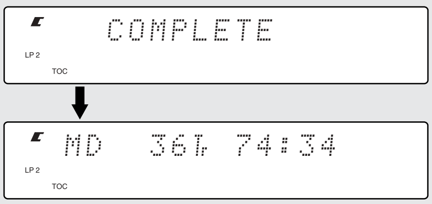
1 **MD挿入口にディスク名を消去したいMDを入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“MD”になり、停止状態になります。

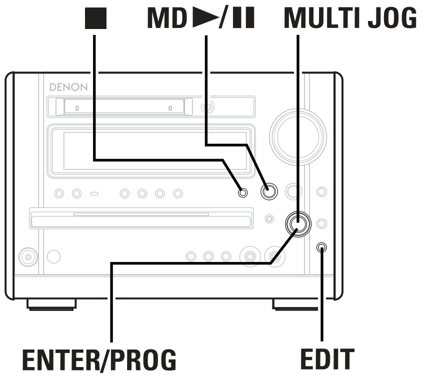
2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

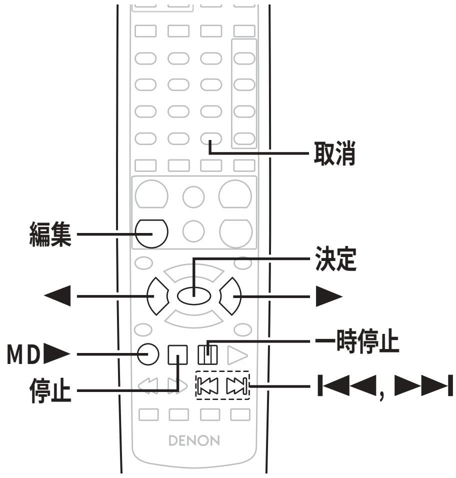
3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“D-NAME ERASE?”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

4 **“ERASE OK?”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



5 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**





曲名を消去するには

1 **MD挿入口に曲名を消去したいMDを入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが " MD " になり、停止状態になります。

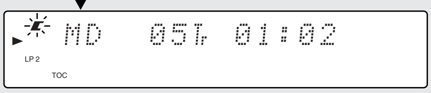
2 **停止中に MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄、►►I ボタンを押して曲名を消去したい曲を表示させ EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、" T-NAME ERASE? " が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- " ERASE OK? " が表示されます。

4 **" ERASE OK? " が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**





5 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ 曲名を消去したい曲の再生中や、一時停止中にも曲名を消去することができます。
※ 名前を消去する曲の再生が終わり、次の曲になるとタイトル消去モードは解除されます。

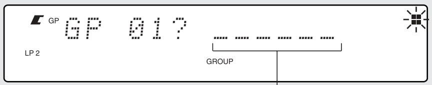
グループ名を取り消すには

1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが " MD " になり、停止状態になります。
- ディスプレイの " GROUP " 表示が点灯していることを確認してください。消灯しているときは、" グループとして録音したくないときには " （☞ 79ページ）の操作**3** で " ON " を選択してください。

2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

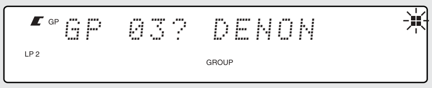
3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、" G-NAME ERASE? " が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



グループ名を表示

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、グループ名を消去したいグループを選ぶ。**

［例］グループ3のグループ名を消去したいとき



5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

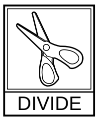
- " ERASE OK? " が表示されます。

6 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- "COMPLETE"表示後、停止状態になります。

7 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。

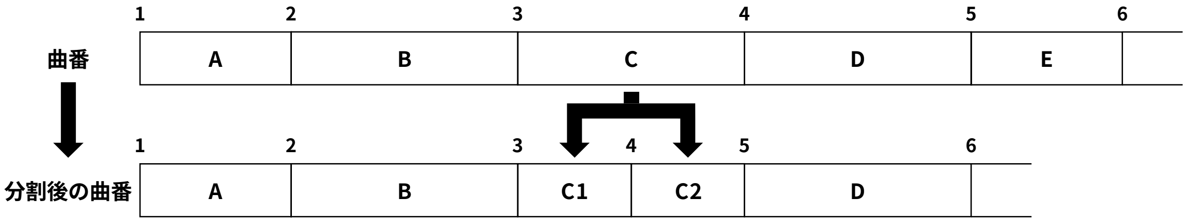
通常編集機能



- 録音後に曲を分割して、曲番を付けることができます。
- 好きなところで曲番を付けることができ、選曲を簡単におこなうことができます。

曲を分割するには

[例] 3曲目を分割するとき

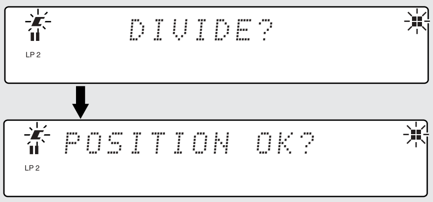


1 MDを再生中に、曲を分けたいところで、MD►/❚❚ ボタンまたは 一時停止 ボタンを押して、一時停止させる。

2 一時停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。

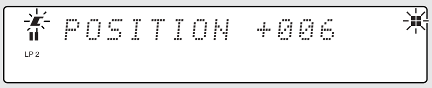
3 MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、"DIVIDE?"が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- 曲を分割する部分が数秒間くり返し再生されます。

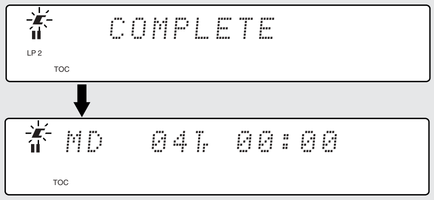


4 MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、分割する位置を移動させる。

- "±ポイント数 Point"が表示されます。
- 微調整できる範囲は、最大−255〜+255ポイントまでです。
- 微調整後の分割する部分が数秒間くり返し再生されます。



5 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、曲の分割を確定する。



6 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。

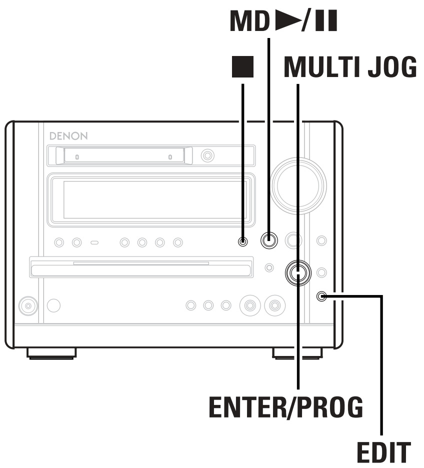
※ 曲名が付いている曲を分割したときは、分割した両方の曲に同一の曲名が付きます。

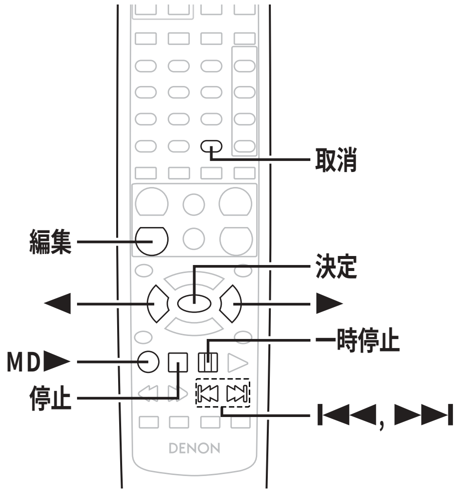
曲の分割を止めるには

操作5の前に MD►/❚❚ ボタン、MD► ボタン、■ ボタン、停止 ボタンまたは 取消 ボタンを押す。

分割した曲を元に戻すには

106、107ページの"曲を結合するには"を参照してください。



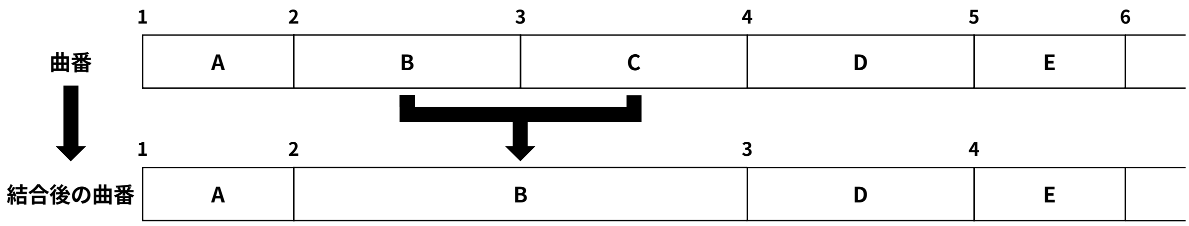




● 連続した2つの曲をつないで、1曲にすることができます。

曲を結合するには

[例] 2曲目と3曲目をつないで、1曲にするとき

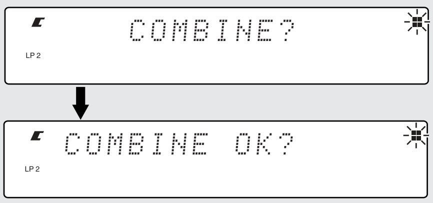


1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD▶/❚❚ ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

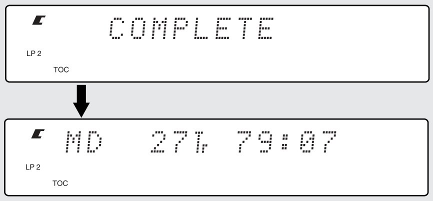
● ファンクションが " MD " になり、停止状態になります。

2 **停止中に MULTI JOG ダイヤルを回すか、◀◀、▶▶ ボタンを押して結合する後ろの曲を表示させたら、EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◀、▶ ボタンを押して、" *COMBINE?* " が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



4 **もう一度、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、曲の結合を確定する。**



5 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ グループ名/曲名は結合した2つのグループ/曲の前のグループ名/曲名が付きます。
但し、そのグループ/曲にグループ名/曲名が付いていないときはグループ名/曲名が付きません。

※ 一時停止中でも曲を結合することができます。この場合、一時停止している曲とその前の曲が結合されます。

曲の結合を止めるには

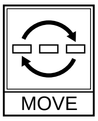
操作4の前に、 ■ ボタン、 停止 ボタンまたは 取消 ボタンを押す。

結合した曲を元に戻すには

105ページの“ 曲を分割するには ”を参照して ください。

メモ

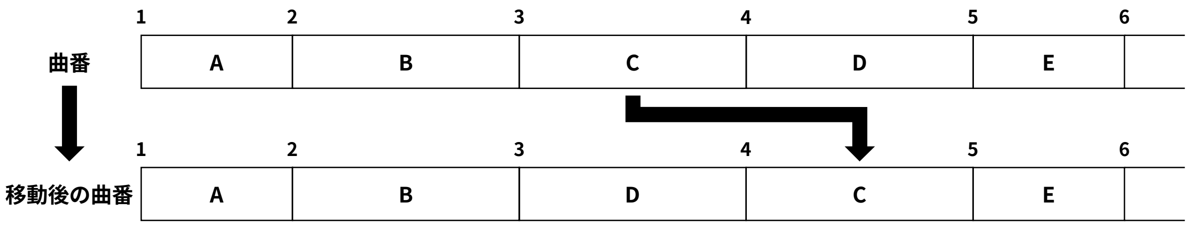
- デジタル入力から録音された曲とアナログ入力から録音された曲を結合することはできません。
- 15秒以下の短い曲では、結合できないことがあります。
  （操作**3**で **ENTER/PROG** ボタンまたは **決定** ボタンを押したときに、“ CANNOT JOINT ”が表示されます。）
- 録音モード（SP/LP2/LP4）が異なる曲を結合することはできません。
- 離れた2つの曲を結合するには、あらかじめ“ MOVE ”を使って2つの曲を連続させてから結合させてください。



- 移動させたい曲を選んで、目的の曲番へ移動します。
  前後の曲番は自動的に調節されます。

曲を移動するには

［例］ 3曲目を移動するとき

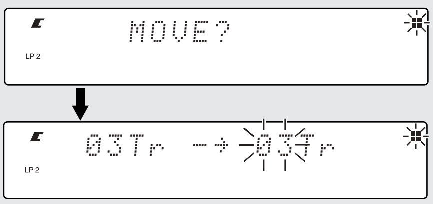


1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD▶/II ボタンまたは MD▶ ボタンを押してから、 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

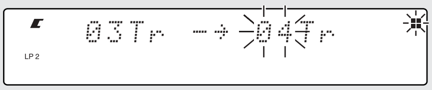
- ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。

2 **停止中にMULTI JOG ダイヤルを回すか、I◀◀、▶▶I ボタンを押して移動したい曲番を表示させたら、 EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

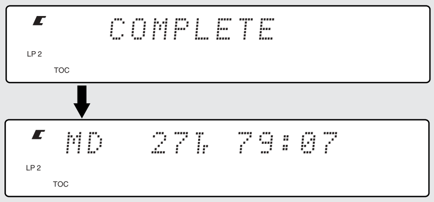
3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して、“ MOVE? ”が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して、移動したい曲番を選ぶ。**



5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、曲の移動を確定する。**

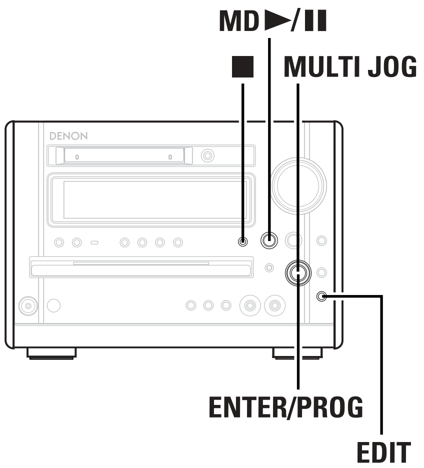


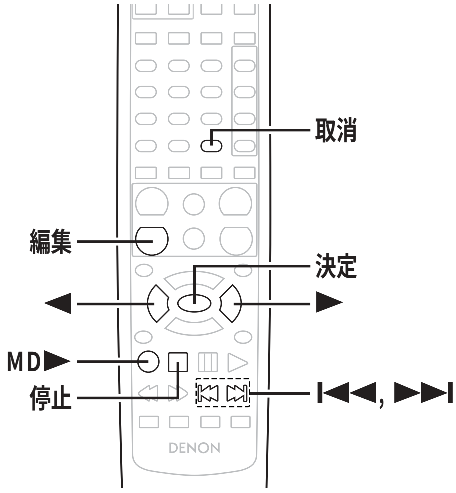
6 **■ ボタンまたは 停止 ボタン押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

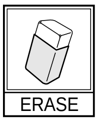
※ 一時停止中でもその曲を移動することができます。

曲の移動を止めるには

操作5の前に、 ■ ボタン、停止 ボタンまたは 取消 ボタンを押す。



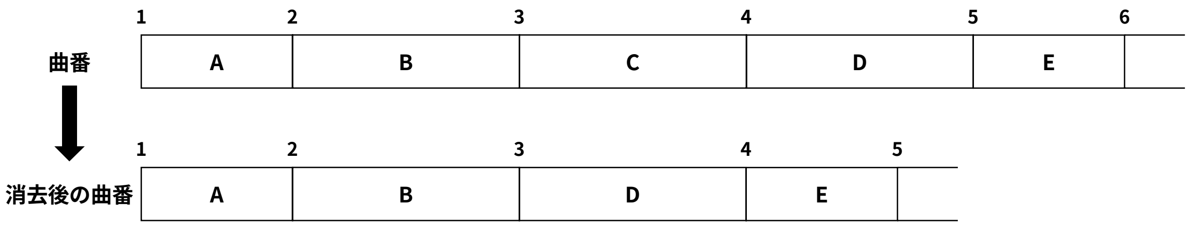




●不要な曲を消去します。

1曲ずつ曲を消去するには

[例] 3曲目を消去するとき

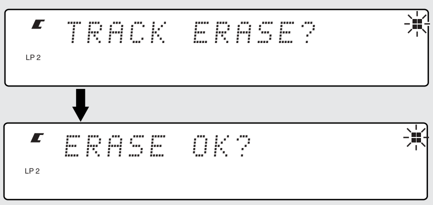


1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD►/❚❚ ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

●ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。

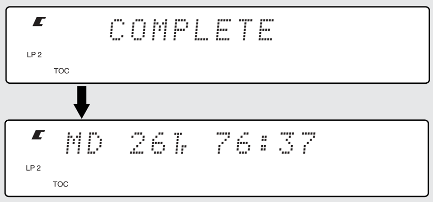
2 **停止中に MULTI JOG ダイヤルを回すか、I◄◄、►►I ボタンを押して消去したい曲番を表示させたら、 EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、“ *TRACK ERASE?* ”が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



4 **もう一度、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押して、1曲消去を確定する。**

●動作が完了すると、停止状態になります。
●曲が消去されると、消去された曲の後ろの曲番が順に前詰めされた番号になります。

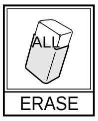


5 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ 一時停止中の曲を消去することができます。その場合、一時停止中に **EDIT** ボタンまたは **編集** ボタンを押して操作***2***からはじめてください。
動作が完了すると、消去した次の曲番の頭で一時停止状態になります。

1曲消去を止めるには

操作*4*の前に、 ■ ボタン、 停止 ボタンまたは 取消 ボタンを押す。



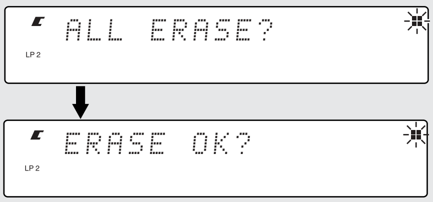
すべての曲を消去するには

1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD►/❚❚ ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

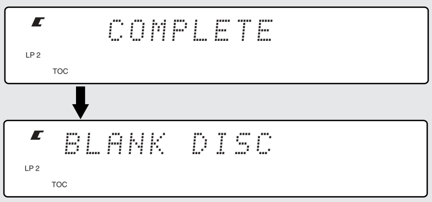
- ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。

2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“ ALL ERASE? ”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



4 **もう一度、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押し、全曲消去を確定する。**



5 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

※ 全曲消去すると、同時にディスク名も消去されます。

全曲消去を止めるには

操作4の前に、■ ボタン、停止 ボタンまたは 取消 ボタンを押す。

メモ

- 一度消去された曲はTOC情報の書き替えをおこなう前であれば、100、101ページの“ 編集内容を取り消す ”で元に戻すことができますが、必ず確認してから消去してください。

グループ編集機能

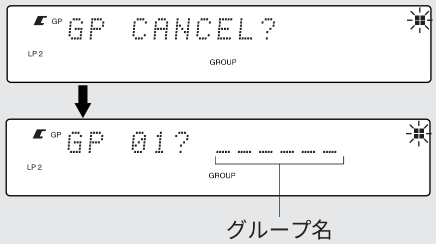
指定したグループを解除するには

1 **MD挿入口に編集するMDを入れ、MD►/❚❚ ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。
- ディスプレイに“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。
  消灯しているときは、“ グループとして録音したくないときには ”（☞ 79ページ）の操作3 で“ ON ”を選択してください。

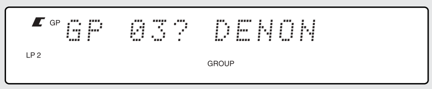
2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“ GP CANCEL? ”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、解除したいグループを設定する。**

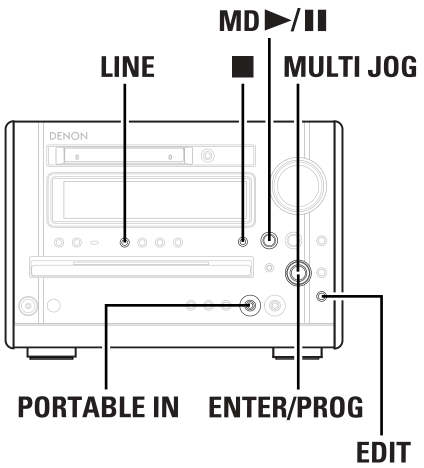
［例］グループ3を解除するとき

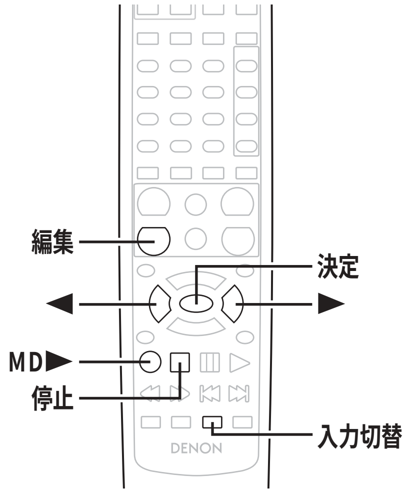


5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ COMPLETE ”表示後、停止状態になります。

6 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**





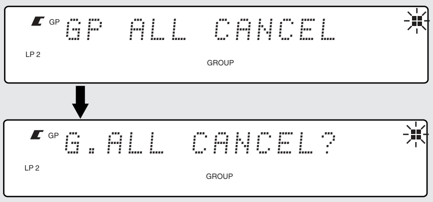
すべてのグループを解除するには

1 **ＭＤ挿入口に編集するＭＤを入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。
- ディスプレイに“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。
  消灯しているときは、“グループとして録音したくないときには”（☞ 79ページ）の操作3 で“ ON ”を選択してください。

2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

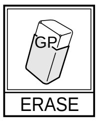
3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“GP ALL CANCEL”を表示させたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



4 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “COMPLETE”表示後、停止状態になります。

5 **■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**



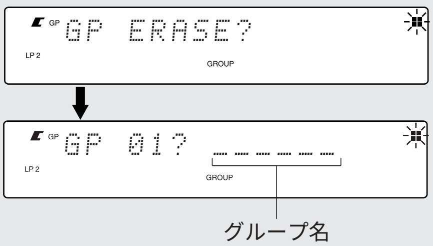
指定したグループを消去するには

1 **ＭＤ挿入口に編集するＭＤを入れ、MD►/II ボタンまたは MD► ボタンを押してから、■ ボタンまたは 停止 ボタンを押す。**

- ファンクションが“ MD ”になり、停止状態になります。
- ディスプレイに“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。
  消灯しているときは、“グループとして録音したくないときには”（☞ 79ページ）の操作3 で“ ON ”を選択してください。

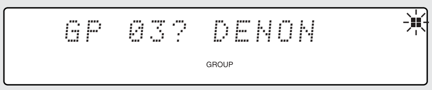
2 **停止中に EDIT ボタンまたは 編集 ボタンを押す。**

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、“GP ERASE?”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**



4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、消去したいグループを選ぶ。**

［例］グループ3を消去したいとき



5 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- “ERASE OK?”が表示されます。

6 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

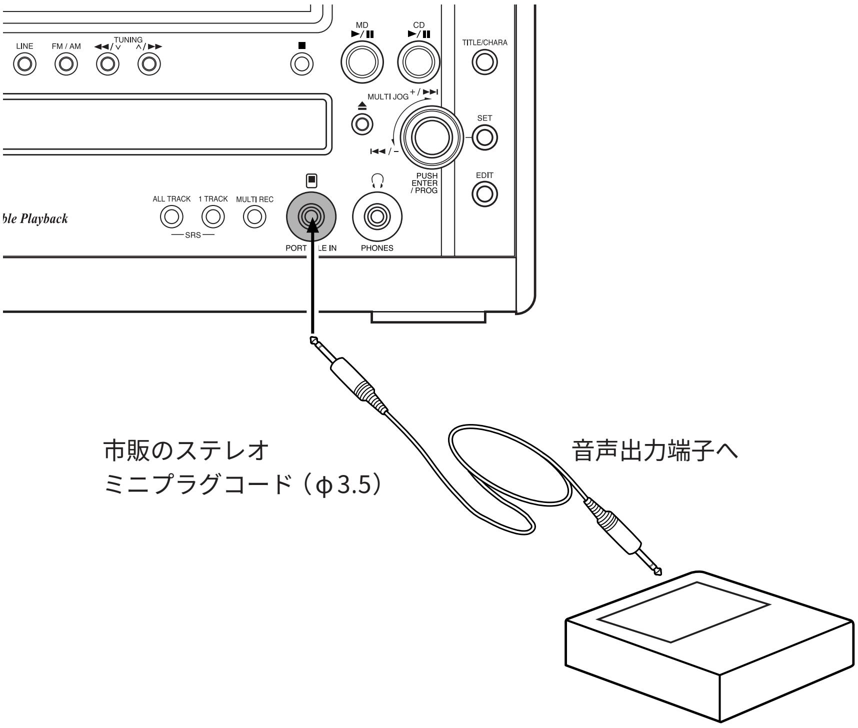
- "COMPLETE"表示後、停止状態になります。

7 ■ ボタンまたは 停止 ボタンを押し、MDへの書き込み動作を完了させる。

ポータブル機器と接続して使う

お手持ちのポータブル機器の音声出力端子を本機のポータブル入力端子につなぐと、簡単に音楽を楽しむことができます。

- 接続する前に、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。



1 ポータブル機器の音声出力端子と本機のPORTABLE IN を接続する。

2 LINE ボタンまたは 入力切替 ボタンを押してPORTABLEに切り替える。

- 音が歪む場合には、音源からの出力レベル（音量）を下げて、本機の音量をあげると改善されることがあります。
- ノイズが多い場合には、音源からの出力レベル（音量）を上げて、本機の音量を下げると改善されることがあります。

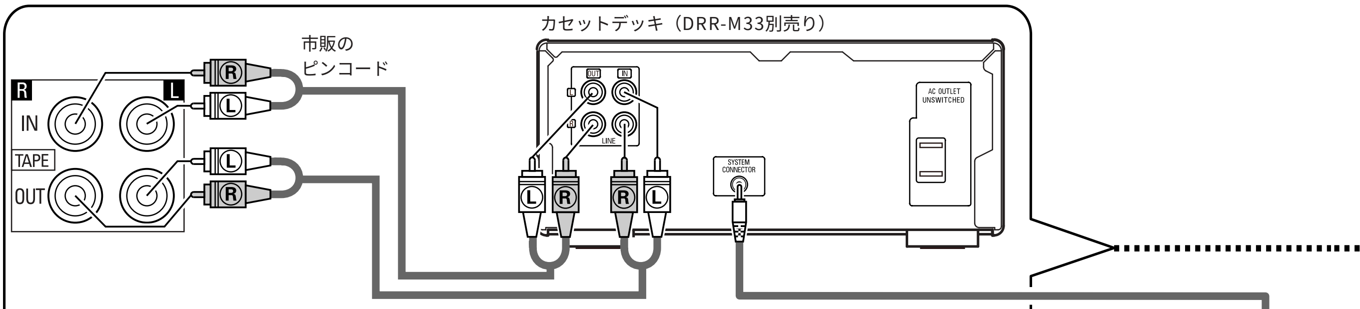
メモ

- 接続前に、各機器の電源を切ってください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 接続コードと電源コードを一緒に束ねますと、ハムや雑音の原因になることがあります。
- **PORTABLE IN** 端子は、ポータブルオーディオプレーヤーの出力レベルに合わせた感度設定になっています。そのため本端子に据置型プレーヤーなど出力レベルの高い音声出力を接続すると、音が歪んだり突然大きな音が出て聴力障害などの原因になることがあります。
- 据置型プレーヤーなど出力レベルの高い機器は本機背面の外部機器入力端子をご利用ください。
- **PORTABLE IN** 端子の最大許容入力は2Vrmsです。

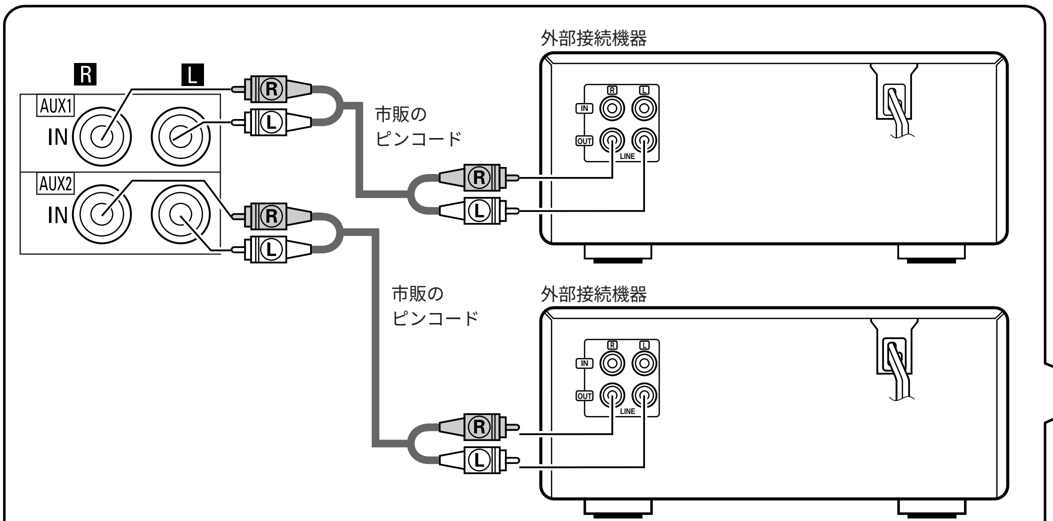
他の機器と接続して使う

2CH STEREO機器と接続する

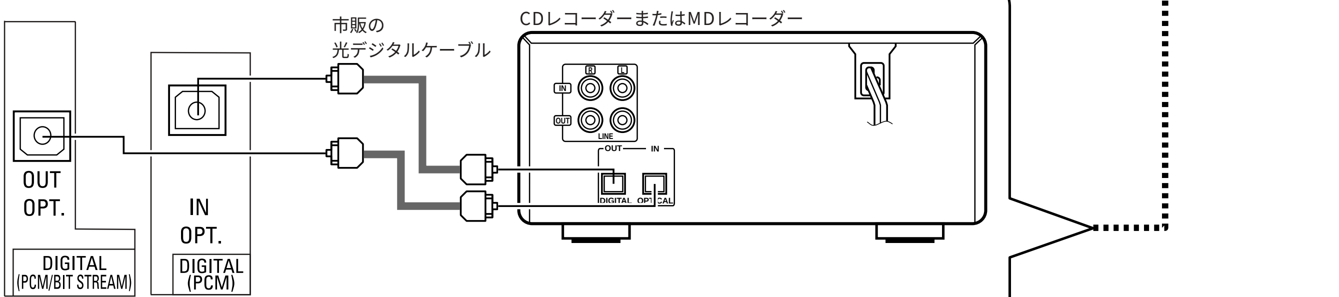
- 接続する前には、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。



- 本機とカセットデッキ（DRR-M33）をDRR-M33に付属のシステムコードを使ってシステム接続すると、便利なシステム機能が働きます。
- システム機能については123ページを参照してください。
- 動作中にシステムコードなどを抜くと、誤作動の原因となりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後で接続の変更を行ってください。
- **LINE** ボタンまたは **入力切替** ボタンを押して選ばれたソースがTAPE OUT端子から出力されます。
- 本機のソースをカセットデッキなどの外部の機器で録音している間は **LINE** ボタンまたは **入力切替** ボタン を押さないでください。録音するソースが切り替わってしまいます。
- 録音開始前に、サラウンドモードを “ STEREO ” に設定してください。

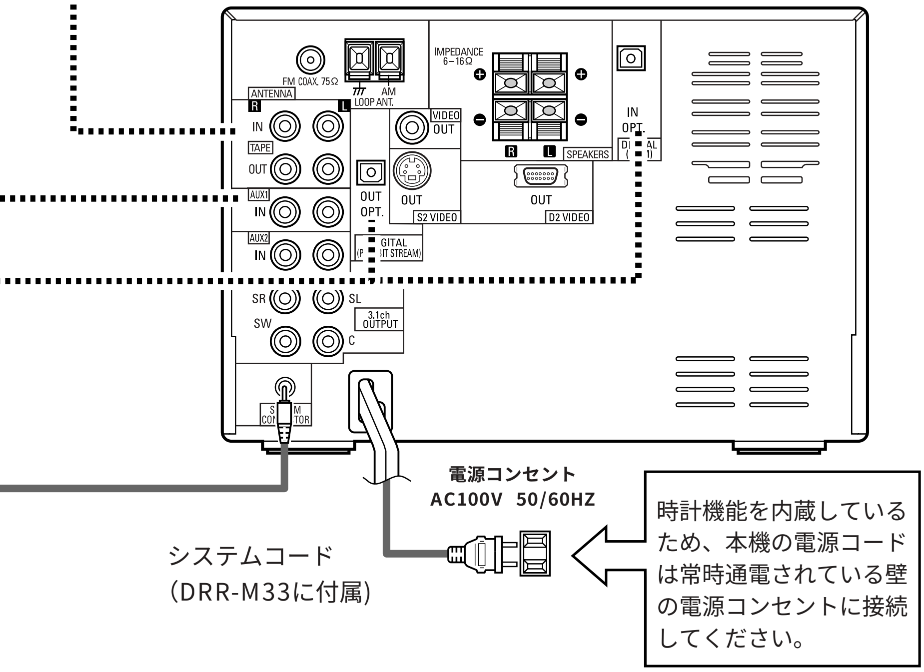


OPTICAL端子



- デジタル機器を接続するときは、DIGITAL OPT. IN/OUT端子に接続します。
- 光デジタル入力端子に入力されるのは音声信号のみです。
- 光デジタル出力端子から出力されるのはファンクションが “ CD/DVD ”、“ MD ”、“ OPT ” の音声信号のみです。ファンクション “ TUNER ”、“ TAPE ”、“ AUX-1 ”、“ AUX-2 ”、“ PORTABLE ” の信号は出力されません。

【本機背面】

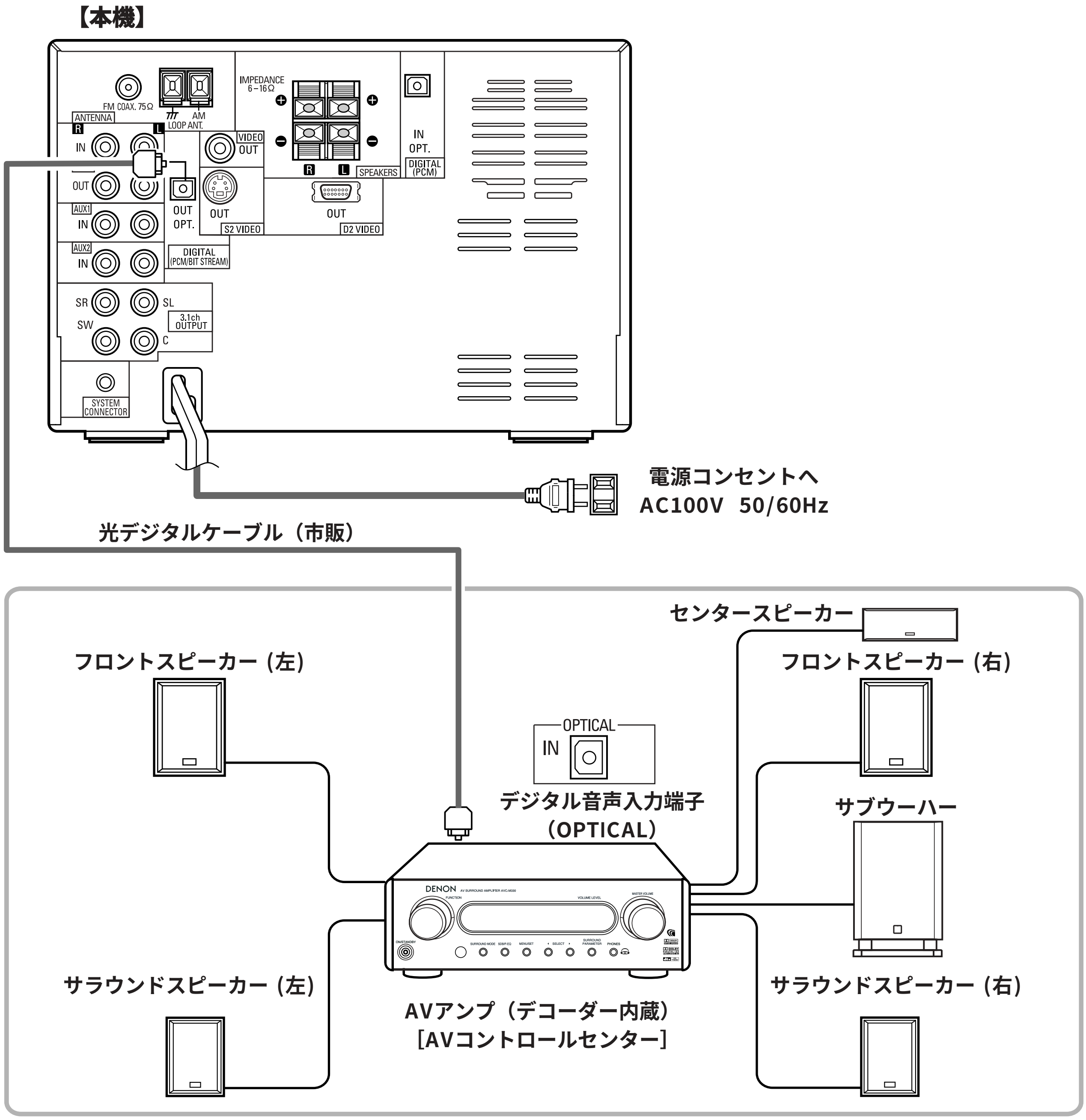


メモ

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- 接続コード（ピンコード）のプラグは、図のように正しくLとL（白）、RとR（赤）を接続してください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- スピーカー端子とスピーカーは必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。極性を間違えて接続しますと、中央の音が抜けたようになり、楽器の定位がはっきりせず、ステレオの方向感が損なわれます。
- 一度電源コードをコンセントから抜いた場合は、約5秒経ってからもう一度コンセントに差し込んでください。
- 接続コードと電源コードを一緒に束ねますと、ハムや雑音の原因になることがあります。
- 大変危険ですので、アンテナ端子やアース端子をガス管に接続しないでください。

デコーダー内蔵のAVアンプとデジタル接続する

● ドルビーデジタルまたはDTSで収録されたDVDの再生時は、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダーまたはDTSデコーダー内蔵のAVアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。



メモ

● DTSに対応していないAVアンプ（デコーダー内蔵）を使用する場合は、DTSで収録されたDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

本機のデジタル音声出力端子から出力される音声について

【ビットストリーム出力の場合】

		設定	
		デジタル出力	
	音声記録方式	NORMAL	PCM変換
DVDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル ビットストリーム	2チャンネルPCM（48kHz /16bit）
	DTS	DTS ビットストリーム	2チャンネルPCM（48kHz /16bit）

※デジタル出力の設定は42ページ参照してください。

【PCM出力の場合】

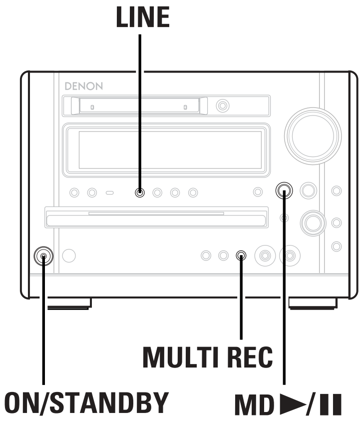
	音声記録方式		出力信号
DVDビデオ	リニア	48kHz / 16～24bit	48kHz / 16bit PCM
	PCM	96kHz / 16～24bit	48kHz / 16bit PCM
ビデオCD	MPEG1		44.1kHz / 16bit PCM
音楽CD	44.1kHz / 16bit リニアPCM		44.1kHz / 16bit PCM
MP3/WMAディスク	MP3（MPEG-1 Audio Layer 3）/WMA		32～48kHz / 16bit PCM

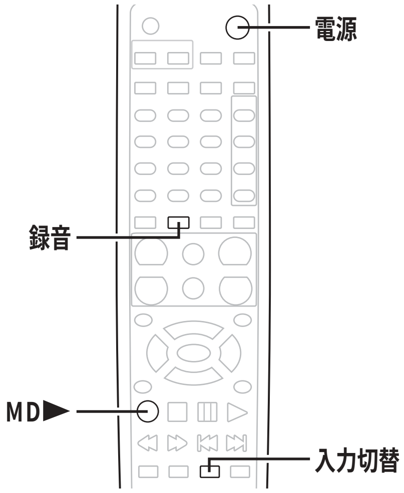
ビットストリームとは

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダーによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

リニアPCM（LPCM）とは

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。（音楽CDに用いられている信号記録方式です。）
音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。
※48kHz/20bit/24bit、96kHzのリニアPCM音声で記録されたDVDの音声は、48kHz/16bitに変換し出力されます。





他の機器の再生音を聞く

● 接続している機器の電源はあらかじめ入れておいてください。

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **LINE ボタンまたは 入力切替 ボタンを押して、接続した機器のファンクションを表示させる。**

● 次のように切り替わります。

TAPE → AUX1 → AUX2
↑ OPT ← PORTABLE ←┘

3 **接続した機器を再生する。**

4 **音量や音質を調節する。**

（☞ 26ページ）

他の機器の再生音を録音する

1 **“ 他の機器の再生音を聞く ” の操作*1* 、*2* をおこなう。**

2 **MD挿入口に録音用MDを入れる。**

3 **MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを押す。**

● 通常録音一時停止状態になります。

※ 必要に応じて録音レベルを調節してください。（☞ 82ページ）

4 **録音を開始する。**
MD▶/❚❚ ボタンまたは MD▶ ボタンを押す。

5 **接続した機器を再生する。**

※ ピックレックをおこなうときは、
操作***3***で **MULTI REC** ボタンまたは **録音** ボタンを2回押して、“ PICK REC ” 表示を点灯させ、**MD▶/❚❚** ボタンまたは **MD▶** ボタンを押してください。
※ ピックレックは、90ページの操作***1***、***2***をおこなって終了させてください。

タイマーの使いかた

● タイマーを利用して次のようなことができます。

音楽で目覚める

◎設定した時刻にMD、DVD/CD、ラジオ放送を聞くことができます。

留守中に録音する

◎設定した時刻にラジオ放送をMDに録音することができます。

音楽を聞きながらおやすみになる

◎設定した時刻にMD、DVD/CD、ラジオ放送を停止することができます。（スリープタイマー）

メモ

● **DVD/ビデオCD**
インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDの多くのものは、メニュー画面表示となります。（☞ 56ページ）

● **カセットデッキ（DRR-M33:別売り）**
本機に別売りのカセットデッキ（DRR-M33）をシステム接続した場合、本機のタイマー機能を使ってカセットテープの再生をおこなうことができます。ただし、カセットテープへのタイマー録音はできません。
システム接続については、123ページを参照してください。

タイマーを使う前に

● 必ず現在時刻を設定してください。
現在時刻を設定していないと、タイマーは使用できません。（スリープタイマーは機能します。）

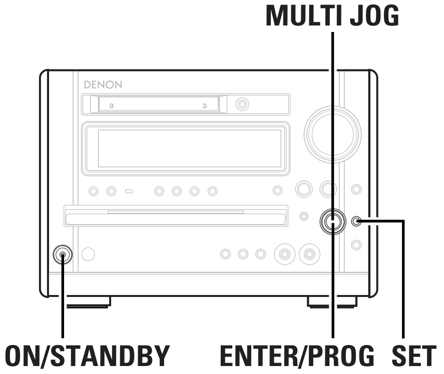
● 再生や録音の準備をする。
・再生用のCD/DVDやMDまたは録音用のMDを入れてください。
・ラジオ放送を聞いたり録音するときは、放送局を登録してください。
・タイマーを使って、本機に接続された外部の機器の音を聞いたり録音したりするときは、あらかじめ他の機器から本機に音を入力する準備をしてください。

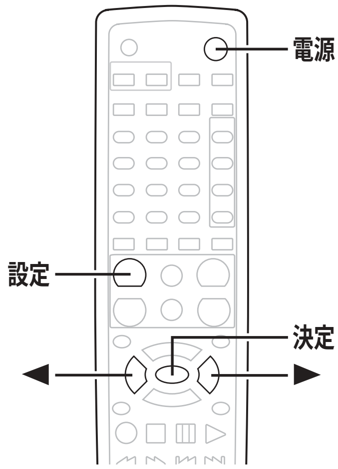
メモ

● 本機にシステム接続されたカセットデッキ（DRR-M33）以外の外部機器は、この製品のタイマー設定では操作することができません。（システム機能については123ページ参照してください。）

● 電源がONの状態では、タイマーは動作しません。

● 次のとき、タイマー録音はできません。
・再生専用のMDが入っているとき
・MDが誤消去防止状態になっているとき
・MDに録音できる部分がないとき
（“TITLE FULL”“DISC FULL”状態など）





音楽で目覚めたり、留守中に録音する

タイマーを設定するには

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、“ *TIMER SET?* ” が表示されたら、 ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

TIMER SET?

↓

CHECK ADJUST

3 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、“ *ADJUST* ” を点滅させ、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

ON　0:00

- 現在時刻が設定されていないと “ *CLOCK ERROR* ” が表示され、自動的に時間設定モードになります。
現在時刻設定後、再度操作**1**から設定し直してください。（☞ 28、29ページ）

4 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、時の桁を設定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

ON　12:00

5 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、分の桁を設定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

OFF　12:30

- タイマー開始時刻が12時30分に設定されました。

6 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、時の桁を設定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

OFF　13:30

7 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押して、分の桁を設定し、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- タイマー終了時刻が13時56分に設定されました。

OFF　13:56

↓

PLAY

8 **タイマー再生するには**
“ *PLAY* ” ⇔ “ *REC* ” の表示切り替えのとき MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◄、► ボタンを押し、“ *PLAY* ” 表示のとき ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

TUNER

9 聞きたいソースの設定

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して聞きたいソースを選び、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

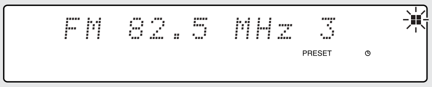
※ 次のように切り替わります。

→TUNER ↔ DVD/CD ↔ MD ↔ TAPE ←
→OPT ↔ PORTABLE ↔ AUX2 ↔ AUX1 ←

- "TUNER"を選んだときは操作**10**に進んでください。
- "DVD/CD""MD""TAPE""AUX1""AUX2""PORTABLE""OPT"を選んだときは操作**12**に進んでください。
- 本機に別売りのカセットデッキ（DRR-M33）がシステム接続されている場合に「TAPE」を選択すると、カセットデッキのタイマー再生ができます。
  詳しくは112、113ページ『他の機器と接続して使う』の『2CH STEREO機器と接続する』及び、123ページ『システム機能について』の『タイマー再生機能』を参照して下さい。

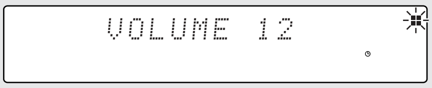
10 TUNERを選んだとき

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押して、プリセット番号を選ぶ。



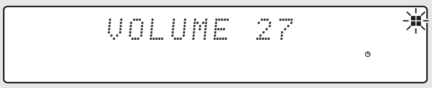
11

ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。



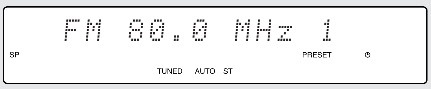
12

MULTI JOG ダイヤルを回すか、 ◀、▶ ボタンを押し、ボリウムレベルを調節する。



13

ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。



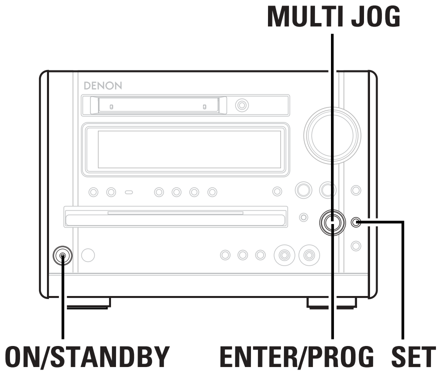
- タイマー設定項目が表示された後、タイマー設定前の表示に戻ります。

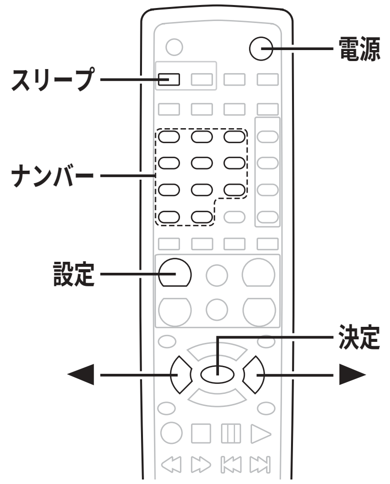
14

ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、タイマー動作に入る。

- タイマー"ON"となり、 **ON/STANDBY** ボタンのインジケーターが点灯（オレンジ色）になります。

※ タイマー予約はスタンバイ状態でもおこなうことができます。（**13**の操作後、自動的にタイマー動作に入ります。）
※ MDまたはCDが入っていない状態でタイマーがはじまったとき、本機はチューナーモードになります。
※ 停電になったときや電源コードをコンセントから抜いたときには、タイマーの設定は消えてしまうことがあります。
※ タイマーおよびチューナーのプリセット内容が消えていた場合は、もう一度プリセットし直してください。





タイマーの予約内容を確認するには

“タイマーを設定するには”（☞ 118ページ）の操作3で“CHECK”を点滅させ、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

- 設定内容が確認できます。

タイマーを解除するには

- タイマーが“ON”に設定されていると、本機は毎日タイマー設定された時刻にタイマー動作に入ります。タイマー動作を止めたいときは次の操作をしてタイマーを“OFF”にしてください。

1 **SET ボタンまたは 設定 ボタンを押す。**

2 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◀、▶ ボタンを押して、“TIMER ON/OFF?”が表示されたら、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

TIMER ON/OFF?

⬇

TIMER ON/OFF

- **MULTI JOG** ダイヤルを回すか、◀、▶ ボタンを押すと“ON”、“OFF”を選択できます。

3 **“OFF”を点滅させて、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

留守中に録音するには

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **MD挿入口に録音用MDを入れる。**

3 **“タイマーを設定するには”（☞ 118ページ）の1〜7の操作をおこなう。**

4 **タイマー録音するとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、◀、▶ ボタンを押して、“REC”表示のとき、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

TUNER→MD　REC

5 **録音したいソースを設定するとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、◀、▶ ボタンを押して、録音したいソースを選び、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。

※ 次のように切り替わります。

→TUNER→MD↔AUX1→MD↔AUX2→MD↔OPT→MD↔PORTABLE→MD←

- “TUNER→MD”を選んだときは操作6に進んでください。
- “AUX1→MD”“AUX2→MD”“PORTABLE→MD”“OPT→MD”を選んだときは操作8に進んでください。

6 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◀、▶ ボタン押して、プリセット番号を選ぶ。**

FM 82.5 MHz 3　PRESET　REC

- **ナンバー** ボタンではプリセット番号を選べません。

7 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

```
MDLP SP
```

8 **録音モードの設定するとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、録音モードを選ぶ。

- 録音モードは、次のように切り替わります。

```
→ MDLP SP ↔ MDLP LP2 ←
→ MDLP LP4 ←
```

9 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

```
GROUP ON OFF?
```

10 **グループとして登録するか選択するとき**

MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、選択する方を点滅させる。

11 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

```
VOLUME 12
```

12 **MULTI JOG ダイヤルを回すか、◄、► ボタンを押して、ボリウムレベルを調節する。**

- 録音レベルには影響しません。

13 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

- タイマーの設定内容を順次表示され、タイマー設定前の表示に戻ります。

```
FM 80.0 MHz 1
```

14 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、タイマー動作に入る。**

- タイマー“ON”となり、**ON/STANDBY** ボタンのインジケーターが点灯（オレンジ色）になります。

※ タイマー予約は、スタンバイ状態でもおこなうことができます。（***13*** の操作後、自動的にタイマー動作に入ります。）

※ タイマー録音をおこなう前に、必要に応じてあらかじめ録音レベルを調節してください。（☞ 82ページ）

※ MDまたはCDが入っていない状態でタイマーがはじまったとき、本機はチューナーモードになります。

※ 停電になったときや電源コードをコンセントから抜いたときには、タイマーの設定は消えてしまうことがあります。

※ タイマーおよびチューナーのプリセット内容が消えていた場合は、もう一度プリセットし直してください。

※ 録音済みのMDを使用するときは、録音可能時間を確認してください。（録音モード（SP/LP2/LP4）で、録音可能時間が異なります。）

※ MDへの録音は、タイマー開始時刻から約10秒後に録音をはじめます。
録音ミスを防ぐため、番組がはじまる1分程度前の時刻に合わせることをおすすめします。

音楽を聞きながらおやすみになる（スリープ）

電源が切れる時間を10分間隔で最大90分まで予約することができます。

[例] 80分後に電源を切るとき

1 **聞きたい音楽を再生中に スリープ ボタンを押す。**

```
SLEEP 90
```

- ボタンを押すたびに次のように表示が切り替わります。

```
→ 90 → 80 → 70 → 60 → 50 →
  OFF ← 10 ← 20 ← 30 ← 40 ←
```

2 **“SLEEP 80”を表示させる。**

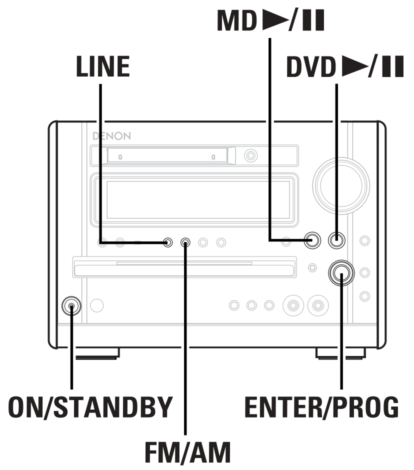
```
SLEEP 80
```

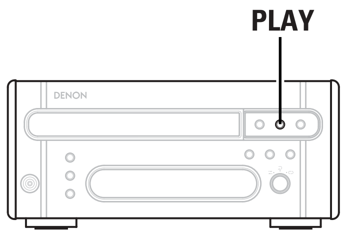
3 **ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。**

```
MD 09Tr 0:18
```

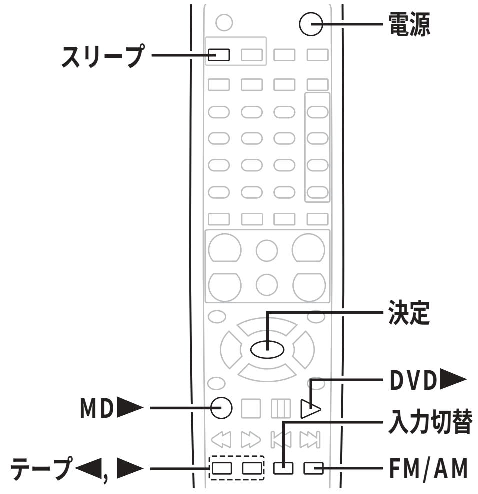
- ディスプレイが暗くなり、スリープ設定前の表示に戻ります。

※ スリープタイマーのときは、ディスプレイの表示は明るくできません。





＜DRR-M33（別売り）＞



スリープタイマー動作をおこなわないときには

操作 *1* で“SLEEP OFF”を選び、ENTER/PROG ボタンまたは 決定 ボタンを押す。ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を切る。

スリープ時間を確認するには

スリープ ボタンを押す。

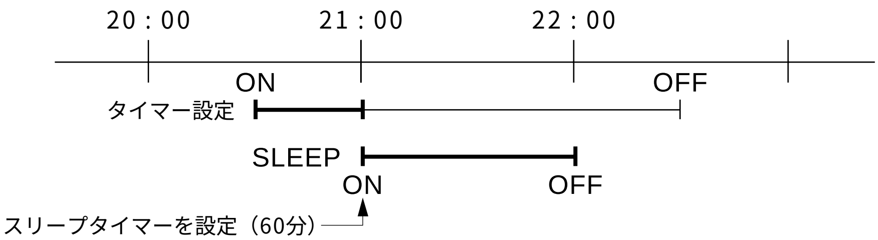
- 電源が切れるまでの時間を約5秒間表示します。

メモ

- スリープタイマーとタイマーの設定時刻が重なっている場合はスリープタイマーが優先されます。

タイマーとスリープタイマーの優先順位について

タイマーの終了時刻は、スリープタイマーが優先します。（太線が実行を表します。）



タイマー中でも、タイマーで設定された終了時刻より早くスリープタイマーの残り時間がなくなると、その時点でタイマーは終了します。

システム機能について

本機を別売りのカセットデッキ（DRR-M33）とシステム接続するとさらに使いやすさが向上します。(接続のしかたは112、113ページの " 他の機器と接続して使う " を参照してください。)

オートパワーオン機能

本機とカセットデッキの電源がスタンバイ状態のとき、カセットデッキ（DRR-M33）の **PLAY** ボタンまたはリモコンの **テープ ◀**、**▶** ボタンを押すだけで本機とカセットデッキの電源が入り、カセットデッキにカセットテープがセットされていればカセットテープの再生をおこなうことができます。

本機とカセットデッキ（DRR-M33）がスタンバイ状態のとき、リモコンの テープ ◀、▶ ボタンを押す。

メモ

- 本機とカセットデッキがスタンバイ状態のとき、本機の電源をオンにしてもカセットデッキの電源は連動してオンにはなりません。

オートファンクション機能

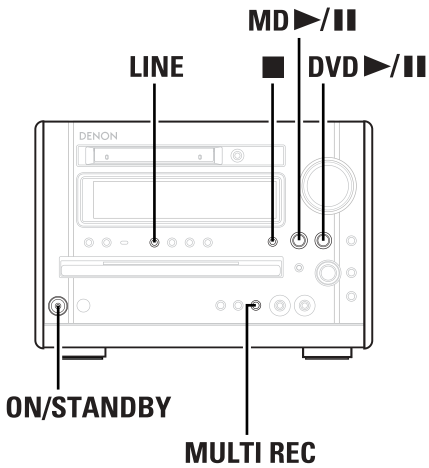
ボタン1つの操作で再生するファンクションを切り替えることができます。

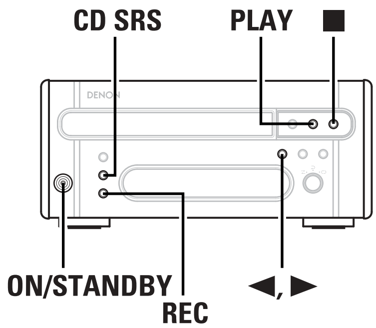
カセットデッキの再生中に DVD▶/II ボタン DVD▶ ボタン、 MD▶/II ボタン MD▶ ボタン、 LINE ボタン、 入力切替 ボタン、 FM/AM ボタンのいずれかを押す。

- カセットデッキの再生が停止します。同時に本機のファンクションが切り替わります。
" DVD/CD " または " MD " に切り替えたときディスクが本機に挿入されていれば再生をはじめます。

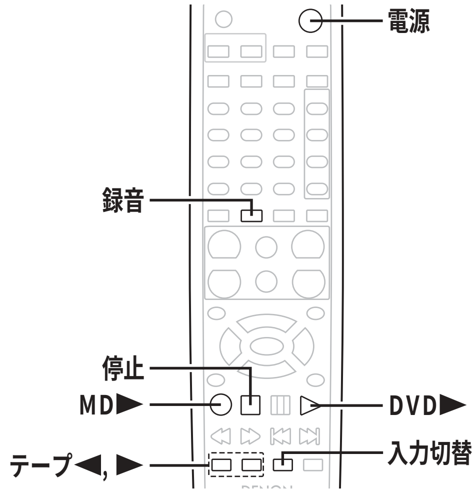
メモ

- 本機のファンクションソースを聞いているときに、本機にシステム接続されたカセットデッキ（DRR-M33）の **PLAY** ボタンを押した場合も同様にオートファンクション機能が働き、カセットテープがセットされていれば再生をはじめます。
- AUXやOPT入出力端子に接続された外部機器に対しては、オートファンクション機能は働きません。





<DRR-M33（別売り）>



DVD/CD、MD→TAPE録音機能（本機、DRR-M33、システムコード接続時）

DVD/CDまたはMDを簡単にカセットテープに録音することができます。

1 同期録音機能

CDまたはMDをカセットテープに録音します。

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **カセットテープに録音したいDVD/CDもしくはMDを本機に入れる。**

3 **カセットホルダーを開けて、録音するカセットテープを載せ、カセットホルダーを閉じる。**

4 **カセットデッキの REC ボタン(DRR-M33)を1回押して、録音一時停止状態にする。**

5 **DVD►/❚❚ ボタン、DVD► ボタン、MD►/❚❚ ボタンまたは MD► ボタンを押す。**

- 自動的にDVD/CDまたはMDの録音をはじめます。

※ DVD/CDまたはMDの再生が終わると、録音一時停止状態になります。
※ 途中で録音を止めるときは、カセットデッキの ■ ボタンを押してください。
※ CDからMDとTAPEへ同時に同期録音することはできません。(CD→MDへの同期録音が優先されます。)

2 シンクロ録音機能（CDのみ）

CDをカセットテープに録音します。

1 **録音したいCDについて 1 の*1*～*3*と同じ操作をおこなう。**

2 **カセットデッキ（DRR-M33）の CD SRS ボタンを押す。**

- 自動的にCDの録音をはじめます。

※ CDに収録されているすべての曲の再生が終わると、本機とカセットデッキは自動的に停止します。
※ また、CDの再生が終わらないうちにカセットテープ一杯に録音されたときも、本機とカセットデッキは自動的に停止します。
※ シンクロ録音を止めるときは、本機またはカセットデッキの ■ ボタンを押してください。

メモ

- 録音開始前に、サラウンドモードを“ STEREO ”に設定してください。
- プログラム再生モードのとき、シンクロ録音機能は動作しません。また、ランダム再生モード、リピート再生モードのときは、それぞれのモードを解除して動作します。

TAPE→MD同期録音機能（本機、DRR-M33、システムコード接続時）

本機をMD録音一時停止状態にして、カセットデッキの **PLAY** ボタンまたはリモコンの **テープ** ◀、▶ ボタンを押すと自動的に録音がはじまります。

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押す。**

2 **本機のディスク挿入口に、録音するディスクを入れる。**

3 **LINE ボタンまたは 入力切替 ボタンを押して、TAPEを選ぶ。**

4 **MULTI REC ボタンまたは 録音 ボタンを1回押して、録音一時停止状態する。**

5 **カセットデッキ（DRR-M33）の PLAY ボタンまたはリモコンの テープ ◀、▶ ボタンを押す。**
- 自動的に録音をはじめます。
- カセットデッキの再生が終わると本機は自動的に録音一時停止状態になります。

※ **途中で録音を止めるときは**、カセットデッキの ■ ボタンを押して、カセットテープの再生を停止させてください。本機は録音一時停止状態になります。
※ **録音を止めるときは**、本機の ■ ボタンまたはリモコンの **停止** ボタンを押してください。TOC情報の書き込みがおこなわれます。

メモ
- 録音終了後、TOC情報の書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。
- 編集をおこなった後、TOCの記録をおこなわないと“ Write UTOC ”が表示され、録音モードには入れません。

タイマー再生機能（本機、DRR-M33、システムコード接続時）

設定された時間にカセットテープ再生をおこなうことができます。

1 **カセットデッキの ON/STANDBY ボタンを押す。**

2 **カセットデッキのカセットホルダーにタイマー再生をおこなうカセットテープをセットする。**

3 **カセットデッキ（DRR-M33）の ◀、▶ ボタンまたはリモコンの テープ ◀、▶ ボタンを押して、テープの走行方向を切り替える。**

4 **リバースモードを設定する。**
- DRR-M33の取扱説明書を参照ください。

5 **ドルビーNRモードを設定する。**
- DRR-M33の取扱説明書を参照ください。

6 **118、119ページの“ タイマーを設定するには ”を参照して、タイマー再生するソースを“ TAPE ”に設定する。**

その他

MDの規格上の制約について

MDの規格は、カセットデッキなどの従来の録音方式と異なる方式でおこなわれます。そのため、いくつかの規格上の制約があります。次のような現象が出ても故障ではありませんので、ご了承ください。

曲数の制約

- 何も録音されていないMDやディスク名だけで何も録音されていないMDに1曲目から順次録音した場合は、最大255曲まで録音できます。しかし、編集を多く繰り返したりすると255曲まで録音できなくなることがあります。
- デジタル録音のとき、エンファシス情報などの入切が多いと曲の区切りと同じ扱い（曲番は変わらない）になり、録音時間や曲数に関わらず録音できなくなることがあります。

録音機能の制約

- MDの最大録音時間に達しなくても、曲数が255になるとこれ以上録音できません。
- 録音は、約2秒単位でおこなわれます。それに満たない部分でも約2秒間分のディスクスペースを使用しますので、実際に録音できる時間は短くなります。
- MDに傷があるとその部分は録音できませんので、その分の時間が減ります。
- CDをデジタル録音するとき、CDの録音内容により数秒程度の無音部ができることがあり、曲数がCDと異なることがあります。
- 短い曲を消去してもMDの残り時間が増えないことがあります。これはMDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分を無視するためです。

編集機能の制約

- 編集をおこなってできた短い曲を結合できない場合があります。
- CDから録音した曲（デジタル録音）とラジオ放送から録音した曲（アナログ録音）をつなぐことはできません。
- 録音モード（標準録音（SP）、2倍長時間録音（LP2）、4倍長時間録音（LP4））の異なる曲をつなぐことはできません。
- 録音や編集を繰り返したMDでは、マニュアルサーチ中に音が途切れることがあります。

故障かな？と思ったら

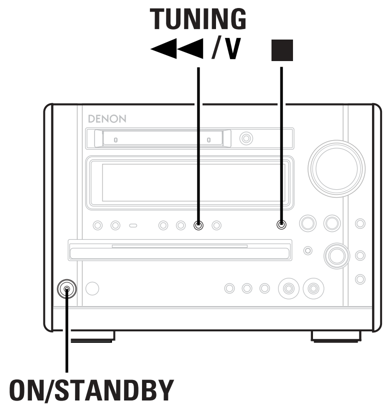
故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■各接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

	現　象	原　因	処　置	関連ページ
共通部	電源が入らない。	●電源プラグがコンセントから外れている。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。	12
共通部	スピーカーから音が出ない。	●音量を最小にしている。 ●ヘッドホンが差し込まれている。 ●スピーカーコードの接続が不完全である。	●適当な音量にしてください。 ●ヘッドホンを外してください。 ●しっかり接続してください。	26 27 12、14
共通部	高音が出ない。 音源の位置が不明瞭。	●スピーカーの極性（⊕ ⊖）が合っていない。	●スピーカーコードを正しく接続してください。	12、14
共通部	リモコンが動作しない。	●電源が入っていない。 ●乾電池が正しく入っていない。 ●乾電池が消耗している。	●電源を入れてください。 ●乾電池を正しく入れ直してください。 ●新しい乾電池に入れ替えてください。	25 24 24
共通部	スタンバイ状態になり、電源表示インジケーターが点滅する。	●保護回路（☞ 13ページ）が動作している。	●電源プラグを抜いて、本体側、スピーカー側のコードを差し直してください。 ●電源プラグを抜いて配線や接続を確認してください。 ●電源プラグを抜いて本体が冷えるのをまって、周囲の通風状態を良くしてから、もう一度電源を入れ直してください。	12、14、16 12～16 —
チューナー部	FM放送に“ザー”という音が入る。	●アンテナの方向が悪い。 ●放送局の電波が弱い。	●アンテナの方向を変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	13 13
チューナー部	AM放送に“シー”や“ザー”という音が入る。	●テレビなどから雑音が入る。 ●放送局の干渉音が聞こえる。	●テレビを消してください。 ●AM用ループアンテナの向きを変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	— 13 13
チューナー部	AM放送に“ブーン”という雑音（ハム）が入る。	●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受ける。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	—
MDプレーヤー部	操作できない。	●MDが入っていない。 ●MDが損傷または汚れている。	●MDを入れてください。 ●他のMDと取り替えてください。	59 10
MDプレーヤー部	再生できない。	●MDに録音されていない。 （“BLANK DISC”または“NO TRACKS”が表示されます。）	●録音されているMDと取り替えてください。	83、130
MDプレーヤー部	録音できない。	●MDが誤録音防止状態になっている。 （“PROTECTED”が表示されます。） ●MDに残り時間がない。 （“DISC FULL”が表示されます。） ●255曲収録されたMDに録音しようとしている。 （“DISC FULL”が表示されます。） ●デジタル録音されたソースをMD録音ボタンからの操作でデジタル録音しようとしている。 （“CANNOT COPY”が表示されます。）	●MDの誤録音防止ツメをずらして、孔を閉じた状態にしてください。 ●MDを取り替えてください。 ●不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 ●MDを取り替えてください。 ●不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 ●SCMSにより、デジタル録音することはできません。アナログ録音してください。	10、130 — 108、130 — 108、130 82、83、130

	現象	処置	関連ページ
DVDビデオプレーヤー部	再生ボタンを押しても、再生がはじまらない。または、すぐに停止する。	●結露していませんか。（1、2時間放置してください。） ●DVD、ビデオCD、音楽CD、CD-R（MP3、WMA、JPEG）以外のディスクは再生できません。 ●ディスクが汚れているのできれいに拭いてください。	6 8 9
	映像が映らない。	●接続を確認してください。 ●テレビの入力を“ビデオ”にしてください。 ●S端子、VIDEO端子接続の場合、“D2端子映像出力”を“D1インターレース、525i）”に設定してください。	15 — 30、31
	音が聞こえない。 または、聞きづらい。	●接続を確認してください。 ●テレビ・ステレオなどの入力を正しく設定してください。 ●“デジタル出力”または“ダイナミックレンジ圧縮”の設定を確認してくださ	12、14、16 — 42、44
	ビデオCDのメニュー再生ができない。	●プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。	56
	早送り/早戻しをしたら画像が乱れる。	●多少乱れが生じることがありますが、故障ではありません。	—
	各ボタン操作ができない。	●ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。	56
	字幕が出ない。	●字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。 ●字幕が“字幕なし”になっていますので、字幕を設定してください。	— 36〜39
	音声（または字幕）言語が切り替えられない。	●複数の言語が入っていないディスクは切り替えられません。 ●音声（または字幕）切り替え操作では切り替えられず、DVDメニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。	— 69
	アングルを変えて見ることができない。	●複数のアングルが記録されていないDVDは、アングルを切り替えられません。また、複数のアングルは特定の場面のみ記録されているものがあります。	69
	タイトルを選んでも再生がはじまらない。	●“視聴制限レベル”の設定を確認してください。	42、43
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。	●以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 ファンクションをDVD/CDにして停止状態にしてください。ディスクを取り出し、ディスプレイに“DVD/CD　00:00”が表示されているとき、リモコンのダイレクトボタンで“1→2→5→7”と順番に押してください。（テレビ画面の“初期化しました”が消えたことを確認してください。）	43
	初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	●DVDにその言語の音声や字幕が入っていないときは選んでいる言語になりません。	36、37
	4：3（16：9）の画像で映らない。	●お手持ちのテレビに合わせて“TV アスペクト”の項目を正しく設定してください。	35、41
	希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない。	●初期設定の“ディスク言語設定”の“メニュー言語”を確認してください。	36、37
	TAPE OUT端子より音声が出力されない。	●サラウンドモードが“STEREO”以外の場合はTAPE OUT端子より音声は出力されません。 サラウンドモードを“STEREO”に設定してください。	50〜53
	サラウンドモードが切り替わらない。	●“DVD設定変更”-“音声設定”-“デジタル出力”を“ノーマル”にしてください。	42



DVDビデオプレーヤー部のリセットのしかた

- 以下の操作をすると初期設定の内容が工場出荷状態に戻ります。
  ファンクションをDVD/CDにして停止状態にしてください。
  ディスクを取り出し、ディスプレイに“DVD/CD　00:00”が表示されているとき、リモコンのダイレクトボタンで“1→2→5→7”と順番に押してください。（テレビ画面の“初期化しました”が消えたことを確認してください。）

異常が起きたら

この製品を使用中に強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに正しく表示しなくなったり、操作を受け付けなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

1 **電源コードをつないだまま ON/STANDBY ボタンを押して、電源を“切”にする。**

2 **■ ボタン→ ◀◀/V ボタン→ ■ ボタンの順序で約2秒以内にボタンを押す。**

- “CLEAR”が表示され、本機がリセットされます。

CLEAR

※ リセットすると、登録した内容はすべて消えます。（DVDビデオプレーヤー部の初期設定項目は、リセットされません。DVDプレーヤー部をリセットする場合は左記の操作をおこなってください。

※ 万一、異常な音・におい・煙りが出たときや異物が中に入ったときには、電源を切り、電源コードを抜いてお買い上げの販売店に連絡してください。

保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

メッセージについて

MDのメッセージ

メッセージ	内　　容
MD 001, 00:00	●MDが入っていません。
DISC FULL	●MDの残り時間がなくなりました。 ●曲数が255曲を超えてしまいました。
TITLE FULL	●グループ名/ディスク名/曲名が100文字を超えています。
TOC FULL	●グループ名/ディスク名/曲名として入力した文字の合計が約1700文字を超えています。
BLANK DISC	●何も録音されていないMDが入っています。
NO TRACKS	●ディスク名はありますが、曲が入っていません。
READING	●TOC情報を読み込んでいます。
WRITING	●編集または録音時の各種情報を書き込んでいます。
DISC ERROR	●記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか、他の障害により読み込むことができません。
CANNOT EDIT	●編集できません。
CANNOT JOINT	●つなごうとしている曲の録音モードが異なっているため、曲をつなぐことができません。 ●デジタル入力から録音された曲とアナログ入力から録音された曲は、つなぐことができません。
CANNOT REC	●MDが動作中（READINGなど）のため録音できません。 ●MDまたはDVD/CDが入っていないため、録音できません。
CANNOT SRS	●MDが動作中（READINGなど）のためSRS録音できません。 ●MDまたはCDが入っていないため、SRS録音できません。 ●高速録音を始めて74分以内に101曲目を録音しようとしています。
PROTECTED	●MD誤録音防止状態になっています。 ●255曲入りのMDをALL ERASEしようとしています。 （このような場合は、曲数を減らしてからALL ERASEをおこなってください。）
PLAY ONLY	●再生専用MDに録音や編集操作をおこなっています。
CANNOT COPY	●SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により、デジタルコピー禁止のソースです。
ALREADY DUBB.	●再生/録音用MDである曲を高速録音すると、録音をはじめた時点から74分間は、同一の曲を高速録音できません。
WAIT ○○MIN	●HCMS（ハイスピードコピーマネージメントシステム）が解除されるまでの時間です。
NOT AUDIO	●オーディオ用の信号ではありません。
GROUP OVER	●登録されているグループ数がすでに99グループを超えてグループの追加/編集ができません。 ●登録されているグループ数がすでに99グループを超えて録音後、グループの登録ができません。
GP EDIT ERR	●タイトル入力の文字数の制限により、録音後、グループの登録ができません。 ●タイトル入力の文字数の制限により、NEW GROUP、GROUP MODIFY、MOVE、DIVIDEの編集ができません。
NO GROUP	●グループ管理のないMDで、1-GROUPモードには入れません。
DIN UNLOCK	●外部光入力端子からの信号が無いので録音できません。
REC ERROR	●SRS録音中、CDのフォーカスエラーが発生して、録音できません。
FULL	●プログラムされている曲数がすでに25曲になっているため、プログラムの追加ができません。 ●すべてのグループをプログラムしているため、プログラムの追加ができません。

DVD/CDのメッセージ

メッセージ	内　容
DVD/CD　00:00	●ディスク（DVD/ビデオCD/CD）が入っていません。
CD SAME TRACK	●同じ曲をプログラムして、高速録音しようとしています。
ERROR	●DVDメカが正しく働いていません。 ●電源を切って、再度電源を入れてください。
FULL	●プログラムされている曲数がすでに20曲になっているため、プログラムの追加ができません。
DISC CHECKING	●SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）信号を確認しています。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■放送やCD、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

■従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

■使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、『日本音楽著作権協会』（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

■ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

■ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。

■本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先
（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03（5353）0336

（社）日本音楽著作権協会（JASRAC）

本部	☎ 03（3481）2121
北海道支部	☎ 011（221）5088
盛岡支部	☎ 019（652）3201
仙台支部	☎ 022（264）2266
長野支部	☎ 026（225）7111
大宮支部	☎ 048（643）5461
上野支部	☎ 03（3832）1033
東京支部	☎ 03（3562）4455
西東京支部	☎ 03（5321）9530
東京イベント・コンサート支部	☎ 03（5321）9881
立川支部	☎ 042（529）1500
横浜支部	☎ 045（662）6551
静岡支部	☎ 054（254）2621
中部支部	☎ 052（583）7590
北陸支部	☎ 076（221）3602
京都支部	☎ 075（251）0134
大阪支部	☎ 06（6244）0351
神戸支部	☎ 078（322）0561
中国支部	☎ 082（249）6362
四国支部	☎ 087（821）9191
九州支部	☎ 092（441）2285
鹿児島支部	☎ 099（224）6211
那覇支部	☎ 098（863）1228

主な仕様

スピーカー部（SC-MG55）

形　　　　式	2ウェイ・2スピーカー バスレフ型：防磁設計
ス ピ ー カ ー	ウーハー　：14cm　コーン形X1 ツィーター：2.5cm　ドーム形X1
入力インピーダンス	6Ω
最 大 入 力	50W
最大外形寸法	（幅）　　160mm （高さ）　270mm （奥行き）231mm
質　　　　量	約2.9kg（SC-MG55）

パーソナルオーディオシステム（D-MG55DV）

電　　　　源	AC 100V（50/60Hz共用）
消 費 電 力	電源　入（ON）時：70W 待機（スタンバイ）時：1.0W以下
最大外形寸法	（幅）　　530mm （高さ）　270mm （奥行き）333mm（D-MG55DV）
質　　　　量	約12.8kg（D-MG55DV）

《リモコンユニット（RC-1011）部》

リモコン形式	赤外線パルス方式システム
電　　　　源	DC 3V 単4乾電池2本使用
最大外形寸法	（幅）　　50mm （高さ）　200mm （奥行き）28mm
質　　　　量	120g

センター部（DMR-MG55DV）

《DVDビデオプレーヤー部》

信号形式	NTSC
対応ディスク	（1）DVD-VIDEOディスク 12cm片面1層、 12cm片面2層、 12cm両面2層（片面1層）、 8cm片面1層、 8cm片面2層、 8cm両面2層（片面1層） （2）コンパクトディスク（CD-DA、CD-R/RW、ビデオCD、MP3、WMA、JPEGディスク、KODAK Picture CD） 12cmディスク、 8cmディスク
S映像出力	出力端子：S端子　1系統
色差映像出力	出力端子：D端子　1系統
映像出力	出力レベル：1Vp-p（75Ω） 出力端子：ピンジャック　1系統
デジタル音声入出力	光入力端子　1系統 光出力端子　1系統

《MDレコーダー部》

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮/伸長方式	ATRAC/ ATRAC3　24ビット演算方式
チャンネル数	2チャンネル、ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz

《チューナー部》

受信周波数	FM：76.0～108.0MHz AM：522～1629kHz
アンテナ	FM：75Ω不平衡型 AM：ループアンテナ

《アンプ部》

音声入力端子	TAPE（IN） AUX 1（IN）AUX 2(IN) PORTABLE（IN）
音声入力感度	300mV/47kΩ（PORTABLE除く） 150mV/47kΩ（PORTABLE）
音声出力端子	TAPE（OUT） 3.1ch（3.1ch　プリアウト） ヘッドホン スピーカー（1系統）
実用最大出力	20W＋20W（EIAJ 6Ω）

《タイマー部》

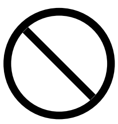
タイマー形式	エブリディタイマー（オン/オフ1日動作）
スリープタイマー	10、20、30、40、50、60、70、80、90分
時計表示	24時間表示 （時計精度　月差1～2分）

《共通部》

最大外形寸法	（幅）　210mm （高さ）　149mm （奥行き）　333mm（DMR-MG55DV）
質量	約7.0kg

■EIAJ規格とは、（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
This product incorporates copyright protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

MEMO:

MEMO:

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：03-6731-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。

購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：	年　　月　　日

Printed in China　00D 511 4348 006